

令和4・5年度

共通教科「家庭」における衣生活に関する指導の充実に向けて
～家庭科技術検定の活用を通して～

公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
全国高等学校長協会家庭部会

技術検定調査研究委員会

目 次

I	研究主題の設定及び調査研究内容	1
1	研究テーマ	
2	調査研究の趣旨	
3	調査研究の内容	
II	調査研究委員会活動	2
1	調査研究の期間	
2	調査研究委員	
3	令和4年度調査研究委員会の主な活動	
4	令和5年度調査研究委員会の主な活動	
III	調査研究	
1	アンケート調査	3
(1)	アンケート調査の概要	
(2)	アンケート調査の結果	
2	家庭科被服製作技術検定新4級プレコンクール	6
(1)	募集要項	
(2)	応募状況及び選考結果	
3	授業研究	7
(1)	依頼内容	
(2)	依頼先	
(3)	授業研究報告	
IV	まとめ	8
[資料]		
1	アンケート調査依頼文書 <資料1-1、1-2、1-3> 令和4年度家庭科技術検定に係る調査について（依頼）	9
2	家庭科被服製作技術検定新4級プレコンクール <資料2-1、2-2、2-3> 家庭科被服製作技術検定新4級プレコンクール応募用紙及びポスター	11
3	授業研究依頼文書 <資料3-1、3-2> 家庭科技術検定調査研究に係る授業研究について（依頼）	13
《授業研究報告》		15
《技術検定関係資料》		45

I 研究主題の設定及び調査研究内容

1 研究のテーマ

共通教科「家庭」における衣生活に関する指導の充実に向けて ～家庭科技術検定の活用を通して～

2 調査研究の趣旨

家庭部会 70 周年・家庭科技術検定 60 周年記念事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて 1 年延期ののち、令和 4 年度に実施の運びとなった。さらに、事業の一環として、「家庭科技術検定（実技）に係る DVD 作成及び無償配付」が実現した。振り返れば家庭科技術検定は、60 年もの長きにわたり、生徒が家庭科で学ぶ知識や技能の確実な定着と、教員の指導力の向上に大きく寄与してきた。

この間、家庭科技術検定を運営してきた財団法人全国高等学校家庭科教育振興会は、平成 23 年度に公益財団法人化した。これにより、一層の公益性、検定内容の質の確保、評価の透明性の確保と受検者の裾野を広げることを目的に、以下のとおり研究を重ね、提言及び実践事例等を提示してきた経緯がある。

○平成 24・25 年度 「公益財団法人認定に伴う家庭科技術検定の運営について」

○平成 26・27 年度 「家庭科技術検定の社会的評価を高めるために」

○平成 28・29 年度 「家庭科技術検定の社会的評価を高めるために～質の向上と 4 級受検者の増加を目指して～」

さらに、平成 30 年には、令和 4 年度入学生から年次進行で段階的に適用される高等学校学習指導要領が告示されたことにより、以下のとおり研究を進めた。

○平成 30・令和元年度 「新高等学校学習指導要領を踏まえた家庭科技術検定の在り方」

〔提言〕被服製作技術検定 4 級の試験内容は、「ミシン縫い」を除き「手縫い」のみとする。

○令和 2・3 年度 「ICT を活用した家庭科技術検定の更なる充実に向けて

～家庭科技術検定指導における ICT の活用～

以上の研究により、新学習指導要領に沿った効果的な検定内容の再構築と、教員の資質向上に資する成果を得ることができた。その一方で、高等学校等在籍生徒数の減少と新型コロナウイルス感染症の影響と思われる「家庭科技術検定受検者数の減少」、また、新高等学校学習指導要領の実施に伴う「指導と評価の一体化（3 観点に基づく学習評価の改善）」「働き方改革」等に係る新たな課題が明らかになった。

さらに、平成 28 年度の普通教育調査研究委員会の調査で、家庭部会会員校のうち普通科を設置する高等学校 1,201 校に調査依頼し、810 校（67.4%）から回答を得た結果、衣生活（被服管理と着装）は 35.7%の教員が「指導が十分にできていない」と回答し、その理由は「全体の指導時間が限られている」が 79.6%であった。

本調査研究委員会では、これまで、家庭科技術検定受検の促進を目的に具体的な方策を提案してきたが、「全体の指導時間が限られている」ことが、受検者増につながらない一因と考えられる。そこで、本調査研究は、衣生活の指導に対して、「全体の指導時間が限られている」ため「指導が十分にできていない」という教員の課題解決の一助となるとともに、家庭科技術検定の振興に資することをねらいとした。

3 調査研究の内容

(1) アンケート調査

① 調査対象校 令和 4 年度部会加盟校のうち、普通科と他学科併設校及び総合学科単独校 556 校

② 調査内容

- ・「衣生活と健康」（家庭基礎）、「衣生活の科学と文化」（家庭総合）の指導状況
- ・被服製作技術検定 4 級の実施状況

(2) 家庭科被服製作技術検定新 4 級プレコンクール

- ・令和 6 年度から新内容で実施する被服製作技術検定 4 級について周知するとともに、生徒の創意工夫する意欲を引き出し、主体的に製作に取り組む態度を培うことを目的とする。また、選考規準を観点別に示し、実技指導における観点別評価研究の一助に資する。
- ・全国の高等学校及び特別支援学校、指定技能教育施設の生徒を対象とする。

(3) 授業研究

- ・令和 6 年度から実施する被服製作技術検定 4 級（ポケットティッシュケース）の製作を取り入れ、複数の単元の学習内容を組み込んだ授業研究を 3 校に依頼。

II 調査研究委員会活動

1 調査研究の期間

令和4年7月～令和6年3月

2 調査研究委員（○は委員長）

【令和4年度】

- 名塚 康恵（群馬県立前橋清陵高等学校長）
 - 富川 麗子（東京都立東村山高等学校長）
 - 片岡 潤子（岐阜県立岐阜総合学園高等学校長）
 - 江頭かおり（佐賀県立牛津高等学校長）
- [事務局]
- 加藤 路子（事務局長）
 - 高橋 靖子（主幹）

【令和5年度】

- 片岡 潤子（岐阜県立岐阜総合学園高等学校長）
 - 江頭かおり（佐賀県立牛津高等学校長）
 - 須川 史子（群馬県立富岡実業高等学校長）
 - 津田 富代（倉敷市立倉敷翔南高等学校長）
- [事務局]
- 加藤 路子（事務局長）
 - 名塚 康恵（参事）

3 令和4年度調査研究委員会の主な活動

- (1) 第1回調査研究委員会 令和4年7月4日（月）
 - ① 調査研究の進め方（年間計画）
 - ② 研究テーマについて（技術検定を取り巻く）
 - ③ 調査研究の方針及び内容
- (2) 第2回調査研究委員会 令和4年9月27日（月）
 - ① アンケート調査の内容検討
 - ② 調査対象校の抽出
 - ③ 秋季研究協議会（福井大会）中間報告について
- (3) 第3回調査研究委員会 令和4年11月22日（火）
 - ① アンケート調査の内容検討
 - ② 今後の調査研究の進め方
 - ③ プレコンクールの募集要項・評価規準・ポスターの検討
- (4) 第4回調査研究委員会 令和5年2月11日（土）
 - ① プレコンクール募集要項の決定
 - ② 授業研究先の決定

4 令和5年度調査研究委員会の主な活動

- (1) 第1回調査研究委員会 令和5年6月20日（火）
 - ① 令和4年度調査研究の確認
 - ② 令和5年度調査研究計画
 - ③ アンケート調査結果の検討
 - ④ プレコンクールの募集・選考方法の確認
- (2) 第2回調査研究委員会 令和5年10月19日（月）
 - ① プレコンクール一次選考方法
 - ② プレコンクール一次選考
 - ③ プレコンクール二次選考方法の確認
 - ④ 報告書作成手順
- (3) 第3回調査研究委員会 令和5年12月18日（月）
 - ① プレコンクール二次選考
 - ② アンケート調査結果の分析・考察
 - ③ 実践事例報告書の確認
 - ④ 報告書作成のスケジュール
- (4) 第4回調査研究委員会 令和6年1月25日（木）
 - ① プレコンクール結果の確認
 - ② 報告書の作成

Ⅲ 調査研究

1 アンケート調査

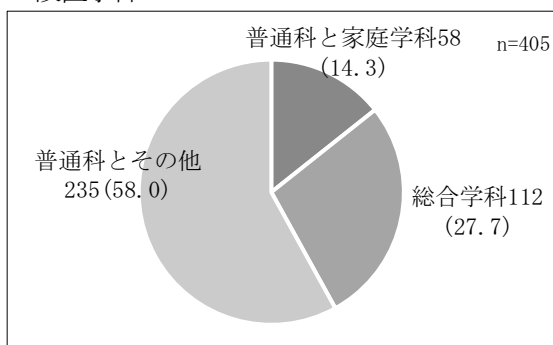
(1) アンケート調査の概要

- ① 調査期間 令和4年12月16日～令和5年1月20日
- ② 調査対象
 依頼校数 556校
 「普通科と家庭学科の併設校」74校、「普通科とその他の学科の併設校」320校、「総合学科」162校
 回答校数 405校 (回答率72.8%)
- ③ 調査内容 <資料1-1、1-2、1-3> 参照 (p.9～10)

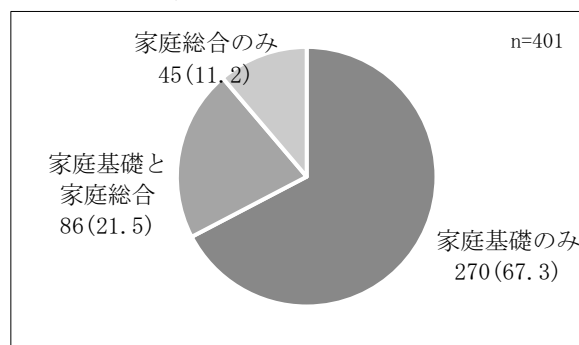
(2) アンケート調査の結果 ※グラフ内の数は校数、()内は%

① 学校概況について

ア 設置学科



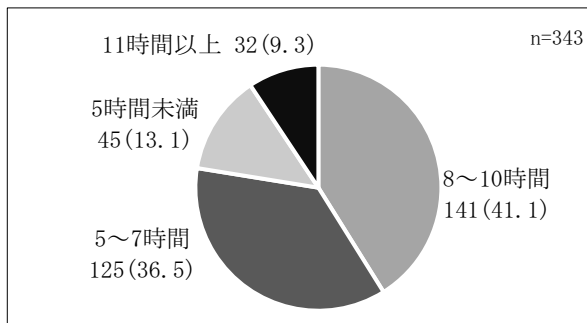
イ 共通教科「家庭」の開設科目 (令和4年度入学生)



「家庭学科併設校」が14.3%、「総合学科」が27.7%、「普通科とその他」が58.0%であった。開設科目は「家庭基礎のみ」が67.3%、「家庭基礎と家庭総合」が21.5%、「家庭総合のみ」が11.2%であった。

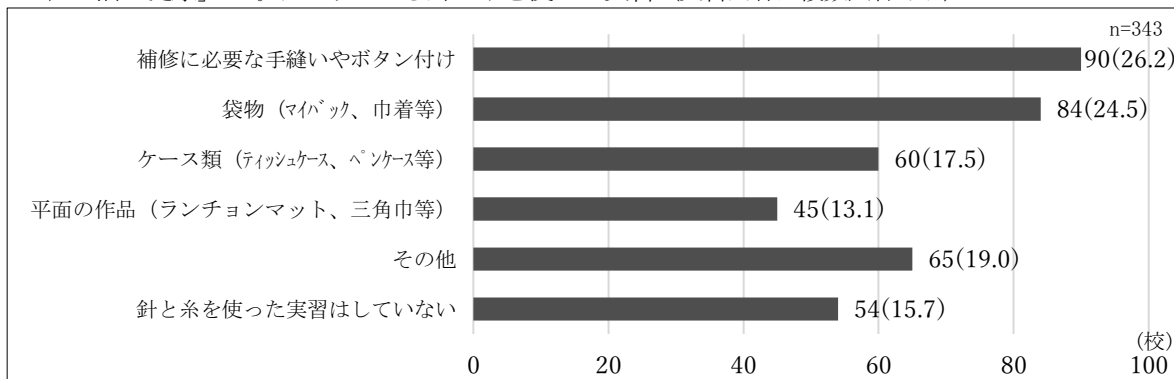
② 「家庭基礎」における「衣生活と健康」の指導について

ア 「衣生活と健康」の配当時数



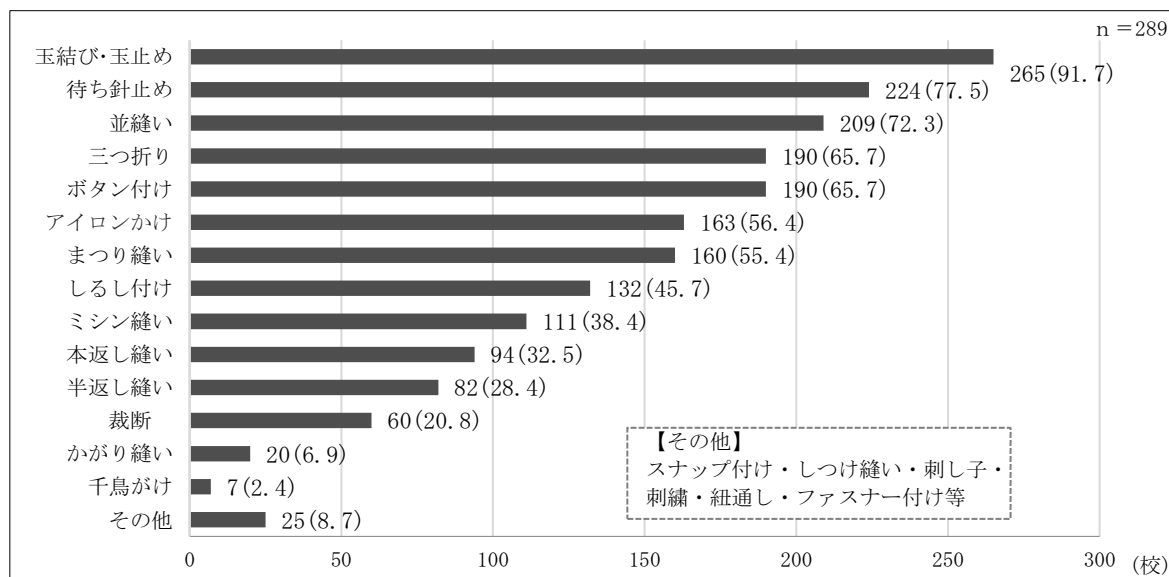
配当時数は、「8～10時間」が41.1%と最も多く、次いで、「5～7時間」が36.5%であった。一方、「5時間未満」は13.1%であった。

イ 「衣生活と健康」で取り上げている針と糸を使った実習 (実習内容は複数回答あり)



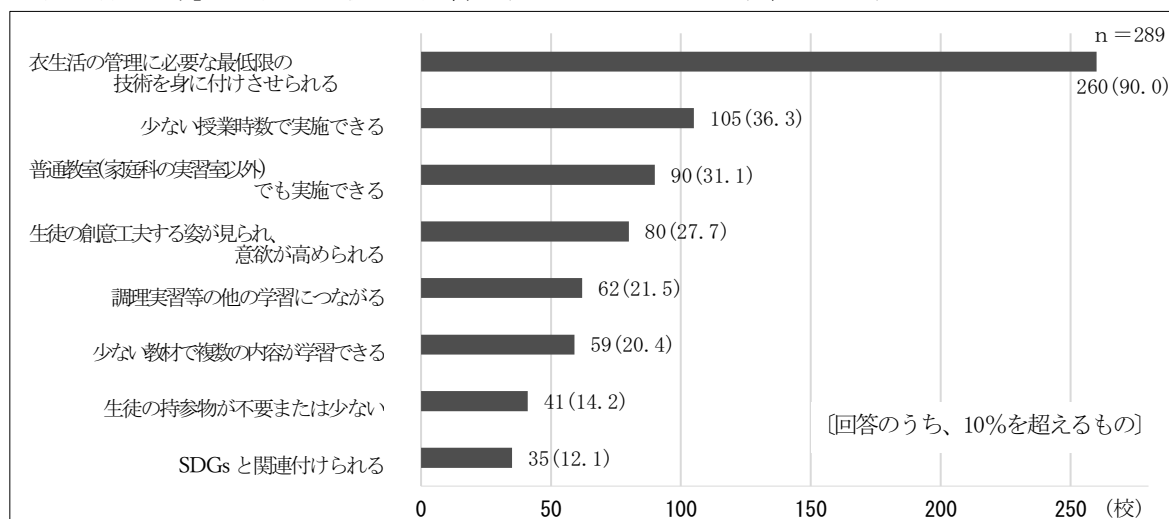
「針と糸を使った実習はしていない」は54校で、全体の15.7%であったことから、84.3%の学校が「針と糸を使った実習」を行っていることが分かる。「補修に必要な手縫いやボタン付け」が90校(26.2%)で最も多く、次いで「袋物(マイバッグ、巾着等)」84校(24.5%)、「ケース類(ティッシュケース、ペンケース等)」60校(17.5%)であった。「その他」では、マスクケースや防災頭巾など今日的課題に対応したのもあった。

ウ 「衣生活と健康」で針と糸を使った実習に用いる技能（複数回答可）



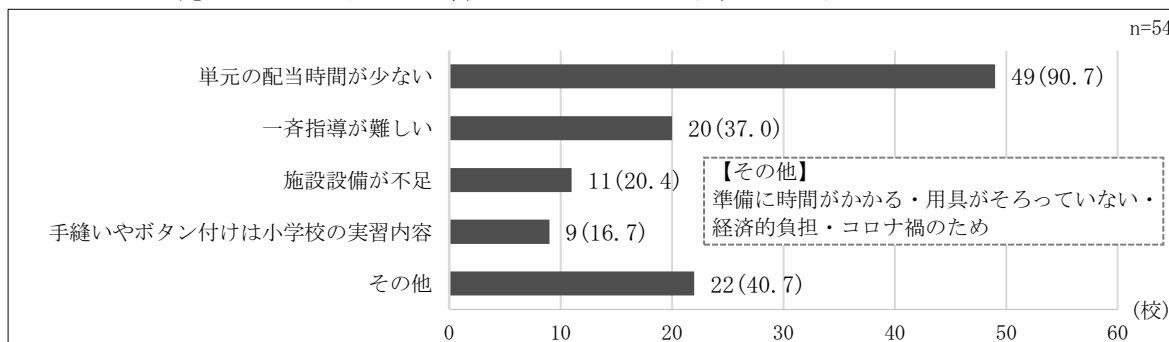
「玉結び・玉止め」が265校（91.7%）で最も多く、次いで「待ち針止め」224校（77.5%）、「並縫い」209校（72.3%）、「三つ折り」190校（65.7%）、「ボタン付け」190校（65.7%）、「アイロンかけ」163校（56.4%）、「まつり縫い」160校（55.4%）であった。いずれも、被服の有効活用や補修などに必要な技能である。

エ 「衣生活と健康」で針と糸を使った実習を取り入れている理由（上位3つまで）



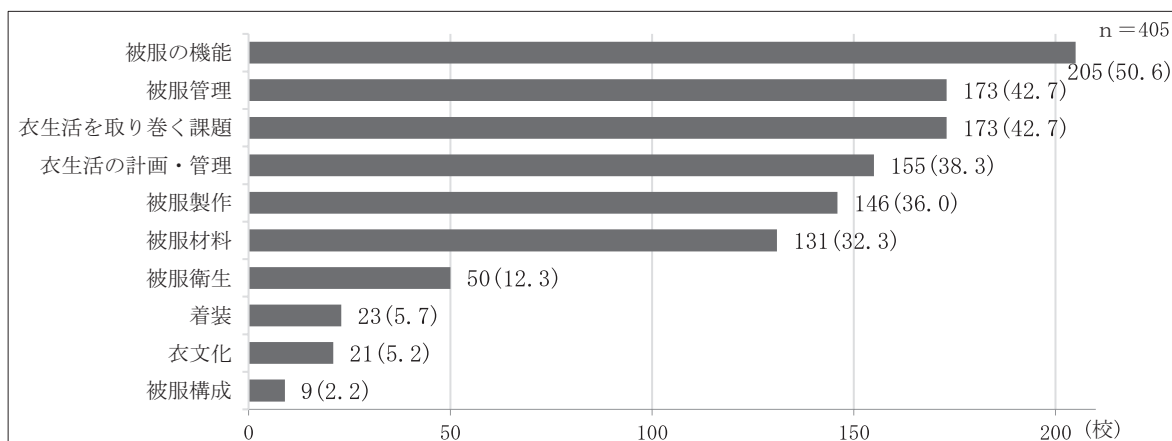
「衣生活の管理に必要な最低限の技能を身に付けさせられる」が260校（90.0%）で最も多く、次いで「少ない授業時数で実施できる」105校（36.3%）、「普通教室（家庭科の実習室以外）でも実施できる」90校（31.1%）、「生徒の創意工夫が見られ、意欲が高められる」80校（27.7%）であった。

オ 「衣生活と健康」で針と糸を使った実習をしていない理由（上位3つまで）



「単元の担当時間が少ない」が49校（90.7%）で最も多く、次いで「一斉指導が難しい」20校（37.0%）であった。「その他」には「コロナ禍のため」などがあつた。

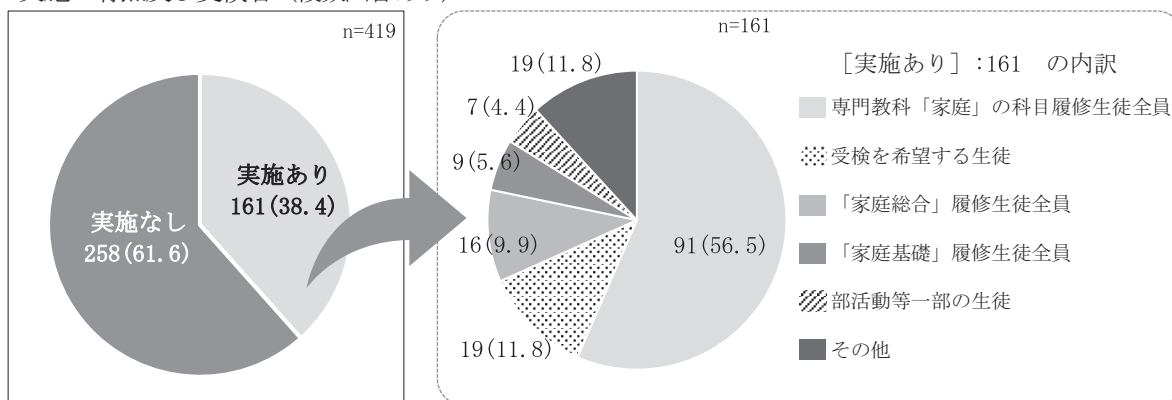
③ 「衣生活と健康」(家庭基礎)及び「衣生活の科学と文化」(家庭総合)において重きを置いて指導している項目について(上位3つまで)



「被服の機能」が205校(50.6%)で最も多く、次いで「被服管理」と「衣生活を取り巻く課題」が173校(42.7%)、「衣生活の計画・管理」155校(38.3%)であった。

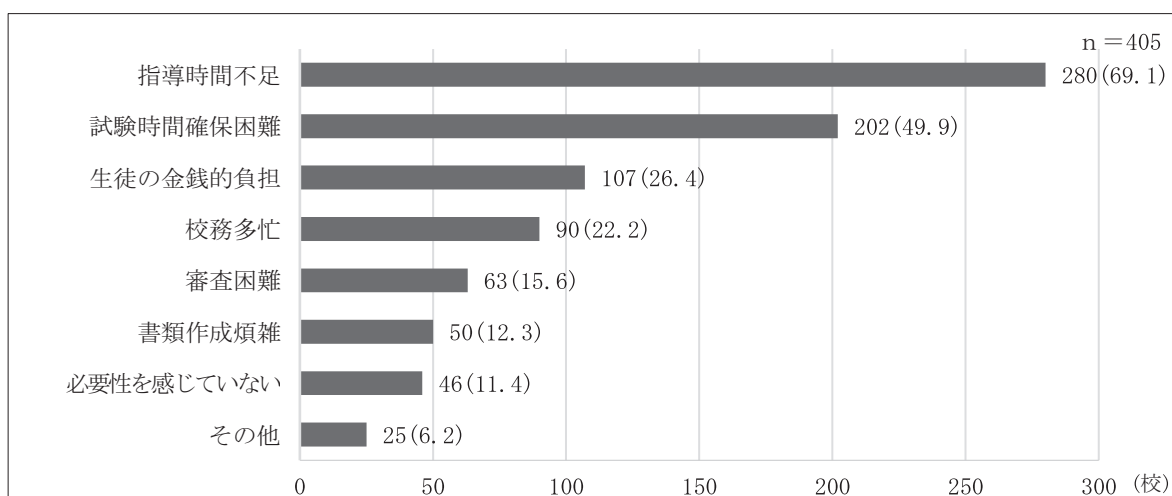
④ 被服製作技術検定4級について

ア 実施の有無及び受検者(複数回答あり)



被服製作技術検定4級の「実施なし」が258校(61.6%)で、「実施あり」は161校(38.4%)であった。実施校における受検者は、「専門教科『家庭』の科目履修生徒全員」が91校(56.5%)と最も多く、次いで「受検を希望する生徒」19校(11.8%)であった。「必履修教科『家庭』の履修生徒全員」は、「家庭総合」では、16校(9.9%)、「家庭基礎」では9校(5.6%)と少ない。

イ 被服製作技術検定4級実施が困難な学校における実施が困難な理由(上位3つまで回答可)



「指導時間の不足」が280校(69.1%)と最も多く、次いで「試験時間の確保が困難」202校(49.9%)であった。

2 家庭科被服製作技術検定新4級プレコンクール <資料2-1、2-2、2-3>

(1) 募集要項 全国専門委員会（令和5年5月開催）並びに当部会及び当振興会のWebページにて案内

- 1 主催
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会 全国高等学校長協会家庭部会 家庭科技術検定調査研究委員会
- 2 目的
令和6年度から新内容で実施する全国高等学校家庭科被服製作技術検定4級について周知するとともに、生徒の創意工夫する意欲を引き出し、主体的に製作に取り組む態度を培うことを目的とする。
- 3 応募資格 高等学校等（特別支援学校や指定技能教育施設を含む）の生徒。
- 4 募集要領
 - (1) 部門及びテーマ
「技術・技能※」「伝統文化継承」「SDGs」「デザイン」の4部門とし、テーマは自由に設定。
注「技術・技能」は装飾を含めた全体的な技術・技能。
 - (2) 募集作品規定
・被服製作技術検定新4級に準じた作品（裏面にポケット口のあるポケットティッシュケース）とする。
・用布・糸・ボタン・その他の材料は自由。
・「並縫い」「まつり縫い」「ボタン付け」は必ず入れ、「半返し縫い」は入れなくてもよい。
・仕上がりの大きさは、9cm×12cm程度とする。
参考型紙は、当振興会Webサイト（<http://www.katei-ed.or.jp/>）からダウンロード可。
・キャラクターなどの著作権を侵害しないものとする。
 - (3) 応募方法
・生徒は、応募用紙（生徒用）に記入し、作品の写真を添付して、学校を通して応募する。
・学校は、応募用紙（学校用）に記入し、生徒の応募用紙をまとめて送付する。
・一次選考通過者は、本会からの通知を受けたのち、学校を通して作品を送付する。
- 5 選考規準
 - (1) 一次選考（書類選考）
・部門に即した材料や技法が効果的に用いられているか。[知識・技能] [思考・判断・表現]
・応募用紙に作品製作の意図や意欲が適切に表現されているか。[思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]
・部門に対する知識や理解を主体的に深めようとしたか。[主体的に学習に取り組む態度]
 - (2) 二次選考（作品選考）
・「並縫い」「まつり縫い」「ボタン付け」が適切にできているか。[知識・技能]
・部門やテーマに沿った作品になっているか。[思考・判断・表現]
・仕上げが丁寧で、機能性のある作品か。[知識・技能] [主体的に学習に取り組む態度]
- 6 選考委員及び選考結果発表（予定）
 - (1) 一次選考 家庭科技術検定本部委員長（校長）4名、令和5年10月
 - (2) 二次選考 技術検定監修（名誉教授等）2名、家庭科技術検定本部委員長4名、令和5年12月
- 7 賞 個人賞：「最優秀賞」各部門1点、「優秀賞」各部門2点、学校賞1～2校
・入賞者及び学校賞校には、賞状及び記念品を贈呈する。
・入賞者の作品は、令和6年5月開催の家庭科技術検定全国専門委員会において展示した後に返却する。
- 8 応募期限 令和5年9月29日（金）必着
- 9 送付先・問合せ先
〒102-0071 東京都千代田区富士見一丁目5-6
公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会 「プレコンクール」係
Tel 03-3261-0617 FAX 03-3288-1670 E-mail: katei-ed@katei-ed.or.jp

(2) 応募状況及び選考結果 応募作品総数 766点 (32校)

① 個人賞及び学校賞

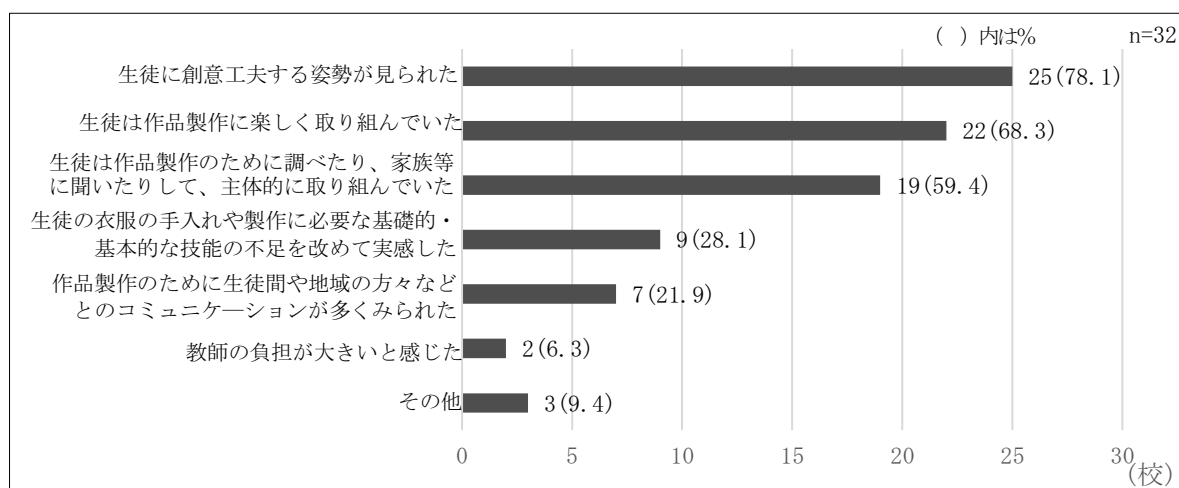
		技術・技能部門	伝統文化継承部門	SDGs 部門	デザイン部門
応募作品数		128点	67点	242点	329点
個人賞	最優秀賞	岐阜県立 岐阜城北高等学校 3年 桶本 萌香	佐賀県立 牛津高等学校 2年 大谷 舞桜	岐阜県立 岐阜城北高等学校 3年 和田 夏美	岡山県立 総社高等学校 2年 河合 優季
	優秀賞	佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校 3年 秦 菜央	岐阜県立 岐阜城北高等学校 3年 原田 ねね	佐賀県立 牛津高等学校 2年 宮原 萌	岡山県立 総社高等学校 2年 光畑 千夏
		佐賀県立 牛津高等学校 3年 川越 彩愛	千葉県立 佐倉東高等学校 3年 渡邊 瑞稀	聖和女子学院 高等学校 1年 萩原 彩乃	佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校 1年 北嶋 英理
学校賞		茨城県立水海道第二高等学校、岡山県立総社高等学校、佐賀県立牛津高等学校			

※個人賞作品の写真は、次のWebサイトに令和6年度末まで掲載

全国高等学校長協会家庭部会 <http://www.kateibukai.jp/>

公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会 http://www.katei-ed.or.jp/shinko/hifuku_chouri.htm

② コンクール応募に当たっての生徒の様子や感想（担当教諭回答、複数回答可）



③ 審査員講評

< 技術・技能部門 >

- ・授業で学んだ手芸の技法をふんだんに用いた凝った作品や、時間をかけて丁寧に仕上げた作品が多く、熱心に取り組んだ様子が伺える。技術レベルが高く、配色、デザインも素晴らしい。
- ・耐久性と使いやすさをさらに向上させるのであれば、デザイン上で、刺繍糸が引っかからないような配置の工夫が必要である。

< 伝統文化継承部門 >

- ・染色、こぎん刺し、つまみ細工など、手仕事の伝統文化をよく調べてデザインに生かし、落ち着いた作品が目立った。全体にレベルが高く、意欲的であった。デザインに工夫もあり、若いセンスも感じられ、現代の感覚も大事にしていることが伺える。
- ・染色やろうけつ染めのデザインに、やや既視感があるので、高校生の自由な発想が加わればよい。

< SDGs 部門 >

- ・「SDGs」のテーマに対して、海の豊かさ、平和への願い、食品ロスの問題等、単に余り布のリメイクというだけの捉えではなく、メッセージを込めたもの、素材を再利用したもの、作品を長く使えるよう工夫したものなど、多様な視点があることを気付かされた。
- ・布を使ったポケットティッシュケースを製作するに当たり、洗濯等の被服管理の視点にも配慮した材料選びが必要である。

< デザイン部門 >

- ・ティッシュケース全体をキャンバスに見立てたような、バランスよいデザインのものも多くあった。刺繍やパッチワークなどの技法を用い、構造を生かしたコミカルなデザインのものも多く、4級検定題材が楽しく活用してもらえる可能性を感じた。
- ・やや使いにくそうな作品もあり、機能性について配慮が必要である。

3 授業研究

(1) 依頼内容

令和6年度から実施する家庭科被服製作技術検定4級（ポケットティッシュケース）の製作を取り入れ、複数の単元の学習内容を組み込んだ授業計画の立案・実践をする。〈資料3-1、3-2〉

(2) 依頼先

- ・茨城県立水戸桜ノ牧高等学校 飯田 純子 教諭
- ・岐阜県立岐阜総合学園高等学校 堀江 雅子 教諭
- ・佐賀県立小城高等学校 服巻 昌子 教諭

(3) 授業研究報告

別掲 (p. 15~43)

IV まとめ

「共通教科『家庭』における衣生活に関する指導の充実に向けて ～家庭科技術検定の活用を通して～」をテーマに、2年間にわたって調査研究を行った。家庭科の学習のねらいとする「生活の自立」、「持続可能な社会の構築」の視点から、「衣生活」の指導について、アンケート調査結果の概要及び分析・考察を以下にまとめる。

■アンケート調査

○「家庭基礎」の「衣生活と健康」の配当時数は、「8～10時間又はそれ以上」が50.4%と半数を超え、一方で「5時間未満」は13.1%であった。そのような中、84.3%の学校が「針と糸を使った実習」を取り入れている。実習の内容としては、「玉結び・玉止め」「待ち針止め」「並縫い」「三つ折り」「ボタン付け」「アイロンがけ」「まつり縫い」などが挙げられている。これらの技能は、小・中学校の既習事項ではあるが、被服の管理・補修など、「衣生活の自立」のうえで必要な技能である。このことは、実習を取り入れている理由としても最も多い。授業では、袋物やケース類などの実習でこれらの技能を取り入れていることが少なくない。

○「衣生活と健康」「衣生活の科学と文化」においては、重きを置いて指導している上位3つが、順に「被服の機能」「被服管理」「衣生活を取り巻く課題」であった。これらの項目は、「衣生活の自立」や「持続可能な社会の構築」のために重要であると考えられる。

○被服製作技術検定4級の未実施校は61.6%である。「実施困難な理由」としては、「指導時間の不足」が69.1%、次いで「試験時間の確保が困難」が49.9%であった。「家庭科技術検定」は、家庭科で学んだ知識・技術の定着を図る目的で、先輩の家庭科教員によって60年以上も前に創設されたものである。改めて、検定の意義を考えてみる必要があるのではないだろうか。

被服製作技術検定新4級は、「並縫い」「まつり縫い」「半返し縫い」「ボタン付け」の技能を用い、試験時間は25分である。「持続可能な社会の構築」の視点から、衣生活における「リフォーム」「リメイク」は大切である。その実践力として、これら新4級で用いられる技能は、最低限、身に付けさせたい。技術検定を通して、被服製作における基礎的・基本的な技能を身に付けさせるとともに、「ものづくりの楽しさ」「達成感」などを味わわせたいと考える。

また、令和5年4月には、「家庭部会70周年・技術検定60周年」記念事業の一環として、技術検定(実技)DVDが無償配付されている。生徒は、QRコードを使って、自学自習できるようになっている。「指導時間の不足」という課題の解決にも役立てていただきたい。

以上のことから、「家庭基礎」でも十分に取り入れやすく、教室での実施も可能なので、ぜひ「被服製作技術検定4級」を活用いただきたい。

■家庭科被服製作技術検定新4級プレコンクール

令和6年度から実施する新内容であるにもかかわらず、32校766点という多くの応募があった。生徒の取組は、「創意工夫する姿勢が見られた」78.1%、「楽しく取組んでいた」68.8%、「主体的に取り組んでいた」59.4%と、教師は高く評価している。「持続可能な社会の構築」に向けて、今日の「ファストファッション」を脱するために、衣類の「リフォーム」「リメイク」に必要な創意工夫や技能を身に付けさせたい。本コンクールへの取組が、「創意工夫」や「ものづくりの楽しさ」につながったことは、喜びである。

被服製作技術検定新4級は、生徒が少ない時間で針と糸に係る技能を高めるとともに、達成感や成就感を獲得し、主体性を伸長する機会になるなど、教育上有効な取組であることを、今後さらに広く発信していきたい。

■授業研究

○実施校は、「衣生活と健康」の単元に6時間から10時間を配当している。

○「衣生活と健康」の指導においては、「C 持続可能な消費生活・環境(2)消費行動と意思決定」や「A 人の一生と家族・家庭及び福祉(5)共生社会と福祉」、「C 持続可能な消費生活・環境(2)消費行動と意思決定(3)持続可能なライフスタイルと環境」などの内容を取り入れながら、実施している。

○ポケットティッシュケースの製作は、古着・古布・残布などを有効に活用している。

被服製作技術検定新4級の内容を活用し、限られた指導時間の中でより効果的な指導が可能となるよう、これらの授業研究報告を掲載するので、ぜひ参考にしていきたい。

おわりに、ご多用の中、アンケート調査にご協力いただいた全国の家庭科の先生方をはじめ、プレコンクールに応募くださった生徒の皆様とご指導くださった先生方、さらには授業研究に取り組んでくださいました3名の先生に、心より感謝を申し上げます。

関係高等学校長 各位

4 家 第 7 9 号
令和4年12月16日

全国高等学校協会の協会の家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
理事長 木次 慎一
技術検定調査委員会
委員長 名塚 康恵
(公印省略)

令和4年度 家庭科技術検定調査研究に係る調査について(依頼)

寒冷の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より、当部会の諸事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本調査研究委員会では、これまでの家庭科調査研究委員会の提言等を踏まえ、本年度から2年間、下記のとおり調査研究をいたします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、貴校家庭科教員に教員依頼文書とともにアンケートをお渡し下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査研究のテーマ
「共通教科『家庭』における衣生活に関する指導の充実に向けて ～家庭科技術検定の活用を通して～」
- 2 調査研究の趣旨
令和6年度から被服製作技術検定4級の試験内容が、「『ミシン縫い』を除き『手縫いのみ』」と大きく変わる。また、本年度から、新学習指導要領が年次進行で実施されている。これらのことから、共通教科「家庭」の「衣生活」に係るアンケート調査による実態把握、新被服製作技術検定4級内容を活用した単元断片的な授業に係るモデル校による研究、新被服製作技術検定4級内容を取り入れたコンクールに関する研究を行う。これらの研究成果を紹介することにより、新学習指導要領下の「衣生活」に関する指導の充実に関するとともに、家庭科技術検定の振興を図ることをねらいとする。
- 3 アンケート調査の対象
家庭科教員 (常勤講師を含む) 1名 (複数の家庭科教員が配置されている場合は、教科主任)
- 4 アンケート調査の内容
共通教科「家庭」の「衣生活」に係る指導内容及び被服製作技術検定4級に関する事項について
- 5 家庭科教員にお渡しいただく書類
調査依頼文書及びアンケート 各1葉

<問い合わせ先>

全国高等学校協会家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
事務局長 加藤 路子
TEL 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
Eメール all-kocho@katei-ed.or.jp

関係各高等学校家庭科教員 各位

4 家 第 7 9 号
令和4年12月16日

全国高等学校協会の協会の家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
理事長 木次 慎一
技術検定調査委員会
委員長 名塚 康恵
(公印省略)

令和4年度 家庭科技術検定調査研究に係る調査について(依頼)

寒冷の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より、当部会の諸事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本調査研究委員会では、これまでの家庭科調査研究委員会の提言等を踏まえ、本年度から2年間、下記のとおり調査研究をいたします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、アンケートにご協力下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査研究のテーマ
「共通教科『家庭』における衣生活に関する指導の充実に向けて ～家庭科技術検定の活用を通して～」
- 2 調査研究の趣旨
令和6年度から被服製作技術検定4級の試験内容が、「『ミシン縫い』を除き『手縫いのみ』」と大きく変わる。また、本年度から、新学習指導要領が年次進行で実施されている。これらのことから、共通教科「家庭」の「衣生活」に係るアンケート調査による実態把握、新被服製作技術検定4級内容を活用した単元断片的な授業に係るモデル校による研究、新被服製作技術検定4級内容を取り入れたコンクールに関する研究を行う。これらの研究成果を紹介することにより、新学習指導要領下の「衣生活」に関する指導の充実に関するとともに、家庭科技術検定の振興を図ることをねらいとする。
- 3 アンケート調査の対象
家庭科教員 (常勤講師を含む) 1名 (複数の家庭科教員が配置されている場合は、教科主任)
- 4 アンケート調査の内容
共通教科「家庭」の「衣生活」に係る指導内容及び被服製作技術検定4級に関する事項について
- 5 回答方法及び期限
(1) 初回アンケートに回答し、FAXで下記宛てお送りください。
(2) 回答期限 令和5年1月20日(金)

<問い合わせ先>

全国高等学校協会家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
事務局長 加藤 路子
TEL 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
Eメール all-kocho@katei-ed.or.jp

(別紙)

全国高等学校長協会家庭部会 令和4年度「技術検定調査研究委員会」アンケート

《FAX送信先》 全国高等学校長協会家庭部会事務局

03-3288-1670

都道府県番号

都道府県名 学校名

令和5年1月20日(金)までに本票のみ(鑑不要)FAXでお送りください。

■貴校について、下のI~IVにお答えください。

回答は〔 〕内の該当する番号に○を付け、「その他()」を選んだ場合は()内に具体的にご記入ください。

I 学校概況について

- 1 設置学科について { 1 普通科 2 普通科と家庭科 3 総合学科 4 その他() }
2 共通教科「家庭」の設置科目について(令和4年度入学生)
{ 1 家庭基礎のみ 2 家庭基礎と家庭総合(学科やコース等により異なる) 3 家庭総合のみ }
※ 1又は2を選択した場合はIIに進んでください。3を選択した場合はIIIに進んでください。

II 「家庭基礎」《衣生活と健康》の指導について (「家庭基礎」を設置している学校のみ回答ください。)

- 1 「衣生活と健康」の配当時間 { 1 5時間未満 2 5~7時間 3 8~10時間 4 11時間以上 }
2 「衣生活と健康」で取り上げている針と糸を使った実習
{ 1 針と糸を使った実習はしていない。⇒設問5に進んでください。
2 補修に必要な手縫いやボタン付け 3 平面の作品(ランチョンマット、三角巾等)
4 ケース類(ティッシュケース、ペンケース等) 5 袋物(マイバック、巾着等)
6 その他() }
3 2の実習に用いる技術(複数回答可)
{ 1 裁断 2 しるし付け 3 三つ折り 4 待ち針止め 5 玉結び・玉止め
6 並縫い 7 半返し縫い 8 本返し縫い 9 まつり縫い 10 千鳥がけ
11 かがり縫い 12 ミシン縫い 13 アイロンかけ 14 ボタン付け 15 その他() }
4 2の実習を取り入れている理由(上位3つまで)
{ 1 衣生活の管理に必要な最低限の技術を身に付けさせられる。 2 調理実習等の他の学習につながる。
3 ホームプロジェクト活動や学校家庭クラブ活動と関連付けられる。 4 SDGsと関連付けられる。
5 地域の服飾産業や伝統工芸と関連付けられる。 6 生徒の創意工夫する姿が見られ、意欲が高められる。
7 少ない教材で複数の内容が学習できる。 8 家庭科技術検定の受検につながる。
9 学校行事に活用できる。 10 生徒負担の実習費が不要または少ない。
11 生徒の持参物が不要または少ない。 12 少ない授業時間で実施できる。
13 普通教室(家庭科の実習室以外)でも実施できる。 14 教師側の事前の準備物・準備時間が少ない。 }
5 2の実習をしていない理由(上位3つまで)
{ 1 単元の配当時間が少ない。 2 裁縫用具がそろっていない。 3 施設設備が不足している。
4 生徒に経済的負担をかけられない。 5 一斉指導が難しい。 6 評価が難しい。
7 手縫いやボタン付け等は小学校での実習内容である。 8 用具の準備等に時間がかかる。
9 その他() }

III 「衣生活と健康」「衣生活の科学と文化」において重きを置いて指導している項目(上位3つまで)

- (すべての学校で回答ください。)
- { 1 衣生活を取り巻く課題 2 衣文化 3 被服の機能 4 着装 5 衣生活の計画・管理
6 被服材料 7 被服構成 8 被服製作 9 被服衛生 10 被服管理 }

IV 被服製作技術検定4級について (すべての学校で回答ください。)

- 1 実施の有無及び受検者について(実施している場合は、1~6を選んでください。)
- { 0 実施なし 1 「家庭基礎」履修生徒全員 2 「家庭総合」履修生徒全員
3 専門教科「家庭」の科目履修生徒全員 4 部活動等一部の生徒 5 受検を希望する生徒
6 その他() }
- 2 被服製作技術検定4級実施が困難な学校において、実施が困難な理由と考えられること(3つまで)
(現在、被服製作技術検定実施の有無に関わらず回答ください。)
- { 1 指導の時間が不足している 2 試験時間の確保が難しい 3 一人で審査するのが難しい
4 受検料や材料費等、生徒の負担が大きい 5 受検のための書類作成が煩雑である
6 家庭科教員が必要性を感じていない 7 校務(家庭科の指導以外の業務)多忙である
8 その他() }

☆アンケートへのご協力、ありがとうございました。

令和5年度 家庭科被服製作技術検定新4級ブレコンクール応募用紙（生徒用）

応募部門 (該当番号に○)	1 技術・技能	2 伝統文化継承	3 SDGs	4 デザイン
フリガナ氏名	学校名等	学校	科	年
部門選択の理由				
作品テーマ				
使用材料				
製法方法 (該当番号に○)	1 手縫いのみ 2 手縫いとミシン縫い 3 その他の技法 ()			
本作製法に要した時間	約	時間	経費	約 円
作品自己PR				
<作品製作に当たって調べたことや準備したこと>				
<作品製作に込めた思いや工夫したこと>				
<作品製作で苦労したこと>				
作品の写真(カラー) ※画像データの貼付け又はプリントしたものを貼ってもよい				
[表]	[裏]			

令和5年度 家庭科被服製作技術検定新4級ブレコンクール応募用紙（学校用）

学校名	学校			
所在地	〒			
フリガナ担当者名	連絡先	TEL	E-mail	
学校概要	設置学科に○ 1 普通科 2 家庭に関する専門学科 3 総合学科 4 その他 ()			
応募点数	◆総点数 _____ 点			
	◆部門別点数 () 内に点数を記入してください。 技術・技能 () 伝統文化継承 () SDGs () デザイン ()			

○今後の参考にしたいので、以下についてお答えください。なお、選考には関係しません。(該当番号に○、複数可)

応募対象生徒	1 授業対象生徒全員 (科目名)	2 関係部活動生徒	3 希望生徒
作品製作時間	1 一部授業時間	2 放課後等授業外	3 家庭での課題 4 その他 ()
コンクール応募に当たった生徒の様子や感想など	1 生徒に創意工夫する姿勢がみられた。 2 生徒は作品製作のために生徒間や地域の方々などにコミュニケーションがとられていた。 3 作品製作のために生徒間や地域の方々などとのコミュニケーションが多くみられた。 4 生徒は作品製作に楽しく取り組んでいた。 5 生徒の衣服の手入れや製作に必要な基礎的・基本的な技能の不足を改めて実感した。 6 教師の負担が大きいと感じた。 7 その他 ()		

令和6年度から 家庭科被服製作技術検定4級 の内容が変わります!

ミシン縫いが
なくなります

手縫いだけで
できるよ



家庭科被服製作技術検定 新4級 **プレコンクール**

募集締切

令和5年9月29日(金) 必着

募集作品

被服製作技術検定新4級に準じた作品
(ポケットティッシュケース)

部門

「技術・技能」「伝統文化継承」「SDGs」
「デザイン」の4部門

応募資格

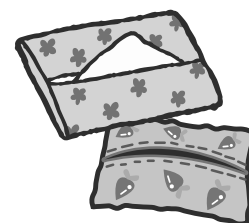
高校生等

選考及び賞

一次選考(書類選考)・二次選考(作品選考)

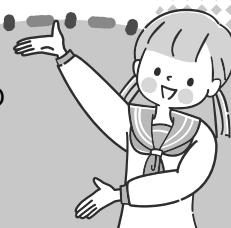
個人賞:「最優秀賞」各部門1点、「優秀賞」各部門2点
学校賞1~2校

入賞者及び学校賞校には、賞状及び記念品を贈呈します。



募集要項及び応募用紙は、(公財)全国高等学校家庭科教育振興会の
ホームページにありますので、ダウンロードしてお使いください。

<http://www.katei-ed.or.jp/index.html>



主催

公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
全国高等学校長協会家庭部会 家庭科技術検定調査研究委員会



4 家 第 103 号
令和5年3月30日

〇〇高等学校
校長 ○ ○ ○ ○ 様

全国高等学校長協会 家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
理事 木次 慎一
技術検定調査委員会
委員長 名塚 康恵
(公印省略)

家庭科技術検定調査研究に係る授業研究について(依頼)

桜花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より、当部会並びに振興会の諸事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本調査研究委員会では、「共通教科『家庭』における衣生活に関する指導の充実に向けて ～家庭科技術検定の活用を通して～」をテーマに、令和4・5年度の2年連続で調査研究を進めております。
そこで、その一環として下記のとおり、授業研究を依頼することといたしました。
つきましては、趣旨をご理解のうえ、添付しました依頼文書により、貴校 飯田 純子教諭にご依頼くださいますようお願い申し上げます。
なお、研究報告については、令和6年3月末発行の当委員会報告書に掲載いたします。

記

- 1 授業研究の趣旨
令和4年度から新学習指導要領が年進行で実施されており、家庭科では消費者教育や日本の生活文化の継承・創造等の学習活動の一層の充実が求められ、指導内容は多岐にわたっている。
平成28年度の本調査研究委員会の調査で、普通科を設置する高等学校1,201校に調査依頼し、810校から回答を得た結果、衣生活(被服管理と着装)は35.7%の教員が「指導が十分にできていない」と回答し、その理由は「全体の指導時間が限られている」が79.6%となっていた。そこで、令和6年度から本振興会主催の被服製作技術検定4級の内容を変更することを踏まえ、被服製作技術検定新4級の内容を活用し、限られた指導時間の中でより効果的な指導が可能となるよう複数の単元の学習内容を組み込んだ授業研究を依頼する。その研究を報告書に掲載することにより、家庭科教育の更なる充実・振興に資する。
- 2 取り組んでいただきたい内容
令和6年度から実施する家庭科被服製作技術検定4級(ポケットティッシュケース)の製作を取り入れ、複数の単元の学習内容を組み込んだ授業計画の立案・実践をする。
- 3 報告及び報告期限
(1) 当該授業の指導案及び実践報告(報告様式等は後日連絡)
(2) 令和5年12月22日(金) ただし、年間指導計画上、報告が遅くなる場合は事前にご連絡ください。
- 4 その他
(1) 同封の令和5年3月30日付4家第104号により、講習会に参加してください。当日は、家庭科被服製作技術検定新4級の伝達・講習(実技を含む)を行います。
なお、当日の交通費、実習費等は、主催者が負担します。
(2) 本研究に係る経費は、3万円を上限として主催者が負担します。

<問い合わせ先>
全国高等学校長協会家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
事務局 加藤 路子
TEL 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
Eメール all-kocho@katei-ed.or.jp

4 家 第 103 号
令和5年3月30日

〇〇高等学校
教諭 ○ ○ ○ ○ 様

全国高等学校長協会 家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
理事 木次 慎一
技術検定調査委員会
委員長 名塚 康恵
(公印省略)

家庭科技術検定調査研究に係る授業研究について(依頼)

桜花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より、当部会並びに振興会の諸事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本調査研究委員会では、「共通教科『家庭』における衣生活に関する指導の充実に向けて ～家庭科技術検定の活用を通して～」をテーマに、令和4・5年度の2年連続で調査研究を進めております。
そこで、その一環として下記のとおり、授業研究を依頼することといたしました。
つきましては、趣旨をご理解のうえ、本研究にご協力くださいますようお願い申し上げます。
なお、研究報告については、令和6年3月末発行の当委員会報告書に掲載いたします。

記

- 1 授業研究の趣旨
令和4年度から新学習指導要領が年進行で実施されており、家庭科では消費者教育や日本の生活文化の継承・創造等の学習活動の一層の充実が求められ、指導内容は多岐にわたっている。
平成28年度の本調査研究委員会の調査で、普通科を設置する高等学校1,201校に調査依頼し、810校から回答を得た結果、衣生活(被服管理と着装)は35.7%の教員が「指導が十分にできていない」と回答し、その理由は「全体の指導時間が限られている」が79.6%となっていた。そこで、令和6年度から本振興会主催の被服製作技術検定4級の内容を変更することを踏まえ、被服製作技術検定新4級の内容を活用し、限られた指導時間の中でより効果的な指導が可能となるよう複数の単元の学習内容を組み込んだ授業研究を依頼する。その研究を報告書に掲載することにより、家庭科教育の更なる充実・振興に資する。
- 2 取り組んでいただきたい内容
令和6年度から実施する家庭科被服製作技術検定4級(ポケットティッシュケース)の製作を取り入れ、複数の単元の学習内容を組み込んだ授業計画の立案・実践をする。
- 3 報告及び報告期限
(1) 当該授業の指導案及び実践報告(報告様式等は後日連絡)
(2) 令和5年12月22日(金) ただし、年間指導計画上、報告が遅くなる場合は事前にご連絡ください。
- 4 その他
(1) 同封の令和5年3月30日付4家第104号により、講習会に参加してください。当日は、家庭科被服製作技術検定新4級の伝達・講習(実技を含む)を行います。
なお、当日の交通費、実習費等は、主催者が負担します。
(2) 本研究に係る経費は、3万円を上限として主催者が負担します。

<問い合わせ先>
全国高等学校長協会家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
事務局 加藤 路子
TEL 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
Eメール all-kocho@katei-ed.or.jp

《 授業研究報告 》

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	飯田 純子教諭
岐阜県立岐阜総合学園高等学校	堀江 雅子教諭
佐賀県立小城高等学校	服巻 昌子教諭

学校名	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	所在地等	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2070			
校長名	秋山 克巳		TEL : 029-243-3644 Eメールアドレス(連絡先) : iida.jyunko@post.ibk.ed.jp			
指導者名	飯田 純子	実施学科 ・学年	普通科 ・1 学年	使用教科書 (出版社名)	家庭基礎 (第一学習社)	

< 単元計画及び学習指導案 >

1 単元名 衣食住の生活の自立と設計 (衣生活と健康)

2 単元の目標

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解をするとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決しようとする。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活面での自立を図り、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。

※高等学校学習指導要領(平成30年告示) 家庭より

内容「C 持続可能な消費生活・環境 (2)消費行動と意思決定」の内容が扱われている箇所は、当該箇所学習時の資料として位置づけ、内容C学習時に評価する。

内容「A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (5)共生社会と福祉」の内容が扱われている箇所は、内容「B 衣食住の生活の自立と設計」との関連を図る位置づけとして学習し、内容B「(2)衣生活と健康」学習終了時に評価する。

4 題材について

(1) 題材観

被服は既製品を用いることが当たり前の現代において、衣生活面で求められる力は、正しい選択と管理の力であると考え。また、自分の満足だけではなく、環境や人に配慮した行動も強く求められ、被服を長く用いるための知識や技能も欠かせない。本題材では、被服材料の再利用について考え、被服の選択に必要な知識や修繕・管理の技能を身に付けることを目的としている。

(2) 生徒観

ほとんどの生徒が大学進学を希望しており、学習習慣の確立している生徒が多い。部活動加入率も90%を超えており、活動的な雰囲気がある。各教科の授業への取組状況も良く、家庭科の学習においても熱心に取り組んでいる。特に実習を伴う学習には前向きな生徒が多い。しかし、被服に関する実習は、その他の実習に比べ、苦手意識を持っている生徒が少なくない。小学校や中学校での「家庭科」の学習時間が少なくなっていることや家庭での体験が減っていることなどが原因と考えられる。評価規準や実習の目的を明確に示すことで、意欲を引き出したいと考える。

(3) 指導観

本題材では被服製作技術検定新4級の検定内容を用いる。検定試験では評価規準が明確に示されているため、これを生徒に示すことで、目標がより明確になり、生徒の意欲が引き出せると考える。また、自分で用意した死蔵被服等を自分の力で使えるものに仕上げることで、被服を長く用いることや被服材料の有効活用について、より深く考える機会としたい。同時に他分野の学習内容を重ねていくことにより、本題材が総合的な学習であることを意識付けていきたい。

5 題材の指導計画（10時間扱い）

第1次・・・被服の役割と被服材料、快適な衣生活（1時間）

第2次・・・被服衛生と計画・管理（1時間）

第3次・・・被服の計画・管理、製作実習（8時間）・・・本実践

時間	学習内容・活動 (同時に学習する内容)	評価の観点			評価及び評価方法等
		知 技	思	態	
1	<p>被服の役割を知り、快適な衣生活を送れるようになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服の起源について 被服の機能 被服材料の特徴と性能 被服構成と着装 	①	①	①	<p>態①：被服の成り立ちについて確認している。 【学習ノート】</p> <p>知技①：被服の機能性・快適性について被服材 料の特徴や被服構成等から理解すること ができています。 【定期考査】</p> <p>思①：場面に応じた着装について考えることが できている。 【学習ノート】</p>
	<p>被服の手入れについて知り、適切な管理ができるようになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 繊維製品の表示 洗濯の仕組みと方法 被服の手入れと保管 (エンカル消費・循環型衣生活) 	②	③	④	<p>知技②：繊維製品の表示について理解している。 【定期考査】</p> <p>思②：洗濯の仕組みについて理解している。 【学習ノート】 【定期考査】</p> <p>思③：被服の管理についての考えを記述するこ とができている。 【学習ノート】</p>
本 実 践	<p>被服の補修技能を身に付け、繊維資源を大切に使えるようになろう</p> <p><夏季休業中課題> 長く保管したままの思い出の服や端切れ・余り布を各家庭で探してくる。</p>				
	<p>課題 被服の補修技能を身に付ける。死蔵被服 や余り布をリユースする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 持参した材料がポケットティッシュケ ースを作ることに適しているか判断し、ど のようにしたら利用できるか考える。既 習の繊維や布に関する内容を記載したヒ ントカードを参考にする。 (被服材料の特徴と性能) 利用方法の見本として、伝統的な縫製技 能・手芸品にも触れ、それらの技能が繊 維製品を長く使える要因になっているこ とを知る。 ※実物見本 (エンカル消費・循環型衣生活) 	④	②		<p>思④：布の特性や思い出の品を生かして、持参 した材料をポケットティッシュケースにす る方法について考えることができている。 【ワークシート】</p> <p>(B評価) 見本等を参考にし、適切な使用方 法を挙げるができている。</p> <p>態②：実習材料を持参できている。 【実物】</p>

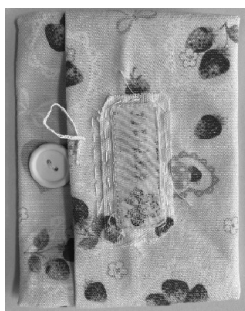
<p>5 6 7 8</p>	<p>・考えた方法で製作できるよう、裁断・し るし付けを行う。布目についても考える。</p> <p>・被服製作技術検定新4級の手順に沿って縫う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>並縫い 半返し縫い まつり縫い ボタン付け (ミシン縫い)</p> </div> <p>・それぞれの縫い方が、どのような場面で 活用できるかを確認する。</p> <p>※師範 ※実物見本</p>	<p>③ ④</p>	<p>知技③：適切に裁断・しるし付けができています。 【実物】</p> <p>知技④：正しく縫えている。 【実物】</p> <p>③ 態③：被服の補修に必要な技能を正しく身に付 けようとしている。 【行動観察】 ※Google Classroomの進捗チェック表で進捗を 把握する。→状況に合わせて指導 ※Google Classroomに師範動画を掲載しておく。 自信のない生徒は、各自で何回でも確認でき るようにする。</p>
<p>9 10</p>	<p>・製作の振り返り 自己評価</p>	<p>⑤</p>	<p>思⑤：作品のでき上がりや自分の取組状況につ いて、思考することができている。 【ワークシート】 (B評価) 自分の取組み方について、根拠を 示し、記述できている。</p>
	<p>家族など、身近な人へのプレゼントにする 場合を想定し、ポケットティッシュケース の改良点を考える。 (共生社会)</p>	<p>⑥</p>	<p>思⑥：それぞれの立場に立って考え、必要な改 善点について提案することができている。 (B評価) それぞれの特徴について触れ、改 善方法を挙げることができている。</p>
	<p>相互評価 ほめポイント アップサイクル製品として売れるもの にするためのアドバイス (消費生活 (意思決定))</p> <p>アップサイクル製品としてのアドバイスから、 人がお金の対価としてどんなことを求 めるか、気付いたことをフォームに入力。 (→消費生活分野の学習で後日利用)</p>	<p>⑦</p>	<p>思⑦：作品の評価を正しく行い、アドバイスす ることができている。 【ワークシート】</p> <p>※今後の学習に必要な記録になること、入力す べき内容について詳しく説明し、後日利用しや すい資料となるよう促す。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ 被服の補修技能を身に付けることで、織 維製品を長く利用することができる。</p> </div> <p>・衣生活分野全体の振り返り この分野で学習した知識や技能を今後の 生活に生かす方法を考える。各自がグー グルフォームに入力し、結果を全体で共 有する。</p>	<p>⑤</p>	<p>態⑤：自分や家庭、地域の生活の充実向上のた めに、学習を生かして実践しようとして いる。 (B評価) 具体的な方法が入力できている。</p>

<まとめ（成果と課題）>

・成果

授業前の聞き取りでは、小中学校の被服製作で未完成のままだった生徒が各クラス2、3名ほどいたが、今回の作品については、全員がポケットティッシュケースを仕上げて実習を終えることができた。一つ一つの作業が短時間で終わるサイズであったために苦手な部分でも何とか最後まで取り組めていたようである。新4級技術検定はポケットティッシュケースというコンパクトなサイズの中に、被服の補修に必要な手縫いの基本的な技能が盛り込まれており、評価規準も明確なため、生徒が目標を意識したうえで取り組めたことも意欲につながったと考える。生徒の事後記録にも「初めてすべて自力で完成させることができた」「まつり縫いの表目が大きくならないように気を付けてできた」「もうボタン付けを家の人に頼まなくても済む」「今回学んだことを生かして衣服を長く大切に利用したい」などの感想が記入されていた。

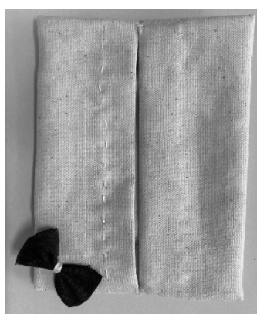
材料に新しい布ではなく死蔵被服や残り布を用いたため、それらが活用できることに楽しみを感じ、意欲につながった生徒も多かったようである。サイズがあまり大きくなかったため、持参した材料だけで充分に用布を確保できた生徒がほとんどであった。また死蔵被服を探すことが自分の生育歴を振り返ることにつながったり、製作の振り返りで、プレゼントする家族などに寄り添って考える機会になったりした生徒も多かった。



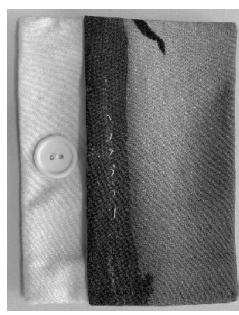
小学生時代の袋



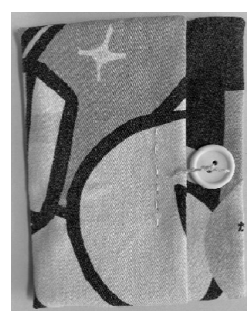
保育園で配られた手ぬぐい



持参した余り布が薄すぎると判断しリボンにして利用



Tシャツの柄を活用



給食で使っていたランチョンマット

衣生活分野の学習に被服製作技術検定新4級の内容を取り入れたことで、効率的に被服の補修技能を学ぶ実習を行うことができた。さらに、他分野の学習内容を組み込んだことにより、既習分野の振り返りや未習分野の準備を並行して行うことができた。さらに、各分野の学習が独立しているわけではなく、総合的に捉えていくという意識付けにもなったと感じた。

・課題

他分野の学習を組み込んだことで散漫な展開になった部分もあった。相互評価の場面で、環境や消費生活の内容を組み入れ、単純に良かったところ・悪かったところとして評価するよりも、指摘がしやすく柔らかい印象になることを期待して、「ほめポイント」「アップサイクル製品として販売する場合のアドバイス」としてみたが、生徒からは、どこにポイントを絞ってアドバイスしたら良いかわからない様子の質問が多く出た。他分野の学習を組み合わせる時には、内容の精選がより必要になると感じた。

本実践では、繊維や手入れの方法を学んだ後に製作実習を行った。用布選定と併せて学ぶことで、より実感を伴った学習にできたのではないかと思われる。授業の構成については今後も検討していかなければならない課題である。

被服製作技術検定新4級の内容を取り入れ実習を行ったので、関心の強い生徒だけでも検定受検につなげることができれば、授業時間不足を補い体験を増やす機会となったのではないかと思われる。次年度以降の受検なども提案していきたい。

家庭基礎 学習資料～ポケットティッシュケース製作～

1 材料の検討

持参した布製品がどのように使えるか、ワークシートに沿って検討しよう。

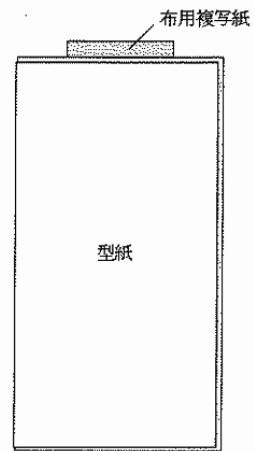
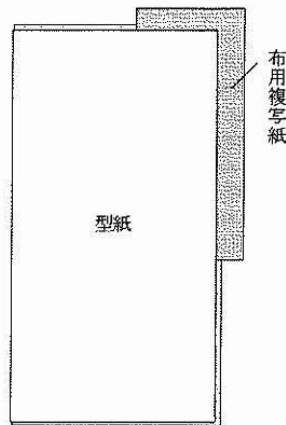
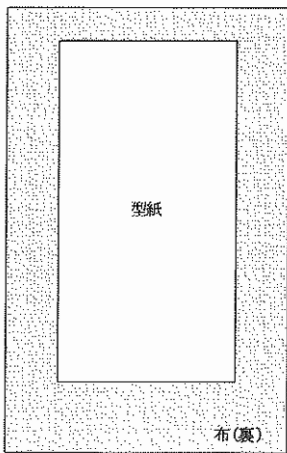
作品見本を参考にしよう！！

裁断・しるしつけは特に慎重に丁寧に！！

ここできちんと準備できると折るとき、縫うとき、楽にできます。

2 裁断・しるしつけ

- ① 布の裏面に型紙を置いて裁断する。 ② 布を型紙の間に布用複写紙（片面）をはさみ、布の裏にしるしをつける。 ※半返し・ボタンつけ位置は布の下に布用複写紙を入れ、しるしをつける。

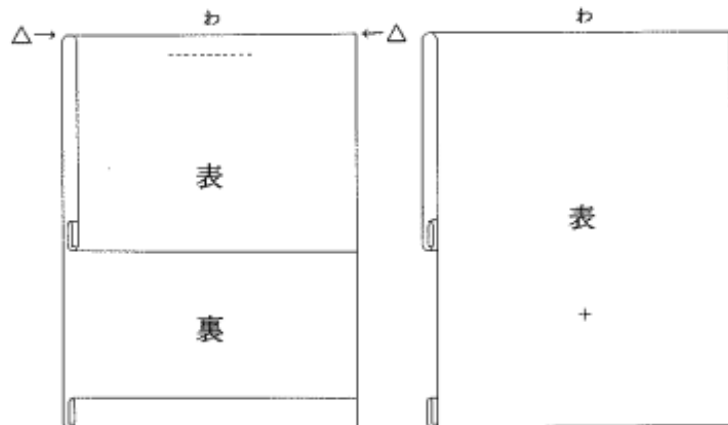


道具

裁ちばさみ ルレット チャコペーパー

- ③ 短いほうの布端を 1.5cm～2.0cm の三つ折りにする。 ④ ポケット口（△の位置）で外表に折る。

※両端の幅は揃える。



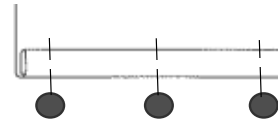
道具

ものさし コロコロオープナー

◎待ち針の打ち方

縫う方向に対して垂直に打つ

縫う辺の両端が最初、次に真ん中、その後は間を埋めていく。



3 縫い方 (糸はすべて1本どり (1本どりとは? : 資料集 P100))

道具

縫い針 待ち針 糸
糸切りハサミ

縫い方は師範をよく見ましょう。

その後の確認は、資料集 P101 参照。

動画は資料集 P100 にある QR コード、もしくはクラスルームの「授業」に資料として URL がのせてあるので、どちらかで。

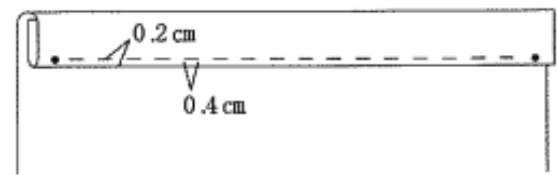
① 並縫い (その名のとおり、一番一般的な縫い方)

布の端から端まで並縫いをする。

折り山より 0.2cm 内側 0.4cm 程度の針目で縫う。

縫い始めと縫い終わりは玉止めする。

玉止めはかくさなくてもよいが、表には出さない。



② まつり縫い (The裾上げ)

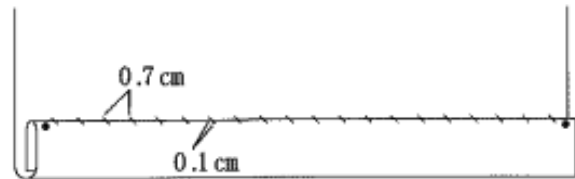
布の端から端までをまつり縫いする。

針目の間隔は 0.7cm 程度で表目は 0.1cm 程度とする。(折り山の 0.1cm 程度内側にまつり縫いをする)

縫い始めと縫い終わりは玉止めする。

玉止めはかくさなくてもよいが、表には出さない。

*左利きの場合は目の向き(斜めの針目)が逆になる



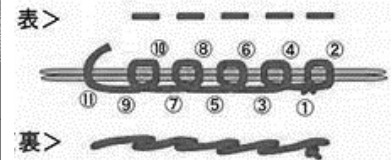
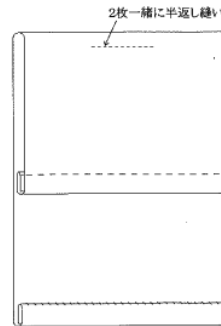
③ 半返し縫い (しっかり縫い止められる)

ポケット口を折った状態で、2枚一緒に半返し縫いをする。

半返し縫いのしるしがある方を表にする。

ポケット口の折り山から 1cm の位置に 4cm 以上縫う。

針目は裏目 0.6cm 程度、表返し目 0.2cm 程度とする。玉止めは裏目側にする。

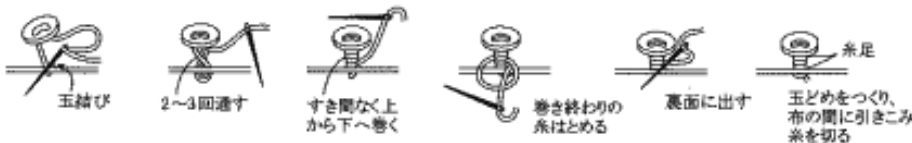
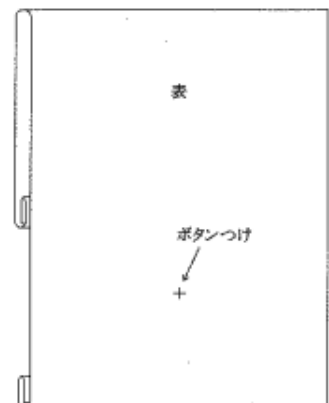


④ ボタン付け

ボタンつけ位置(表)にボタンをつける。

糸は 30 番の糸 1 本どりで行う。

糸は 3 回かけ、糸足を 3 回程度巻き、しっかりつける。玉止めは布の裏側に出してもよい。



4 仕上げ

(1) わき縫い

①(2つの山じるし)で折る。

①と①'をつまみ、折って合わせる。

②(山じるし)を折り、ティッシュケース口を合わせる。

待ち針でとめる。

わきのしるしをミシンで縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

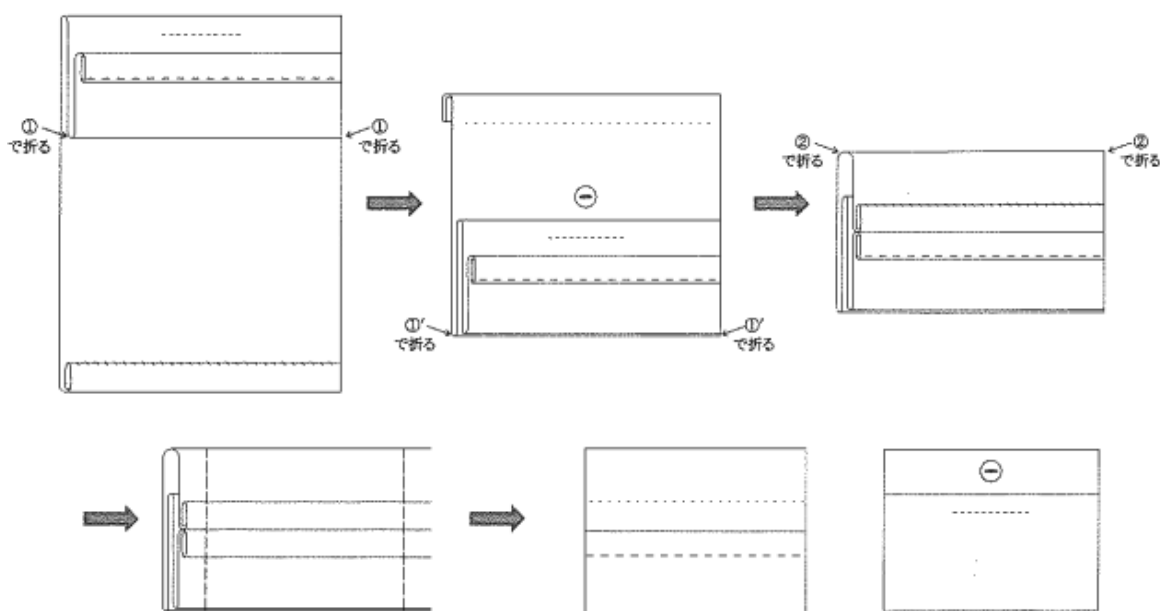
表に返し、形を整える。

道具		
ミシン	待ち針	ミシン糸

ミシンの使い方は師範をよく見ましょう。

その後の確認は、資料集 P103 参照。

動画は資料集 P103 の QR コードもしくはクラスルームの「授業」に資料として URL がのせてあるので、どちらかで。

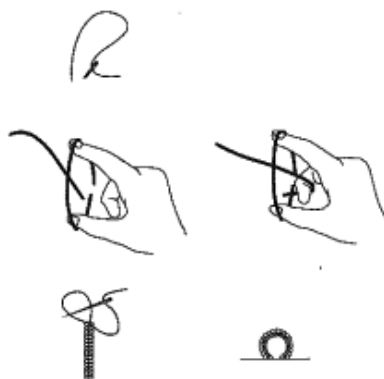


(2) アレンジ (どちらかひとつは行う。両方行っても良い)

・糸ループ

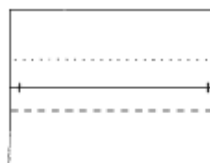
ポケット口の裏から針を入れ、通した糸のそばに針を入れて輪を作る。

左手の親指と人差し指で輪を作り、右手で糸を持ち、輪の中に中指を通して右手の糸を引き、親指と人差し指を外して結び目と新しい輪を作る。これを数回繰り返す。ちょうどよい長さになったら、輪の中に針を通して固定し、裏でとめて完成。



・かんぬきどめ

裏から針を入れ、ケース口をまたいで2~3回縫いとめる。



家庭基礎学習プリント（被服実習の始めに）

1年 組 番 名前

布を貼りましょう
(裁断後余り布を利用)

- 今回持参した衣服（布）を選んだ理由はなんですか。また、その材料に関する思い出や探したときの家族との会話など、その材料に関わるエピソードも記入しましょう。

家庭基礎学習プリント（被服実習の終わりに）

1年 組 番 名前

- 1 今回の被服実習について自己評価をしましょう。

ポケットティッシュケースのできあがり とても良い 良い もう少し 悪い
 どこがどのように良い？悪い？

布の選び方や使い方の工夫 とても良い 良い もう少し 悪い

選んだ布は扱い切る 印をつける 縫う 形を整える等やすかった？ポケットティッシュケースに向いていた？

- ポケットティッシュケースの材料として持参した物をよく観察しましょう。見本等と比べながら材料として適しているか、適していない場合には、どうすれば利用できるか考えましょう。(教科書 P143～149も参照)

*そのまま本体の材料として使用できそうですか。

判断の理由

できる できない

実習中のあなたの取り組み方 とても良い 良い もう少し 悪い

どんなところが良かった？悪かった？

班内での教え合いなど協力体制 とても良い 良い もう少し 悪い

あなたは班のメンバーのために何ができた？

*そのまま本体に使用できない場合は、どうしたら使えたいと思いますか。方法を考えてみましょう。(→問題解決カード)

製作の際、どんな工夫や努力をしましたか。また、それらの工夫や努力には成果がありましたか。あったと判断した場合にはその理由を、なかったと判断した場合にはその原因を考え、記入しましょう。

2 ポケットティッシュケースを改良してみよう

(1) このポケットティッシュケースを身近な方にプレゼンするとします。その方に合う物をプレゼンするにはどんな改良が必要ですか。その方の特徴を踏まえて考えてみましょう。

<プレゼンする方> <その方の特徴>

<改良点>

(2) アップサイクル製品として考えてみよう。

- ① “この作品をアップサイクル製品として売るとしたら” という想定で自分なりに値段をつけてみましょう。(相互評価票に記入) → 作品と評価票をセットにして回す
- ② 自分宛の相互評価票を見て、自分では気がつかなかった良いところ、もう少し頑張る必要があったところを書き出してみましょう。

--	--

<消費生活分野の学習に向けて>

アップサイクル製品としてのアドバイスから、人が支払いの対価としてどんなことを求めると感じましたか。気がついたことをフォームに入力しましょう。

入力メモ

--	--

※ここで考えたことは、消費生活の学習での資料となります。

《相互評価票》

1年 組 番 名前

さんへ

* 作品や実習の仕方で良かったところ

評価者	コメント

<アップサイクル製品としての値段

円 (製作者評価) >

*この作品をアップサイクル製品として上記値段で売れる場合、どんな改良や工夫が必要でしょうか。あなたの意見を教えてください。

評価者	コメント

学校名	岐阜県立岐阜総合学園高等学校	所在地等	〒500-8289 岐阜県岐阜市須賀2丁目7番25号		
校長名	片岡 潤子		TEL : 058-271-5548 Eメールアドレス(連絡先) : p47837@gifu-net.ed.jp		
指導者名	堀江 雅子	実施学科・学年	総合学科・1年次	使用教科書(出版社名)	家庭基礎 気づく力築く未来 (実教出版株式会社)

家庭科技術検定新4級ポケットティッシュケース製作実習を踏まえた教材開発

1 はじめに

科目「家庭基礎」の指導計画作成に当たっては、学習指導要領において、総時間数のうち10分の5以上を実験・実習に配当するように定められている。2単位の「家庭基礎」では各指導項目に十分な時間を配当しづらいことから、特に衣生活に係る実習を行うに際し、複数の学習項目を関連させた展開が必須となる。このことから、講義内容と被服製作技術検定新4級ポケットティッシュケース製作実習を融合的に学べる教材を開発した。

2 事前アンケートの結果

授業に先立ち、生徒の実態についてアンケート調査を行った。この結果、生徒は小学校では73人中66人は被服実習を行っており、その作品の内訳をみると、エプロン60.3%、ナップサック20.5%、袋ものの製作12.3%（複数回答）であった。また、中学校ではコロナ禍の影響下にあったが、73人中60人は被服実習を行っており、作品の内訳をみると、ウォールポケット13.3%、防災バッグ（含むリュック）13.4%、座布団11.7%、ティッシュケース10.0%などとなっている。中学校の方が、様々な種類の作品を作っていることが分かる。そして、今回のポケットティッシュケース製作にかかわる手縫いについて知っているか、縫うことができるかについて質問したところ、下記の表のとおりとなった。

表1 手縫いの種類と縫い方との認知・実践

手縫いの種類	縫い方の認知	縫うことが可能	手縫いの種類	縫い方の認知	縫うことが可能
並縫い	93.2%	86.3%	かがり縫い	38.4%	23.3%
まつり縫い	68.5%	45.2%	ボタンの付け方	78.1%	61.6%
半返し縫い	52.1%	37.0%	スナップの付け方	39.7%	21.9%
本返し縫い	50.7%	34.2%	刺しゅう	27.4%	16.4%

実習前の意気込みについての記述を見ると、「実用的でシンプルをモットーに、普段の生活で使えるような作品を作りたい。」「裁縫が苦手だけど、できるように頑張りたい。」「裁縫は得意じゃないですが、やるのは好きなので楽しみです。頑張ります。」「被服実習で学んだことを日常生の中でも生かしていきたい。」など、安全に留意しながら、丁寧に実生活に生かせる作品作りをし、将来に役立つように学習したいという前向きな記述が見られた。これらの状況を踏まえつつ授業を実施した。

授業時間は、後述の指導と評価の単元計画で、講義5時間、実習を3時間と設定した。

3 授業の流れ及び実習中の生徒の様子 指導と評価の年間計画・学習プリントは後述

- 〔1〕人と衣服のかかわり 1時間
- 〔2〕衣服の素材の種類と特徴 1時間
- 〔3〕衣服の選択から管理まで 2時間
- 〔4〕持続可能な衣生活をつくる 1時間
- 〔5〕衣服の構造・デザイン、衣服管理に必要な技能（ポケットティッシュケースの製作） 3時間

実際の授業では、プレゼンテーションソフトを用いて講義を実施した結果、〔3〕衣服の選択から管理までは2時間かからずに実施できたため実習の時間を多く確保することとし、合計4時間で実施することができた。主な実習の授業写真を次に示す。



実習の授業では、書画カメラで教員の手元の動きを見せて全体に説明し、分からない生徒には個別に対応し、作業が進むように支援した。特に、まつり縫い、ボタン付けにつまづきを感じる生徒が多く、この部分での質問が多かった。三つの手縫い、ボタン付けの各製作段階で「できた」と声を上げる生徒が多くいた。また、合印に合わせて折りたたみ、完成形が見えてくると仕上げに向けて丁寧に縫う様子が見られた。縫い目の大きさについて指摘したところ、ほどいて縫い直し、丁寧に仕上げる生徒もいた。

4 事後アンケートの結果及び感想の記述

8時間の授業を実施し、その後、事後アンケートで学習内容（講義及び実習）の達成度、実技の達成度について調査を行った。その結果、生徒の自己評価では、講義内容については75%以上の生徒が「十分理解した・かなり理解した」を選択した。

表2 学習内容の達成度

講義項目	達成度 (%)	達成できなかった ← → 十分理解した				
		1	2	3	4	5
〔1〕人と衣服のかかわり		1.3%	0.0%	7.9%	38.2%	52.6%
〔2〕衣服の素材の種類と特徴		1.3%	1.3%	9.2%	39.5%	48.7%
〔3〕衣服の選択から管理まで		1.3%	1.3%	7.9%	40.8%	48.7%
〔4〕持続可能な衣生活を つくる		1.3%	1.3%	9.2%	38.2%	50.0%
〔5〕衣服の構造・デザイン		0.0%	1.3%	10.5%	26.3%	57.9%

また、ポケットティッシュケース製作時の作業や縫い方などの取組について、達成度は下表のとおりである。下記の技法の中で、まつり縫いは他の技法よりも難しく感じる生徒が多かった。7～8割の生徒が、技法について達成することができたと感じており、手縫いによる製作そのものにも楽しく取り組むことができたことが分かる。

表3 ポケットティッシュケース製作・実技内容の達成度

実技項目	達成度	達成できなかった ← → 十分達成できた				
		1	2	3	4	5
三つ折り (1.5cmの幅に折る)		0.0%	2.6%	9.2%	18.4%	65.8%
並縫い (0.4cmの幅で縫う)		0.0%	2.6%	13.2%	34.2%	46.1%
まつり縫い (表目が0.1cm、0.7cmの幅で縫う)		0.0%	5.3%	22.4%	32.9%	35.5%
半返し縫い (表目が0.2cm、0.6cmの幅で縫う)		0.0%	1.3%	15.8%	32.9%	46.1%
ボタン付け (ボタンを丁寧に縫い留める)		1.3%	2.6%	7.9%	14.5%	69.7%
達成感 (楽しく取り組むことができた)		0.0%	1.3%	6.6%	15.8%	72.4%

感想の記述の状況から、「縫い目が目立たないものはまつり縫いだったと気付いた。」「ポケットティッシュケースだけでこれだけ時間がかかることに改めて気づき、普段の衣服などがどれほど安く売られているかを痛感した。」「上履き入れや本入れなどを大変なのに丁寧に手縫いとミシンで作ってくれた親に感謝したい。」など、実習と知識との関連及び普段の衣服について意識した感想や、親への感謝等がみられた。そして作品を完成させることが大きな充実感を得る機会となった。

5 まとめ (成果と課題)

家庭基礎の限られた時間の中で、衣生活に関する知識と確実な技能の習得を図る教材開発を行った。8時間で講義と作品製作まで網羅する内容となった。2時間目「〔2〕衣服の素材の種類と特徴」において実習に使用する布を用いて糸の成り立ち・布の構成を確認し、その過程で三つ折り処理をするなど、講義と作業の両立を図ることができた。自己評価や感想の記述から、作品製作を通して生徒たちの達成感につながり、生徒が今後の生活において、環境に配慮した衣服との関わり方を意識付けする機会となった。今回は市販のキットを用いて実践したが、今後の課題として、生徒の自宅にある使わない衣服や端切れなどを用いてポケットティッシュケースを製作し、エシカルな消費行動につなげられるように改善したい。

○単元指導計画と評価規準（3観点）

科目名 家庭基礎

単元名 B 衣食住の生活の自立と設計

内容のまとめり (2)衣生活と健康

1 単元の目標

- (1) ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解を深めるとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。被服材料、被服構成及び被服衛生について理解を図り、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。
- (2) 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活充実向上を目指し実践しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。

3 指導と評価の計画

- [1] 人と衣服のかかわり 1時間
- [2] 衣服の素材の種類と特徴 1時間
- [3] 衣服の選択から管理まで 2時間
- [4] 持続可能な衣生活をつくる 1時間
- [5] 衣服の構造・デザイン、衣服管理に必要な技術（ポケットティッシュケースの製作） 3時間

時間	【ねらい】・学習活動	重点	課題	備考 ・は評価規準、【 】は評価方法
【単元全体を貫く課題】 健康で快適な衣生活を目指し、被服の機能と着装及び安全、環境に配慮した被服の計画・管理など衣生活に関わる基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、生涯を通して健康で快適な衣生活を営むことができるようにする。				
1	【ねらい】 人と衣服のかかわり ・人と衣服の関わりについて知ろうとしている。 ・快適な衣生活のための衣服の機能・快適性・安全性を理解する。	主① 知① 主②	○	【主体的な学び】①【調べ学習①】 ・衣服の成り立ちから民族衣装について調べようとしている。 ワークシート・【調べ学習①】 【知識・技能】① ・快適な衣生活のための衣服の機能・快適性・安全性について理解している。ワークシート・行動観察・定期考査 【主体的な学び】②【調べ学習②】 ・ユニバーサル・デザインの衣服について調べている。 ワークシート・【調べ学習②】・定期考査 全体：ワークシート毎時間のまとめ

時間	【ねらい】・学習活動	重点	識	備考 ・は評価規準、【 】は評価方法
2	<p>【ねらい】</p> <p>衣服の素材の種類と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材となる繊維の特徴と活用例について理解する。 衣服素材の加工と着心地のよい衣服への改善例を確認する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 繊維の種類・名称・特徴について理解する。 繊維素材の改善加工を理解し、具体的な改善例をまとめる。 糸の成り立ちについて動画を視聴し布の種類について確認する。 ⇒実習に使う布と糸を確認する。 布の種類ごとに活用例を知る。 普段着用している制服の布の種類を調べる。 	知② 思① 主③	○	<p>【知識・技能】②</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服素材の種類・繊維の種類と特徴・性能について理解している。 ワークシート・行動観察・定期考査 <p>【思考・判断・表現】② 【調べ学習④】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服素材の改善加工が分かり、身近な衣服の改善例を記述することができる。 ワークシート 【調べ学習④】・行動観察・定期考査 <p>【主体的な学び】③ 【調べ学習③・⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制服に使われている布の種類・制服のブレザーの表示について積極的に調べようとしている。 ワークシート 【調べ学習③・⑤】・行動観察・定期考査 <p>全体：ワークシート毎時間のまとめ</p>
3 ・ 4	<p>【ねらい】</p> <p>衣服の選択から管理まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の表示の種類や必要性について理解し、購入・管理に生かそうとしている。 衣服の管理に関わる洗剤等の成分について理解し、適切に使用できる方法を探っている。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の入手から処分までの流れ・衣服を選択・購入する時のポイントを理解する。 制服にコーヒールをこぼしたときの対処法を考える。 制服（ブレザー）のタグから情報を読み取る。 表示の意味・理由を考え、根拠となる法律を知る。 洗濯の種類と界面活性剤の種類、その働きを理解する。 	思② 知③	○	<p>【思考・判断・表現】②</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の管理に必要な表示とその種類について理解し、記述している。 ワークシート・行動観察・定期考査 <p>【知識・技能】③</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服管理に必要な洗剤等の成分の種類とその働きを理解している。 ワークシート・行動観察・定期考査 <p>全体：ワークシート・【調べ学習④】・毎時間のまとめ</p>
5	<p>【ねらい】</p> <p>持続可能な衣生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの衣生活と環境の関連を知り、環境に配慮するためにできることを考えている。 消費者である私たちの衣生活が、資源・エネルギー・生産者・世界とつながっていることを理解しようとしている。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 衣服購入時の条件を振り返る。 着なくなった衣服の扱いを個人・クラス全体で確認する。 衣服のライフスタイルについて流れを確認するとともに、SDGsとの関連を知る。 手入れ時の水・洗剤の作用、マイクロプラスチックの環境への影響を知る。 エシカルコンシューマーについて確認し、消費者としてどのような行動ができるか自分の考えをまとめる。 	知④ 思④	○	<p>【知識・技能】④</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの衣生活が環境を通して世界とつながっていることを理解している。 ワークシート・定期考査・行動観察 <p>【思考・判断・表現】④</p> <ul style="list-style-type: none"> エシカルコンシューマーとして環境への配慮でできることを考え、記述している。 ワークシート記述・定期考査・行動観察 <p>全体：ワークシート毎時間のまとめ</p>
6～ 8	<p>【ねらい】</p> <p>衣服の構造・デザイン、衣服管理に必要な技術（ポケットティッシュケースの製作）</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の構成要素について確認しよう。 衣服の修繕やリフォームに必要な手縫いの技術を身に付け、ポケットティッシュケースの製作をしよう。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 立体構成・平面構成について確認する。 衣服のデザインの要素である形・素材・柄について知る。 基礎縫い（並縫い・まつり縫い・半返し縫い・ボタン付け）について動画を視聴し、試し布で確認する。 ポケットティッシュケースを製作する。 	知⑤ 思⑤ 主④	○	<p>【知識・技能】⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の構成要素について理解することができる。 ワークシート・行動観察・定期考査 <p>【思考・判断・表現】⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> 手縫いの技法（並縫い・まつり縫い・半返し縫い・ボタン付け）を用いて適切な縫製ができる。作品製作・行動観察・定期考査 <p>【主体的な学び】④</p> <ul style="list-style-type: none"> 手縫いの技法を用いて積極的にポケットティッシュケースを製作しようとしている。 作品製作・行動観察・ワークシート作業確認表・ <p>全体：ワークシート毎時間のまとめ・定期考査</p>

「家庭基礎」学習課題

衣生活をつくる

～環境に配慮した衣生活を～



6 安全な水とトイレ を世界中に 	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 	10 人や国の不平等 をなくそう 	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に 具体的な対策を 	14 海の豊かさを 守ろう 	15 陸の豊かさも 守ろう 
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

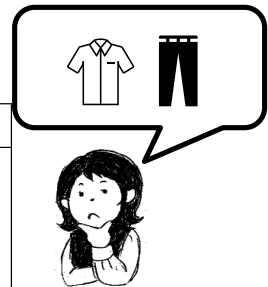
年 組 番 氏名 _____

第7章 衣生活をつくる 人と衣服のかかわり ①人と衣服②衣服の機能③快適な衣服 ④衣服の安全性	学習目標 ・人と衣服の関わりについて知ろう。 ・快適な衣生活の為の衣服の機能・快適性・安全性を理解しよう。
---------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

○人と衣服 教科書p146～

Q次の機会で、あなたはどんな服を着ていますか？


夏の着こなし	冬の着こなし	冠婚葬祭の場面	お出かけのとき



衣服の起源をたどると……

説の名前	理由	民族服
身体保護 説	(自然環境) に適して、(生命) を維持するため	世界各地の(気候・風土・特産物)・(生活様式、文化) から生まれた衣服。
特殊性 説	(支配者層) が、その(地位) を守るため	
集団 説	(集団) の団結、(敵) との区別ため	【調べ学習①】世界の民族衣装と気候を調べよう 民族服⇒ _____ 気 候⇒ _____ 気 温⇒ 最高 _____℃ 最低 _____℃ 特 徴⇒ _____
草食 説	(美しく) ありたいという願いから衣服をまとう	
紐衣 説	(狩猟) の為ひもを肩や首にかける。獲物や武器など	
呪術 説	(悪霊) からのがれるため	

○衣服の機能 教科書p147～

① 健康や活動を支える「保健衛生的機能」	② 生活活動を補佐する「生活活動上の機能」
A 快適な(体温(温度・湿度))の保持 『衣服気候』:衣服と皮膚の間にできる(外界と異なる空気層)のこと ○快適な衣生活のためにできる工夫 <夏>→(開口部)の大きい・露出の多い服  <冬>→開口部を小さく・(重ね着) B 皮膚を(清潔)に保つ →(新陳代謝)による汗、皮脂の吸収 C 身体活動への適応 D 身体(防護) ・(乾燥、紫外線)等の気象現象(UVカット繊維) ・物理的・化学的障害 →(レスキュー隊員の服・白衣) ・害虫など	・活動内容や活動する場所に合わせた機能をもつ衣服を選ぶこと → スポーツウェア、日常着、リラックスウェア
	③ 社会生活を円滑に維持する「社会的機能」
	A (社会秩序)の維持 ・身分・所属集団への(帰属意識)を高めさせる ⇒ ユニフォームや制服など ・(冠婚葬祭)などマナーとして → TPO・TPOP T→(time : 時) P→(place : 場所) O→(occasion : 場合) & P→(person : 誰と) B (個性を表現する)の手段。 ・ファッション性・審美性を示す (配色・柄・素材感)・自分らしさの表現

○快適な衣服

衣服の快適性を示す要因		
衣服気候 温度(32℃±1℃) 湿度(50±10%RH) 気流0.25±0.15m/sec	衣服圧 (運動性)向上 (体型)の補正	風合い 肌ざわりの感覚 布表面の粗さ・伸び 機能性繊維素材

○ライフステージに合った衣服

幼児期⇒(ひも・フード)は危険
高齢期⇒(着衣着火)の危険性

ユニバーサル・デザイン

全ての生活者の生活の質(QOL)向上
体型・身体能力・動作に配慮
伸縮性・着脱の容易さ+個性

【調べ学習②】ユニバーサル・デザインの衣服についてどのようなものがあるか調べよう。

[]

第7章 衣生活をつくる 2 衣服の素材の種類と特徴
 ①衣服素材の種類②衣服素材の性能③衣服素材の改善

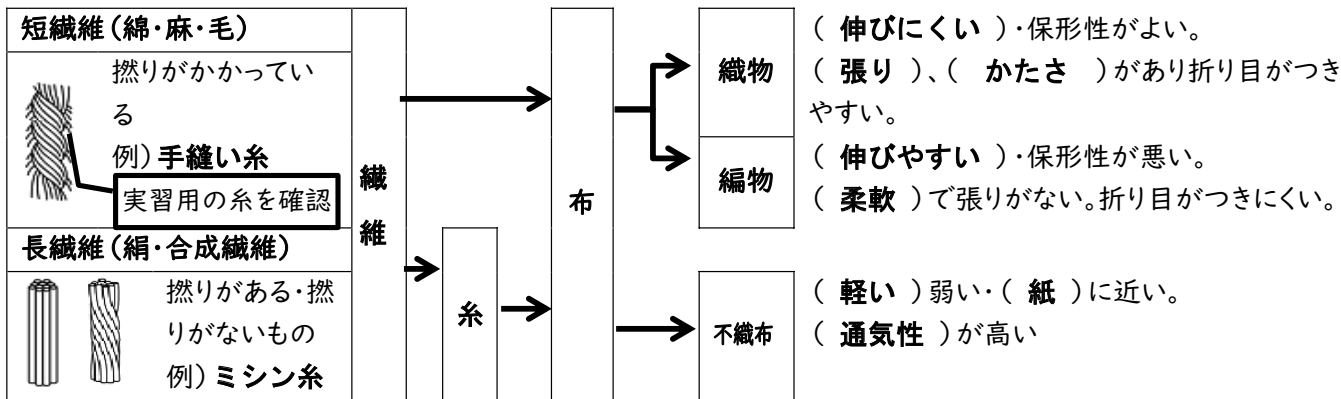
学習目標

・衣服の素材となる繊維の特徴と活用例について理解しよう。
 ・衣服素材の加工と着心地のよい衣服への改善例を確認しよう。

○繊維の種類

分類	主成分	繊維の名称	特徴(○:長所 ●:短所)	共通の特徴(○:長所 ●:短所)	
天然繊維	セルロース	綿	○(肌ざわり)がよい。	○(吸湿性)がよい○(熱)に強い(アイロンに耐える)○(アルカリ)に強い○ぬれると強くなる ●しわになりやすい●乾きにくい	
		麻	○触ると(冷感)がある(熱伝導率)が高い		
動物繊維	たんぱく質	毛	○(保温性)が高い○吸湿性がよい ○撥水性がある ●フェルト化する	○しわになりにくい○吸湿性がよい ●日光で劣化(もろくなる)黄変する ●(アルカリ)に弱い ●(虫害)を受けやすい	
		絹	○(光沢)・肌ざわりがよい○軽い		
化学繊維	再生繊維	綿・木材等	レーヨン	○(光沢)がある ●ぬれると弱くなる	
	半合成繊維	セルロース	アセテート		
	合成繊維	主に石油	ポリエステル	○張り・かたさがある。比較的熱に強い。 ○生産量が最も多い●(再汚染)しやすい。	○強く丈夫○ぬれても強さが変化しない○しわになりにくい○乾きやすい○(アルカリ)に強い○虫害をうけにくい ●(疎水性)のため吸湿性が悪い ●(静電気)が起きやすい ●熱で溶けやすい ●(生分解性)が低い
			ナイロン	○伸びやすく柔軟 ●張りが弱い●日光で(黄変)する	
アクリル			○(毛)に似た風合い、(保温性)が高い○色が染まりやすい		
ポリウレタン			○(伸縮性)に優れ、よく伸びる。 ●(塩素系漂白剤)に弱い。		

○糸と布の種類



○布の種類

織物 (かっちりとした服装向き)			編物(ニット) (運動時の服装向き)		不織布
平織	斜文織(綾織)	朱子織	よこ編(よこメリヤス)	たて編(たてメリヤス)	
ブラウス・シャツ・シー 実習用の布を確認	ジーンズ・制服 チノパン・コート	ドレス・スカーフ ネクタイ	Tシャツ・ポロシャツ・ カットソー・フリース	スポーツウェア 水着・インナーウェア	マスク・おしぼり・ティ ーバッグ・カバン

【調べ学習③】上記の表を参考に、制服に使われている布の種類を確認してみよう。

制服のブレザー(斜文織)・シャツ(平織)・ベスト(よこ編)・スラックス・スカート(平織)

○衣服の性能・改善 影響の大きさ⇒大:◎・中:○・小:△

性能			具体例	構造の影響			さらなる加工
				繊維	糸	布	
快適性	保温	性 (空気)を含有、温かさを保つ能力	ダウンコート・首・手首・足首が閉じた構造	○	○	◎	吸湿発熱加工 遠赤外線放射
	吸水	性 (液体)の水を吸収する能力	繊維のすきま・毛細管現象で吸水	△	○	◎	吸水速乾化加工
	吸湿	性 (気体)の水分を吸収する能力	繊維の化学構造が親水性(綿・麻・レーヨン)・羊毛	◎			
	透湿	性 (水蒸気)が透過する能力	繊維間・糸間のすきま(布の気孔)の大きさが影響		△	◎	透湿防水加工
	通気	性 (空気)が通過する能力	目の粗さ、直通気孔の多さ。		○	◎	
	伸縮	性 布が伸び縮みする能力	糸の芯にポリウレタン。伸縮性◎	◎	◎	◎	
外観	ピリング	性 (毛玉)のできやすさ・できにくさ	紡績糸・セーター・フリースのできやすい。	○	◎	◎	抗ピル加工
	防しわ	性 (しわ)のできやすさ・できにくさ	綿・麻などの織物⇒しわになる 羊毛・合成繊維・編物⇒なりにく	◎		◎	W&W加工 形態安定加工
安全性	燃焼	性 燃えやすさ・燃えにくさ	セルロース繊維⇒よく燃える 羊毛・ポリ塩化ビニル⇒燃えにくい	◎		△	防災・難燃加工
	帯電	性 (静電気)の起こりやすさ・起こりにくさ	合成繊維(水分率低)は帯電 繊維の組み合わせで異なる	◎			帯電防止加工
	紫外線遮蔽	性 (紫外線)の通しやすさ・通しにくさ	目の詰まった布・黒色の布◎ 繊維ではポリエステル	○	○	◎	紫外線遮蔽加工

【調べ学習④】身近な衣服とその衣服の改善加工をまとめよう。

衣服⇒() 改善加工の例⇒()

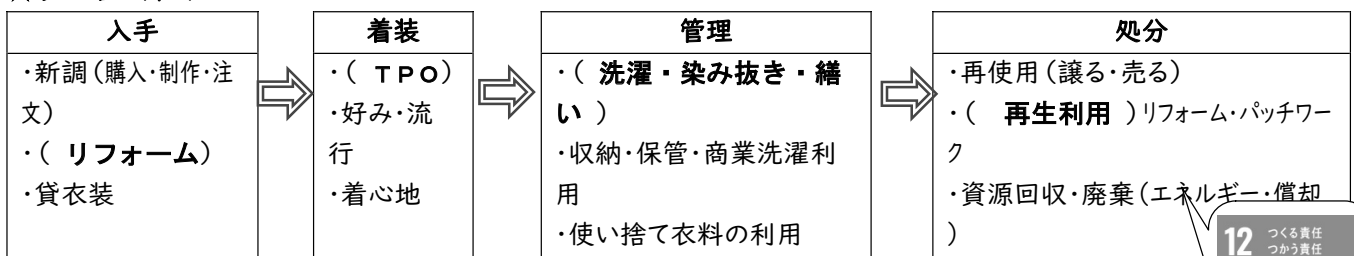
第7章 衣生活をつくる 3 衣服の選択から管理まで
①衣生活の計画と衣服の購入②衣服の手入れ

学習目標

・衣服の表示の種類や必要性について理解し、購入・管理にいかそう。
・衣服の管理に関わる薬剤について理解し、適切に使用できるようになろう。

○衣服の選択から管理まで 教科書p156～

☆衣生活の計画



12 つくる責任
つかう責任



☆衣服の選択・購入

デザイン・着装	管理・購入	仕立て方	材質・性能
<ul style="list-style-type: none"> ・(サイズ)・(着脱) の難易・色柄・デザイン・(手持ちの服)との組み合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(価格)・耐用年数 ・(手入れ)の方法 ・購入先と支払い方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・えり・そで・(ボタン)・ファスナーのつけ方・縫い代の幅や(しまつ)・布目・(縫い目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(保温性)・(通気性) ・(吸湿性)・(吸水性) ・肌ざわり・(素材)

☆表示を確認する

Q制服(スーツ)にコーヒーをこぼしてしまいました。こんなとき、あなたならどうする?



【調べ学習⑤】

制服のブレザーの表示はどうなっているだろうか。タグを見て使われている素材やマークなどの情報を右の欄に記入しよう。

○表示は何のため？

表示がある理由を考えよう。

- ・素材が分かると洗濯に困らない。
- ・製造元が書いてあると何かあった時に確認できる。
- ・サイズが分かる。
- ・デメリットが分かる。

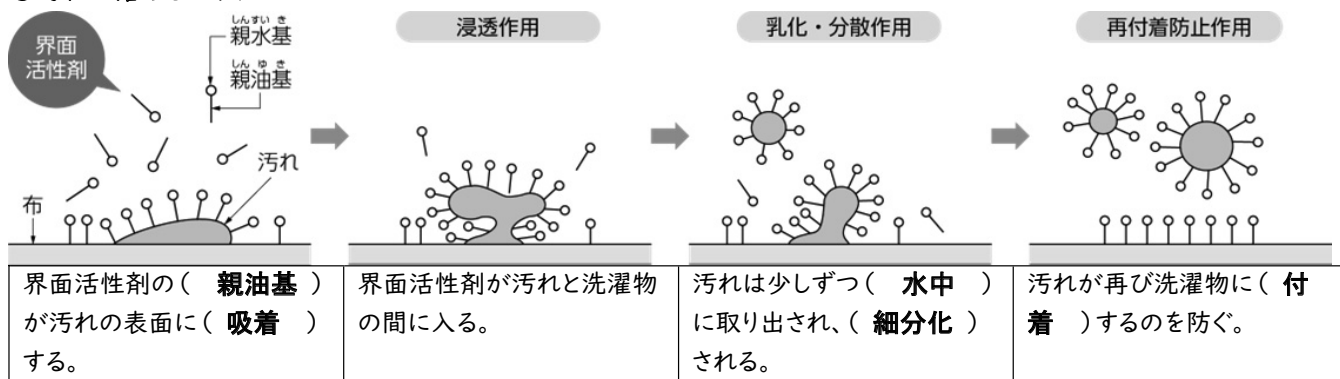
表示	表示の例	根拠となる法律
組成表示	混用率・分離・指定用語がない場合	家庭用品品質表示法
性能表示	撥水加工・防炎加工等の性能	
取り扱い表示	洗濯のための取り扱い情報	
表示者の表示	製造業者名・住所等	不当景品類及び不当表示防止法
原産国表示	製造された国を表記	
サイズ表示	成人男子・成人女子など	JIS（日本工業規格）
その他の表示	デメリット表示など	任意

○衣服の手入れ

☆洗濯の方法と特徴をまとめてみよう。

特徴	（湿式）洗濯	（乾式）洗濯	洗剤の種類	成分	
				界面活性剤	配合剤
	（水）を使う。 （水溶性）の汚れがよく落ちる	（有機溶剤）を使用。 （油性）の汚れがよく落ちる。 型崩れ・寸法変化・色落ちにくい	石けん	脂肪酸塩 陰イオン系 純石けん分100%	アルカリ剤 （炭酸塩・けい酸塩）
注意点	（羊毛製品）は収縮・型崩れ・色落ちが起きる場合がある	水溶性の汚れは落ちにくい （再汚染）しやすい	合成洗剤	陰イオン系 非イオン系	アルカリ剤・水軟化剤・酵素など

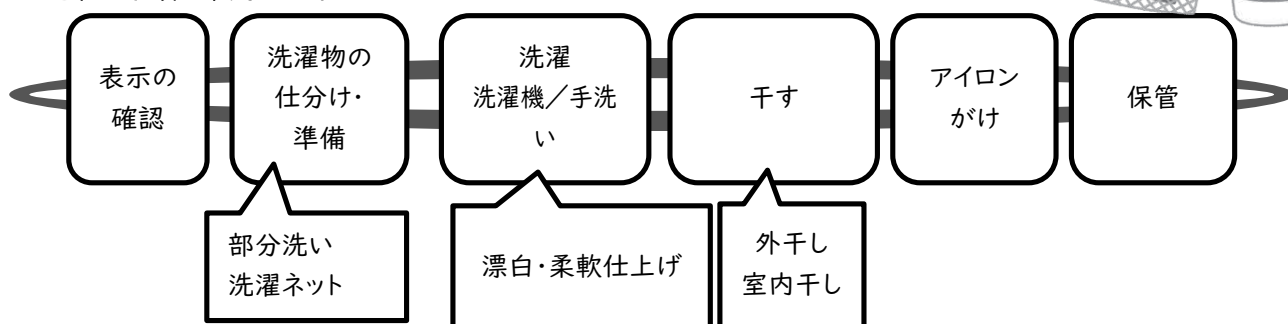
○汚れの落ちるしくみ



【洗濯時のポイント】

- ・洗い物の条件をそろえる（（色）の薄いもの・濃いもの、（汚れ）が少ないもの・ひどいもの）
- ・おしゃれ着などは（洗濯ネット）へ入れる。ファスナーを閉じる・衣服を（裏返す）など。
- ・えりやそで口、しみなどは塗布用洗剤を付ける。靴下は先に（部分洗い）をしておく。

○洗濯の手順を確認しよう。



第7章 衣生活をつくる	4 持続可能な衣生活をつくる	学習目標
①衣生活と資源・エネルギー		・私たちの衣生活と環境との関わりと具体的な事例について理解しよう。
②国際化する衣生活		・エシカルコンシューマーとして環境に配慮するためにできることを考えよう。

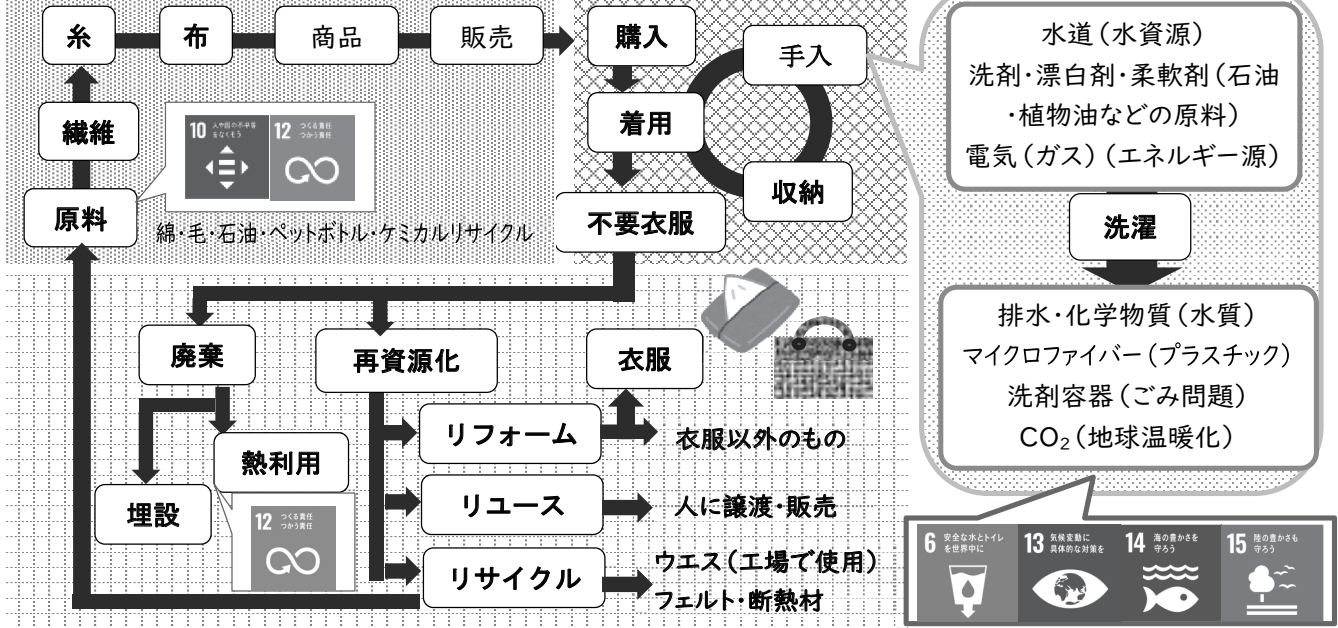
Q服を購入する時のゆずれない条件を3つ答えよう。

- ① _____ ② _____ ③ _____

Q着なくなった服はどうしていますか？

自分の場合	クラスみんなの場合

○環境に配慮した衣生活・衣生活の再資源化・国際化する衣生活



○エシカルコンシューマーを目指して

参考:消費者庁: https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/about/

・(エシカル) (ethical) ⇒ 「倫理的な」という意味。人や社会、地球環境、地域に配慮した(考え方や行動)を指す。幅広い(消費)の形があり、(社会貢献)の形。例)「フェアトレード」「オーガニック」「地産地消」「障がい者支援につながる商品」「伝統工芸」「動物福祉」「寄付付き商品」「リサイクル・アップサイクル」

あなたは消費者として、どんな行動ができるだろうか？

第7章 衣生活をつくる	5 衣服の構造・デザイン	学習目標
①立体構成・平面構成②衣服のデザインの要素		・衣服の構成要素について確認しよう。
・衣服管理に必要な技術○ポケットティッシュケース製作		・衣服の修繕やリフォームに必要な手縫いの技術を身に付け、ポケットティッシュケースの製作をしよう。

○立体構成・平面構成 ○衣服のデザインの要素

立体構成(洋服)	平面構成(和服)	形=(シルエット)	素材	色・柄⇒デザイン要素
人体に合わせて裁断 活動的 種類が豊富	反物を活かして直線的に裁断・縫製 着方で工夫	切り替え線・デザイン線 ⇒デザイン性の向上 ・体型カバー	デザインを引き立たせるための素材の選択	第一印象を決定づける 着用する目的に合わせて選択
洋服・制服・	浴衣・着物・ポンチョ・サリー	プリンセスライン・タック・ギャザー	例) ボア素材	模様・色合い

○ポケットティッシュケースで手縫いをマスター!<平面構成をいかして>

基本の縫い方の並縫い、半返し縫い、まつりぬい、ボタンの付け方を身に付けよう。三つ折り、しるし付け、わ、などの基本の用語の確認をしよう。



1 材料と用具

用布⇒ 綿など 薄めの生地(シーチングやブロード) 長さ37cm×幅15cm

糸 ⇒ 手縫い糸(目立つ色)、ボタン付け用は30番。手縫いは1本どりで

道具類 裁縫道具一式(縫い針、待ち針、針山、チャコペン、布用裁ちばさみ、糸切りばさみ)、コロコロオープナー

2 裁縫の基本

【針に糸を通す】



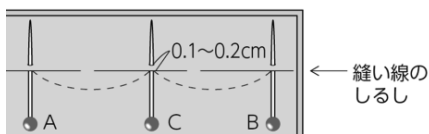
糸の端を斜めにカットして針に通す。

【玉結び】



糸の端をつまみ、人差し指にひと巻して、親指と人差し指でねじり結び目を作る。

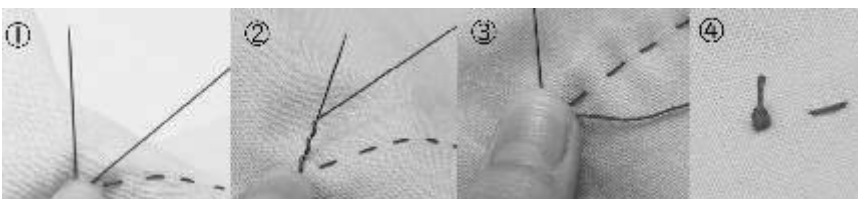
【待ち針の打ち方】



深くすくいすぎないように注意する

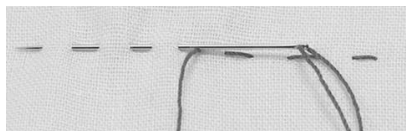
← 縫い線のしるし

【玉どめ】



縫い終わりの位置に縫い針を置き、親指で押さえる。縫い針糸を巻き付け、根元をしっかりと押さえて縫い針を引き抜く。結び目の近くで糸を切る。

【並縫い】



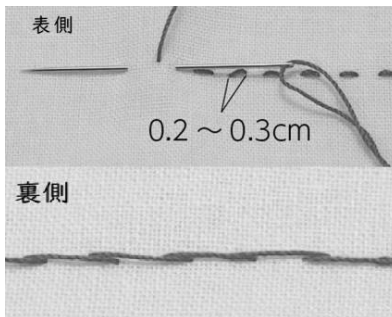
0.4cmの等間隔に縫い針を通し縫う。

【まつり縫い】



三つ折りの0.2cm下から針を出し、表は0.1cmすくい、裏に出す。

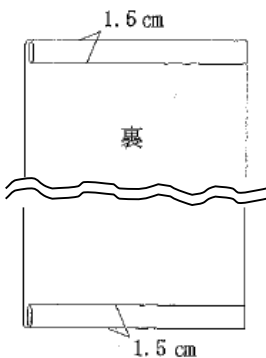
【半返し縫い】



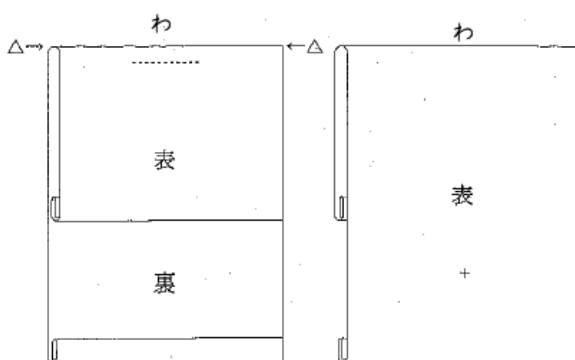
0.2cm縫い、0.6cm先に針を出し、0.2cm戻るように縫う。

3 裁断・しるし付け

①短い布端1.5cmの三つ折りにする。



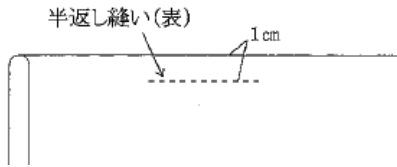
②ポケット口(△の印の位置)で外表に折る。



4 縫い方

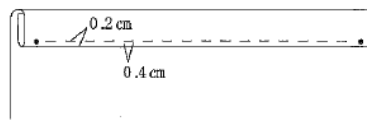
①半返し縫い

ポケット口を折った状態で2枚一緒に半返し縫いをする。半返し縫いの印がある方を表にする。ポケット口の折り山から1cmの位置に4cm以上縫う。(必ず2枚重なった状態で縫う)針目は裏目0.6cm程度、表返し目0.2cm程度とする。玉どめは裏側にする。



②並縫い

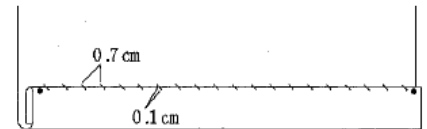
三つ折りした箇所に待ち針をうち、端から端まで並縫いをする(14cm以上)折り山から0.2cm内側に、0.4cm程度の針目で縫う。平らになるまで糸こきをする。縫い始めと縫い終わりは玉どめをする。玉どめは外に出てもいいが、表には出さない。



※半返し縫い側の短い方が並縫い側になる

③まつり縫い

三つ折りした箇所に待ち針をうち、端から端までまつり縫いをする。(14cm以上)針目は0.7cm程度、表目は0.1cm程度とする。折り山の0.1cm程度内側をまつり縫い。縫い始めは三つ折りの内側に玉どめを隠し、縫い終わりは玉どめにする。表には出ないようにする。左利きの人は縫い目の向きが反対になる。

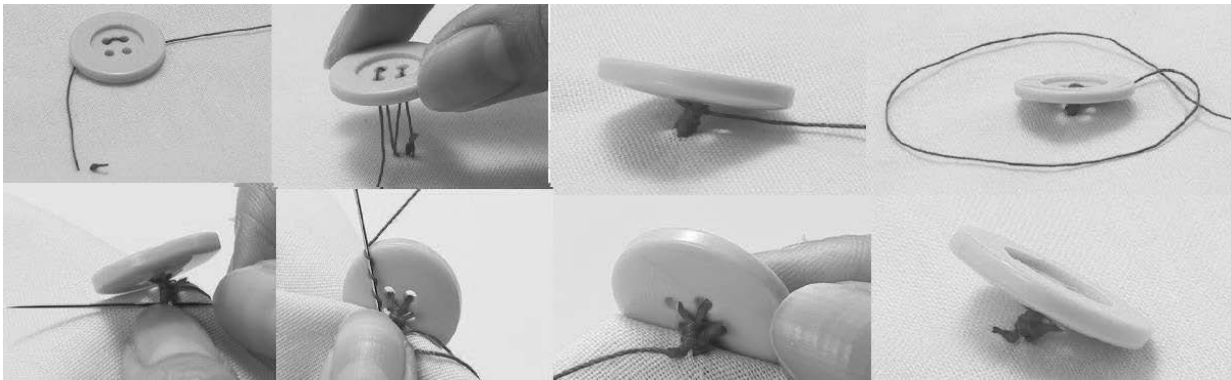


※半返し縫いの裏側がある長い方になる。

④ボタン付け

ボタン付け位置(表側・しるしを付けたところ)にボタンを縫い留める。糸は30番の1本どりで行う。糸をボタンに3回かけ、糸足を3回程度巻き、布の裏側に針を出して玉どめをする。

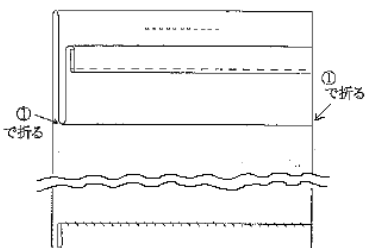
【ボタンの付け方】



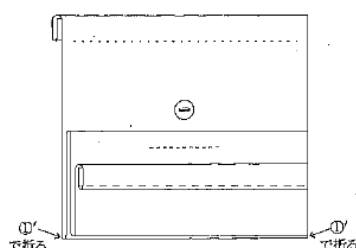
仕上げ ポケットティッシュケースに仕上げる

(1) ケースの形に折りたたむ

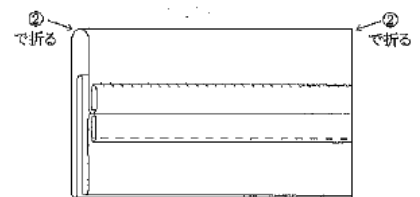
①2つ山じるしで折る。



②①と①'で折って合わせる。

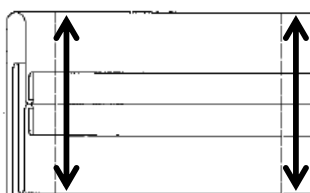


③山じるしを折り、ティッシュケースロを合わせて、待ち針で止める。



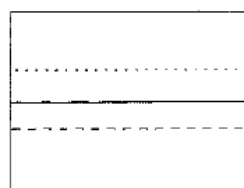
(2) 脇縫い

わきのしるしを半返し縫いまたはミシンで縫う。ミシンの場合は縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

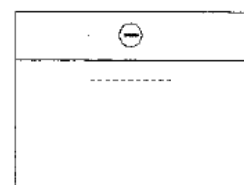


(3) 仕上げ・完成

わきの縫い代を裏側に押す。角を抑えながらポケット口から表に返す。



表に返したら、角の布を待ち針で引き出し、形を整える。ボタンに気を付けてアイロンをかける。



○ ポケットティッシュケース製作・作業確認表

日付	作業項目	作業の具体的な内容	進 度 (○をつける)	態 度 (1~5)	忘れ物 あれば×
	三つ折り 折り	上下の三つ折り(1.5cm幅に三つ折りにする) ポケット口で外表に折る。	A できた Bあと少し C ほど遠い		
	半返し縫い	2枚重ねて縫っている。 ポケット口の折り山から1cmの位置に4cm以上縫う。 針目は裏目0.6cm程度、表返し目0.2cm程度とする。	A できた B あと少し C ほど遠い		
	並縫い	折り山から0.2cmの位置に0.4cm幅で縫えている。糸 こきがしてある。玉どめが表に出ていない。	A できた B あと少し C ほど遠い		
	まつり縫い	針目の間隔は0.7cm程度、表目は0.1cm程度。折り 山の0.1cm程度内側にまつり縫いができている。玉ど めが表に出ていない。	A できた B あと少し C ほど遠い		
	ボタン付け	ボタン付け位置に縫い留める。 糸は30番の1本どりで行う。 しっかり縫い付けられている。糸足が丁寧に巻かれて いる。縫いとめがきれいである。	A できた B あと少し C ほど遠い		
	ティッシュ ケースの形 に整える	ポケットティッシュケースの形に指示どおりに折れている。	A できた B あと少し C ほど遠い		
	わき縫い	半返し縫い(またはミシン縫い)で仕上げた。	A できた B あと少し C ほど遠い		
	仕上げ	表側に返し、形を整える。 待ち針等を用いて角を整えている。	A できた B あと少し C ほど遠い		
感想					
年 組 氏名					

「家庭基礎」学習課題 衣生活をつくる <授業まとめシート>

○毎時間の学習内容を振り返り、当てはまる評価項目に○を付け、自己評価をしよう。また授業で得られたこと、学んだことを箇条書きでまとめよう。

1時間目	年 月 日 ()	評価の合計点	
学習目標	・人と衣服の関わりについて知ろう。 ・快適な衣生活の為の衣服の機能・快適性・安全性を理解しよう。	点	
評価の観点	レベル3 (3点)	レベル2 (2点)	レベル1 (1点)
【主体的な学び】①【調べ学習①】 ・衣服の成り立ちから民族衣装について調べようとしている。	() ・民族衣装の地域・気候・温度・特徴について詳細に調べた。	() ・民族衣装の地域・気候・温度・特徴について調べている。	() ・民族衣装の地域・気候・温度・特徴について記入していない。
【知識・技能】① ・快適な衣生活のための衣服の機能・快適性・安全性について理解している。	() ・衣服のもつ機能・快適性・安全性の知識を身に付け、快適な衣生活を十分理解している。	() ・衣服の機能・快適性・安全性を理解し、快適な衣生活についておおよそ理解している。	() ・衣服のもつ機能や安全性について理解している。
【主体的な学び】②【調べ学習②】 ・ユニバーサル・デザインの衣服について調べている。	() ・ユニバーサル・デザインの衣服について、詳細が記入されている。	() ・ユニバーサル・デザインの衣服の名称が記入してある。	() ・空欄のままである。
本時で学んだ内容・感想			

2時間目	年 月 日 ()	評価の合計点	
学習目標	・衣服の素材となる繊維の特徴と活用例について理解しよう。 ・衣服素材の加工と着心地のよい衣服への改善例を確認しよう。	点	
評価の観点	レベル3 (3点)	レベル2 (2点)	レベル1 (1点)
【知識・技能】② ・衣服素材の種類・繊維の種類と特徴・性能について理解している。	() ・衣服素材の種類や繊維の種類を自分の言葉で説明できる程度に理解した。	() ・衣服素材の種類繊維の種類と特徴を理解しようとした。	() ・衣服素材の種類や繊維の種類の基本的な知識については確認した。
【思考・判断・表現】①【調べ学習④】 ・衣服素材の改善加工が分かり、身近な衣服の改善例を記述することができる。	() ・衣服の性能・改善加工を十分に理解し、身近な衣服の改善例が詳細に書かれている。	() ・衣服の改善・加工例を理解して改善例を記入している。	() ・衣服素材の性能を確認した。
【主体的な学び】③【調べ学習③・⑤】 ・制服に使われている布の種類・制服のブレザーの表示について積極的に調べようとしている。	() ・制服に使われている布の種類・制服のブレザーの表示について積極的に詳細に調べようとしている。	() ・制服に使われている布の種類・表示が記入されている。	() ・空欄のままである。
本時で学んだ内容・感想			

3時間目	年 月 日 ()	評価の合計点	
学習目標	・衣服の表示の種類や必要性について理解し、購入・管理に生かそう。 ・衣服の管理に関わる薬剤について理解し、適切に使用できるようになろう。	点	
評価の観点	レベル3 (3点)	レベル2 (2点)	レベル1 (1点)
【思考・判断・表現】② ・衣服の管理に必要な表示とその種類について理解し、記述している。	() ・表示の種類と役割について自分の言葉で説明できる。	() ・表示の種類と役割について記述しようとした。	() ・表示種類と役割を確認した。

【知識・技能】③ ・衣服管理に必要な薬剤の 種類を理解している。	() ・洗濯時に使用する洗剤や補助剤の種 類・働き、使用方法を理解している。	() ・洗剤の種類と働き洗濯の基 本を理解した。	() ・洗剤の種類を確認した。
本時で学んだ内容・感想			

4時間目	年 月 日 ()	評価の合計点	
学習目標	・私たちの衣生活と環境や世界との関わりと具体的な事例を通して理解しよう。 ・エシカルコンシューマーとして環境に配慮するためにできることを考えよう。		点
評価の観点	レベル3 (3点)	レベル2 (2点)	レベル1 (1点)
【知識・技能】④ ・私たちの衣生活が環境を通し て世界とつながっていることを 理解している。	() ・衣生活と環境が関連している こと、世界とのつながりで成り 立っていることを理解している。	() ・身近な衣生活が世界との関わり があること、環境にも影響す ることを理解した。	() ・衣生活と世界がかかわるこ とを確認した。
【思考・判断・表現】④ ・エシカルコンシューマーとして 環境への配慮でできることを 考え、記述している。	() ・エシカル消費について自分 ができることを詳細に記述 できた。	() ・環境に配慮することと自分がで きることを記述した。	() ・環境に配慮した衣生活に ついて確認した。
本時で学んだ内容・感想			

5～8時間目	年 月 日 ()	評価の合計点	
学習目標	・衣服の構成要素について確認しよう。 ・衣服の修繕やリフォームに必要な手縫いの技術を身に付け、ポケットティッシュケース の製作をしよう。		点
評価の観点	レベル3 (3点)	レベル2 (2点)	レベル1 (1点)
【知識・技能】⑤ ・衣服の構成要素について理 解することができる。	() ・平面構成・立体構成の違い・ デザイン・色柄について正確 に理解・記述できる。	() ・洋服と和服の違い、デザイ ンの機能について理解した 。	() ・洋服の機能やデザインの 意図を確認した。
【思考・判断・表現】⑤ ・手縫いの技法(並縫い・まつ り縫い・半返し縫い・ボタン 付け)を用いて適切な縫製 ができる。	() ・並縫い・まつり縫い・半返し 縫い・ボタン付けが指示の通 りのサイズで適切にできた。	() ・並縫い・まつり縫い・半返し 縫い・ボタン付けができた。	() ・並縫い・まつり縫い・半返し 縫い・ボタン付けが十分で ない。
【主体的な学び】④ 製作実習 ・手縫いの技法を用いて積極 的にポケットティッシュケー スが製作しようとしている。	() ・積極的かつ丁寧にポケット ティッシュケースの製作に参 加した。	() ・ポケットティッシュケースを 製作した。	() ・教員の指示を確認しなが ら製作した。
本時で学んだ内容・感想			
○衣服の構成要素について気づいたことを書こう。			

学校名	佐賀県立小城高等学校	所在地等	〒845-0001 佐賀県小城市小城町176 TEL：0952-73-2295 Eメールアドレス（連絡先） haramaki-masako-a@education.saga.jp		
校長名	牛島 徹		実施学科 ・学年	普通科 ・1年	使用教科書 (出版社名)
指導者名	服巻 昌子				

共通教科「家庭」における衣生活に関する指導の充実に向けて、「B衣食住の生活の自立と設計」の(2)「衣生活と健康」と「C持続可能な消費生活・環境」の(3)「持続可能なライフスタイルと環境」の関連を図った。学習指導要領（平成30年告示）で「持続可能な社会の創り手を育成する」という理念が示されており、また、衣生活においては食生活同様に、大量生産・大量廃棄が問題になっていることから、生徒が自立した生活者として衣生活を主体的に営むためには持続可能なライフスタイルの工夫が不可欠であると考え、「C持続可能な消費生活・環境」(3)「持続可能なライフスタイルと環境」の内容とも絡めて計画した。

単元名 持続可能な衣生活を営む	内容のまとめり B衣食住の生活の自立と設計 (2)衣生活と健康 C持続可能な消費生活・環境 (3)持続可能なライフスタイルと環境
--------------------	------------------------------------------------------------------------

1 単元の目標

- (1) 被服の機能と着装、被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、健康で快適な衣生活に必要な知識を身に付ける。
- (2) 被服の機能性や快適性について、持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料や被服衛生について理解するとともに被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能性や快適性について理解し、品質表示をもとに被服の取り扱い方が分かり、どのような布が着心地がよいかなどを考えることができる。 ・持続可能な社会を目指し、安全で安心な生活と消費について課題を設定して解決策を構想し、課題解決に向けて実践することができる。また、自己の実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 指導と評価の計画（6時間）

- ・被服の機能、被服の材料 1時間
- ・洗濯方法と表示 1時間
- ・被服の手入れ 1時間
- ・持続可能な衣生活 2時間
- ・被服の購入計画 1時間

時間	ねらい・学習活動	評価の観点			備考（評価方法・指導上の留意点）
		知	思	態	
1 ・ 2	<p>【ねらい】被服の機能や材料と性能について理解し、洗濯、保管、着用など、衣生活を管理する上で必要な技術を身に付ける。</p>				<p>・被服材料の種類と性能・加工について科学的に理解している。</p> <p>・制服の表示を見て確認させる。</p> <p>・汚れが落ちる仕組みや洗濯方法、保管の仕方を理解している。</p> <p>■評価方法：ワークシート・観察</p>
	<p>・被服材料の種類と性能・加工について科学的に理解する。</p> <p>・被服の表示について理解する。</p> <p>・汚れが落ちる仕組みや洗濯方法、保管の仕方を理解する。</p>	●	●	●	
3 ・ 4 ・ 5	<p>【ねらい】被服の管理に必要な技能の習得を図ることを通じて、被服のライフサイクルや環境負荷などの理解を深め、日常生活における実践への意欲を高める。</p>				<p>・折り方、縫い方を説明し、並縫い、まつり縫い、半返し縫い、ボタン付けをさせる。</p> <p>・服種(アイテム)ごとによく着る服、着る予定のない服の枚数を書かせる。</p> <p>・卒業後の制服の廃棄方法についても考えさせる。</p> <p>●</p> <p>・自分の衣生活と比較して課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・並縫い、まつり縫いをしてポケットティッシュケースを製作させる。</p> <p>■ 評価方法：作品・観察</p>
	<p>・被服の手入れや補修方法を確認し、4級検定用布で並縫い等を実習する。</p> <p>・自分が所持する衣服の枚数チェックをする。</p> <p>・着る予定のない衣服について理由を各自で考えたあと、グループで共有する。</p> <p>・衣生活の問題点等を考慮し、着用しなくなった服の取り扱いについて考え、まとめる。</p> <p>・業者の制服用残布の再利用と実習を踏まえて、ポケットティッシュケースを製作する。</p>		●	●	
6	<p>【ねらい】衣服の製作や着用、廃棄がもたらす環境負荷について理解するとともに、持続可能な衣生活に必要な工夫とは何か考えることができる。</p>				<p>・「環境省 Web サイト」を提示し、衣服廃棄量や平均購入数を知り、自分の衣生活と比較して考えさせる。</p> <p>●</p> <p>・自分の衣生活について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。</p> <p>・持続可能な衣生活の実現に向けての一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>■評価方法：ワークシート・観察</p>
	<p>・衣服の環境負荷データを確認し、現在の衣生活の問題点を理解する。</p> <p>・日本の衣服廃棄量、個人の衣服平均購入数について知る。</p> <p>・衣服を購入するときの条件を挙げ、グループで意見交換する。</p>		●	●	

〈 生徒の作品 〉



4 まとめ（成果と課題）

本単元では、衣生活の自立を目指し、被服の機能や材料、洗濯、表示等について取り上げ、さらに、補修に必要な技能に関する実習を行った。具体的には、被服製作技術検定新4級の検定用布を使用した、並縫い、まつり縫い、半返し縫い、ボタン付けとした。縫う箇所が分かりやすく、サイズも小さめであることから、内容、実習時間ともに適当であった。布の再利用も踏まえて、業者の制服用残布を利用したポケットティッシュケース製作や、環境負荷や衣服の廃棄量などの問題について学んだことにより、生徒は持続可能な衣生活の実践への意識も高まり、主体的に学ぶことができたようである。

単元のはじめに、制服を例にあげ、ほつれがあるときや裾の補正をするときには、どんな縫い方がよいかを考えさせてから実習に取り組みさせたところ、生徒は積極的に縫い進めることができていた。

実習は、全体説明のあと指導者が机間指導を行いながら進めた。クラスによって進度の差があった。生徒同士で教え合う姿も多く見られたが、縫製に必要な技能に違いがあり、製作が時間内に終わることができない生徒がいた。今後の課題として、縫い方の説明時に ICT 機器を取り入れるなど、指導方法を工夫していきたい。

以下は、単元終了後に生徒が書いたものである。実習を取り入れたことで、衣生活への関心が高まったようである。

学習前は、服の着用、洗濯の仕方、ほつれたときの縫い方など興味がなく、正直面倒くさいと思っていた。授業を受けて衣服や環境について考えるようになって、普段の生活で服の洗濯やアイロンをかける際に、少し意識するだけで服にも環境にもやさしいことができるようになり、楽しくなった。制服のほつれも縫うことができるようになって嬉しかった。

この単元を学習して、それぞれの繊維の特徴を生かして織り、縫われた衣服に、感謝の気持ちを持つことができた。環境に配慮した衣生活を、自分にできることから実行していきたい。まずは服を長く大切に着て、手入れをし、その後は、おさがりやリサイクルをしていきたい。

《 技術検定関係資料 》

1	令和4年度 被服製作・食物調理技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	46
2	令和5年度 被服製作・食物調理技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	49
3	令和4年度 保育技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	52
4	令和5年度 保育技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	55
5	「三冠王」都道府県別取得者数の推移	58
6	「三冠王」取得学校名及び取得者数の推移	59
7	「四冠王」取得学校名及び取得者数の推移	61
8	令和6年度全国高等学校家庭科「被服製作・食物調理・保育技術検定」 しおり	62

1 令和4年度 被服製作・食物調理技術検定
都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級	4級	3級	2級	1級	
北海道	申込	132	93	32	34	39	34	485	297	146	99	1,391
	受検	125	87	32	33	39	33	468	288	141	98	1,344
	合格	105	71	27	28	28	21	401	242	95	65	1,083
青森県	申込	321	181	156	129	67	86	842	526	213	172	2,693
	受検	317	178	155	128	63	85	818	520	207	170	2,641
	合格	250	168	112	106	37	54	647	471	176	149	2,170
岩手県	申込	533	232	88	61	19	31	1,259	697	360	231	3,511
	受検	525	228	84	59	19	26	1,231	681	354	227	3,434
	合格	524	219	77	58	15	23	1,199	668	321	217	3,321
宮城県	申込	243	71	22	29	19	18	531	368	136	46	1,483
	受検	227	65	22	29	18	18	515	359	122	43	1,418
	合格	213	48	17	23	14	11	503	331	92	24	1,276
秋田県	申込	330	175	77	51	48	59	800	365	234	100	2,239
	受検	319	172	76	50	48	57	790	354	229	96	2,191
	合格	291	162	67	45	47	55	675	325	218	93	1,978
山形県	申込	72	72	66	30	28	30	400	294	135	67	1,194
	受検	72	70	63	21	28	30	387	281	132	67	1,151
	合格	72	66	63	14	28	29	360	249	128	64	1,073
福島県	申込	168	114	34	49	19	9	675	340	93	63	1,564
	受検	164	114	34	49	18	8	900	334	89	62	1,772
	合格	161	110	33	46	15	8	649	318	85	49	1,474
茨城県	申込	545	377	207	162	112	112	786	465	328	230	3,324
	受検	532	370	206	158	112	112	761	456	321	225	3,253
	合格	494	306	170	137	95	110	673	407	272	206	2,870
栃木県	申込	768	297	155	197	62	115	1,744	782	308	229	4,657
	受検	755	293	153	195	61	112	1,705	771	306	228	4,579
	合格	609	260	147	184	58	110	1,419	753	301	218	4,059
群馬県	申込	291	204	49	74	4	17	1,259	416	56	14	2,384
	受検	289	196	45	72	4	17	1,232	396	54	14	2,319
	合格	260	159	24	41	3	14	926	342	40	13	1,822
埼玉県	申込	646	358	48	99	55	47	1,420	706	189	50	3,618
	受検	630	349	47	89	47	46	1,399	666	184	49	3,506
	合格	555	318	46	81	43	44	1,182	589	171	48	3,077
千葉県	申込	321	238	75	142	50	92	437	332	230	180	2,097
	受検	302	231	73	141	50	91	427	323	226	177	2,041
	合格	269	197	70	128	50	86	400	288	218	172	1,878
東京都	申込	278	161	29	30	22	20	567	223	96	23	1,449
	受検	268	151	26	30	22	20	550	216	94	23	1,400
	合格	219	94	14	17	14	14	390	170	80	20	1,032
神奈川県	申込	135	57	38	18	16	4	156	104	60	36	624
	受検	125	52	38	18	16	4	154	102	59	36	604
	合格	105	47	33	17	9	4	135	95	58	33	536
山梨県	申込	218	95	38	30	19	19	543	275	81	49	1,367
	受検	213	94	37	30	18	18	532	293	80	48	1,363
	合格	203	79	29	20	14	15	449	259	72	37	1,177
新潟県	申込	419	257	12	4	2	0	1,136	662	120	73	2,685
	受検	408	236	12	3	2	0	1,106	639	119	73	2,598
	合格	377	199	12	3	2	0	998	583	118	72	2,364

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級					
富山県	申込	195	156	68	61	25	16	381	267	153	37	1,359
	受検	185	154	67	61	25	16	366	237	148	37	1,296
	合格	173	141	61	56	22	15	308	226	144	32	1,178
石川県	申込	39	28	0	2	0	0	126	76	32	32	335
	受検	39	28	0	2	0	0	120	70	32	25	316
	合格	37	17	0	2	0	0	102	56	32	25	271
福井県	申込	193	189	45	105	4	6	207	172	110	77	1,108
	受検	190	185	45	104	4	6	198	171	107	72	1,082
	合格	179	164	33	83	4	6	185	167	100	63	984
長野県	申込	200	111	70	58	29	25	330	125	110	88	1,146
	受検	191	100	63	54	28	23	312	124	108	87	1,090
	合格	153	64	47	30	16	20	251	117	93	72	863
静岡県	申込	172	140	110	117	45	42	808	644	334	181	2,593
	受検	170	139	108	116	45	41	789	604	328	179	2,519
	合格	160	136	60	92	29	34	721	532	275	168	2,207
愛知県	申込	1,439	996	283	502	78	165	1,728	1,404	690	334	7,619
	受検	1,397	965	283	496	76	164	1,661	1,366	684	324	7,416
	合格	1,311	826	239	433	64	154	1,510	1,190	624	254	6,605
岐阜県	申込	557	451	77	185	18	46	992	691	335	233	3,585
	受検	547	446	77	181	18	46	972	681	329	229	3,526
	合格	472	344	61	154	17	37	842	619	306	201	3,053
三重県	申込	320	247	52	70	42	32	507	361	241	185	2,057
	受検	319	246	52	69	42	32	500	353	237	179	2,029
	合格	303	184	50	68	42	32	446	336	229	166	1,856
滋賀県	申込	61	36	0	0	0	0	113	167	80	48	505
	受検	60	35	0	0	0	0	109	167	80	47	498
	合格	60	35	0	0	0	0	98	163	80	43	479
京都府	申込	23	12	4	0	1	0	183	123	78	31	455
	受検	19	12	4	0	1	0	167	119	74	30	426
	合格	13	7	3	0	1	0	73	42	41	9	189
大阪府	申込	68	17	0	0	0	0	219	143	34	1	482
	受検	68	17	0	0	0	0	214	136	33	1	469
	合格	61	17	0	0	0	0	205	125	33	1	442
兵庫県	申込	375	230	95	118	72	62	1,078	678	318	211	3,237
	受検	361	212	92	116	70	60	1,051	658	306	200	3,126
	合格	300	183	82	91	64	53	894	604	275	196	2,742
奈良県	申込	60	53	9	11	2	0	163	64	17	8	387
	受検	57	52	7	11	2	0	106	61	15	8	319
	合格	57	50	5	9	1	0	64	51	13	8	258
和歌山県	申込	148	31	35	11	3	1	230	86	75	36	656
	受検	146	31	35	11	3	1	225	84	70	32	638
	合格	115	31	28	11	3	1	209	74	63	25	560
鳥取県	申込	136	151	77	85	34	18	257	198	151	52	1,159
	受検	126	148	70	84	34	18	253	193	138	50	1,114
	合格	119	130	60	57	27	17	225	174	111	41	961
島根県	申込	122	23	6	7	3	0	504	124	53	13	855
	受検	112	21	6	7	3	0	496	114	52	13	824
	合格	93	20	6	6	1	0	310	104	42	10	592

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級					
岡山県	申込	538	540	154	283	76	111	1,088	658	432	266	4,146
	受検	532	528	148	276	75	111	1,043	624	422	263	4,022
	合格	524	400	121	227	69	100	872	534	344	237	3,428
広島県	申込	427	259	231	163	105	104	631	437	350	243	2,950
	受検	418	247	226	161	103	98	618	427	345	237	2,880
	合格	345	199	147	111	71	72	547	392	310	177	2,371
山口県	申込	283	203	87	102	38	30	678	376	266	165	2,228
	受検	276	199	86	97	38	26	673	365	249	156	2,165
	合格	270	179	67	73	28	20	621	327	203	123	1,911
徳島県	申込	138	25	0	20	0	18	285	192	104	82	864
	受検	131	24	0	19	0	18	282	184	103	81	842
	合格	129	18	0	17	0	18	260	170	91	59	762
香川県	申込	118	116	31	54	13	32	299	309	147	85	1,204
	受検	118	114	31	54	12	31	291	299	142	78	1,170
	合格	117	100	29	38	6	26	263	249	110	67	1,005
愛媛県	申込	276	193	93	59	52	29	851	401	207	147	2,308
	受検	268	188	91	58	52	29	841	386	194	145	2,252
	合格	229	161	63	46	34	28	710	340	157	118	1,886
高知県	申込	116	39	10	5	0	0	270	152	100	16	708
	受検	111	39	10	5	0	0	268	141	100	14	688
	合格	91	28	10	5	0	0	193	127	93	11	558
福岡県	申込	763	661	245	362	106	178	1,533	1,120	579	301	5,848
	受検	744	646	239	355	105	175	1,476	1,057	567	290	5,654
	合格	660	491	192	265	79	147	1,299	933	503	265	4,834
佐賀県	申込	169	84	84	41	6	21	711	397	222	116	1,851
	受検	168	82	84	41	6	20	706	386	210	115	1,818
	合格	167	72	64	37	5	15	547	343	183	108	1,541
長崎県	申込	317	249	143	154	117	138	329	294	229	185	2,155
	受検	307	247	143	153	116	136	326	291	227	179	2,125
	合格	291	195	113	127	92	113	306	256	206	164	1,863
熊本県	申込	370	332	157	155	36	39	2,402	543	368	103	4,505
	受検	357	316	153	151	35	38	2,355	508	358	93	4,364
	合格	324	257	106	124	22	23	1,639	413	271	43	3,222
大分県	申込	80	36	23	23	18	22	298	238	148	117	1,003
	受検	71	30	23	22	16	21	278	224	142	112	939
	合格	69	29	19	20	13	19	264	207	130	99	869
宮崎県	申込	291	268	159	134	76	79	356	345	201	118	2,027
	受検	283	261	155	134	76	71	353	342	199	115	1,989
	合格	247	218	122	97	50	55	316	298	178	89	1,670
鹿児島県	申込	595	601	359	291	123	133	790	641	382	243	4,158
	受検	573	585	351	289	122	129	765	618	375	236	4,043
	合格	535	466	307	249	110	116	628	518	336	217	3,482
沖縄県	申込	348	125	33	20	16	24	961	442	167	81	2,217
	受検	336	119	33	20	16	24	945	431	157	79	2,160
	合格	300	103	31	17	14	19	852	380	129	62	1,907
合計	申込	14,357	9,584	3,866	4,337	1,719	2,064	32,348	18,720	9,498	5,497	101,990
	受検	13,951	9,302	3,785	4,252	1,688	2,011	31,734	18,100	9,248	5,342	99,413
	合格	12,611	7,768	3,067	3,493	1,356	1,738	26,766	16,157	8,150	4,633	85,739
受検率(受/申) %		97.2	97.1	97.9	98	98.2	97.4	98.1	96.7	97.4	97.2	97.5
合格率(合/受) %		90.4	83.5	81	82.1	80.3	86.4	84.3	89.3	88.1	86.7	86.2

2 令和5年度 被服製作・食物調理技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服					
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級	4級	3級	2級	1級	
北海道	申込	147	112	41	41	34	28	429	348	125	64	1,369
	受検	144	109	41	40	34	28	412	345	122	62	1,337
	合格	126	88	35	32	18	25	377	301	103	55	1,160
青森県	申込	357	201	121	128	58	80	777	393	224	87	2,426
	受検	344	195	121	121	58	80	746	382	222	87	2,356
	合格	270	177	88	89	37	60	701	347	198	78	2,045
岩手県	申込	541	220	86	66	17	35	1,271	776	318	186	3,516
	受検	534	213	78	65	17	35	1,249	760	311	176	3,438
	合格	529	204	75	58	16	30	1,174	748	308	169	3,311
宮城県	申込	254	65	24	30	18	15	537	386	151	61	1,541
	受検	238	62	23	29	16	15	522	377	141	56	1,479
	合格	230	52	15	17	13	11	508	333	99	39	1,317
秋田県	申込	309	169	84	65	47	44	540	364	214	82	1,918
	受検	306	169	84	64	47	44	517	347	212	82	1,872
	合格	266	161	69	59	41	42	495	328	199	79	1,739
山形県	申込	130	73	22	59	35	27	443	302	158	80	1,329
	受検	120	73	22	58	35	27	426	291	157	78	1,287
	合格	112	70	22	49	35	27	388	273	149	70	1,195
福島県	申込	196	95	36	45	28	15	596	360	112	61	1,544
	受検	195	95	36	45	28	15	594	356	109	60	1,533
	合格	186	92	36	25	23	14	591	328	100	54	1,449
茨城県	申込	509	347	229	188	120	106	647	451	272	196	3,065
	受検	494	343	198	187	117	102	629	438	269	195	2,972
	合格	422	281	179	157	90	90	564	392	252	170	2,597
栃木県	申込	653	255	103	147	40	125	1,595	780	274	220	4,192
	受検	642	251	99	144	40	122	1,574	770	272	217	4,131
	合格	522	226	92	138	38	114	1,421	693	270	212	3,726
群馬県	申込	276	217	64	76	6	18	1,102	410	65	19	2,253
	受検	269	203	64	74	6	18	1,084	400	65	19	2,202
	合格	241	161	34	45	4	15	920	347	44	18	1,829
埼玉県	申込	700	304	56	99	36	45	1,487	626	117	45	3,515
	受検	682	298	53	95	34	45	1,444	594	114	45	3,404
	合格	620	272	43	89	18	45	1,256	540	106	42	3,031
千葉県	申込	327	268	76	143	54	86	405	371	205	179	2,114
	受検	310	261	76	142	54	85	395	366	202	178	2,069
	合格	278	241	74	128	50	85	358	329	193	175	1,911
東京都	申込	215	148	29	23	13	7	753	232	79	61	1,560
	受検	209	146	22	22	6	6	730	230	78	61	1,510
	合格	192	124	12	17	2	4	630	190	66	56	1,293
神奈川県	申込	137	105	33	27	5	2	154	96	52	45	656
	受検	131	95	32	25	5	2	151	91	50	45	627
	合格	106	73	29	24	3	2	137	74	46	44	538
山梨県	申込	192	83	38	12	9	6	642	241	54	28	1,305
	受検	188	81	38	12	9	6	635	238	53	24	1,284
	合格	178	72	30	11	8	6	597	226	46	22	1,196
新潟県	申込	417	216	15	2	0	1	1,038	678	118	72	2,557
	受検	409	213	15	2	0	1	1,012	661	115	71	2,499
	合格	374	183	12	2	0	1	941	619	113	70	2,315

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級					
富山県	申込	194	175	55	46	23	18	390	214	111	30	1,256
	受検	193	170	55	46	23	18	380	209	110	30	1,234
	合格	183	156	51	38	20	18	362	189	103	29	1,149
石川県	申込	40	18	0	0	0	0	147	105	23	21	354
	受検	40	18	0	0	0	0	141	103	21	20	343
	合格	26	9	0	0	0	0	130	81	21	18	285
福井県	申込	192	194	99	117	3	7	263	226	127	59	1,287
	受検	192	194	97	116	3	7	255	213	127	58	1,262
	合格	186	175	90	113	3	7	220	193	117	50	1,154
長野県	申込	162	104	63	57	31	30	328	147	85	84	1,091
	受検	156	96	60	55	30	29	313	141	84	82	1,046
	合格	144	81	39	41	13	17	241	135	75	76	862
静岡県	申込	259	133	113	112	65	52	593	423	343	185	2,278
	受検	257	129	109	112	62	52	588	420	332	178	2,239
	合格	244	120	77	94	30	28	551	399	290	146	1,979
愛知県	申込	1,424	1,126	241	327	72	163	1,873	1,437	602	325	7,590
	受検	1,385	1,087	237	325	71	160	1,834	1,399	592	319	7,409
	合格	1,282	964	206	288	69	145	1,752	1,228	494	251	6,679
岐阜県	申込	560	479	66	208	16	47	967	517	327	216	3,403
	受検	536	471	66	202	16	46	939	505	324	214	3,319
	合格	471	365	41	163	13	41	827	451	288	205	2,865
三重県	申込	325	270	54	74	36	60	484	426	228	156	2,113
	受検	323	267	53	71	36	57	475	417	221	154	2,074
	合格	311	211	50	67	30	49	453	386	197	151	1,905
滋賀県	申込	56	23	0	0	0	0	170	106	28	40	423
	受検	56	23	0	0	0	0	169	103	28	39	418
	合格	56	23	0	0	0	0	146	100	27	35	387
京都府	申込	19	6	9	0	7	0	146	89	65	27	368
	受検	18	6	9	0	7	0	138	85	65	25	353
	合格	17	5	7	0	6	0	78	38	32	4	187
大阪府	申込	43	16	0	0	0	0	123	90	19	0	291
	受検	40	16	0	0	0	0	123	88	19	0	286
	合格	39	16	0	0	0	0	121	83	17	0	276
兵庫県	申込	415	243	108	121	24	34	1,095	640	288	192	3,160
	受検	408	231	106	137	20	33	1,067	628	281	187	3,098
	合格	346	202	96	108	18	32	912	581	254	182	2,731
奈良県	申込	85	43	7	13	0	0	33	34	13	5	233
	受検	82	42	7	13	0	0	32	30	13	5	224
	合格	80	42	6	12	0	0	30	26	13	5	214
和歌山県	申込	35	3	3	9	7	3	174	84	34	29	381
	受検	35	3	3	9	7	3	171	82	31	28	372
	合格	32	3	3	9	7	3	164	78	26	16	341
鳥取県	申込	162	125	72	53	32	22	272	202	90	58	1,088
	受検	158	124	50	52	32	22	263	201	87	57	1,046
	合格	132	97	40	29	22	19	258	173	68	42	880
島根県	申込	120	37	0	7	3	0	511	136	50	19	883
	受検	116	35	0	7	3	0	496	130	50	19	856
	合格	96	26	0	7	2	0	338	123	39	13	644

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級					
岡山県	申込	544	528	160	233	74	135	1,147	654	429	233	4,137
	受検	538	514	158	229	73	130	1,116	631	418	227	4,034
	合格	527	417	118	189	61	118	993	497	346	206	3,472
広島県	申込	352	240	190	169	138	141	591	395	334	277	2,827
	受検	344	227	187	167	134	135	579	380	322	269	2,744
	合格	285	201	142	131	86	90	514	342	278	194	2,263
山口県	申込	294	171	105	94	37	34	526	316	244	156	1,977
	受検	288	163	102	94	37	34	511	308	225	140	1,902
	合格	268	144	73	83	29	33	461	264	187	100	1,642
徳島県	申込	108	46	0	23	0	13	317	207	98	74	886
	受検	106	46	0	21	0	13	315	206	97	74	878
	合格	103	41	0	15	0	9	292	185	94	71	810
香川県	申込	105	128	27	36	19	52	316	306	175	63	1,227
	受検	103	126	27	35	19	59	310	287	163	61	1,190
	合格	103	104	24	30	7	32	268	192	127	54	941
愛媛県	申込	258	165	102	57	51	25	748	349	189	83	2,027
	受検	245	162	102	57	51	25	734	345	185	83	1,989
	合格	195	131	81	47	36	24	645	307	157	76	1,699
高知県	申込	133	44	18	6	0	0	358	171	85	14	829
	受検	128	44	18	6	0	0	352	167	84	13	812
	合格	102	36	15	6	0	0	293	146	69	10	677
福岡県	申込	783	660	222	357	87	146	1,447	1,047	754	259	5,762
	受検	757	642	216	337	84	144	1,396	1,018	717	252	5,563
	合格	628	556	158	276	65	129	1,202	907	556	211	4,688
佐賀県	申込	178	104	74	39	3	21	497	379	209	114	1,618
	受検	174	102	74	39	3	20	496	372	203	111	1,594
	合格	172	91	56	32	3	10	466	334	182	107	1,453
長崎県	申込	297	281	146	242	105	106	356	310	273	148	2,264
	受検	288	271	142	239	104	101	351	304	268	144	2,212
	合格	278	228	119	202	90	77	351	271	235	135	1,986
熊本県	申込	351	319	147	145	61	32	2,482	716	313	79	4,645
	受検	339	311	146	138	61	29	2,435	668	301	72	4,500
	合格	314	259	100	122	36	28	2,113	551	251	54	3,828
大分県	申込	54	63	51	23	15	14	301	257	140	124	1,042
	受検	52	63	50	22	15	12	299	249	138	123	1,023
	合格	50	54	33	17	14	10	294	227	125	107	931
宮崎県	申込	293	261	119	141	69	67	328	322	182	104	1,886
	受検	285	256	118	137	69	67	322	315	179	102	1,850
	合格	256	217	106	107	53	60	299	275	158	84	1,615
鹿児島県	申込	560	603	324	358	75	105	739	620	408	233	4,025
	受検	548	573	315	356	74	101	722	592	390	224	3,895
	合格	502	496	271	298	64	84	584	519	335	206	3,359
沖縄県	申込	278	122	30	26	11	17	767	386	164	51	1,852
	受検	269	117	30	26	8	17	748	373	158	49	1,795
	合格	258	112	28	22	8	16	735	326	119	36	1,660
合計	申込	14,039	9,608	3,662	4,244	1,584	1,984	30,905	18,125	8,968	4,944	98,063
	受検	13,674	9,336	3,539	4,173	1,548	1,945	30,190	17,615	8,725	4,815	95,560
	合格	12,338	8,059	2,875	3,486	1,181	1,650	27,151	15,675	7,572	4,227	84,214
受検率(受/申) %		97.4	97.2	96.6	98.3	97.7	98	97.7	97.2	97.3	97.4	97.4
合格率(合/受) %		90.2	86.3	81.2	83.5	76.3	84.8	89.9	89	86.8	87.8	88.1

3 令和4年度 保育技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県	音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	
	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		
北海道	申込	140	30	26	22	228	101	23	25	168	67	23	21	132	55	26	23	1,110
	受検	127	29	24	21	212	93	21	22	162	64	22	20	129	52	25	22	1,045
	合格	113	26	19	17	189	64	20	12	146	63	20	15	118	49	24	16	911
青森県	申込	110	98	75	66	114	93	89	69	102	88	65	72	121	103	80	78	1,423
	受検	107	95	73	60	107	91	86	67	100	87	63	65	118	101	77	72	1,369
	合格	106	91	58	32	106	63	60	36	100	80	57	34	118	96	63	40	1,140
岩手県	申込	176	65	19	17	693	353	68	27	591	433	83	24	284	236	22	20	3,111
	受検	175	65	18	17	677	345	65	27	583	428	82	24	281	233	22	20	3,062
	合格	175	62	16	12	614	338	62	26	583	427	74	24	281	226	20	20	2,960
宮城県	申込	276	117	53	20	445	294	99	31	357	250	88	32	327	216	76	34	2,715
	受検	261	105	46	20	422	274	95	28	343	240	81	27	312	206	71	34	2,565
	合格	256	90	33	6	409	249	57	20	341	236	60	16	310	203	54	19	2,359
秋田県	申込	60	43	9	3	137	118	12	2	64	46	35	1	63	47	11	1	652
	受検	60	43	9	3	136	117	12	2	64	46	35	1	63	47	11	1	650
	合格	59	43	9	3	132	112	8	2	64	46	35	1	63	47	9	1	634
山形県	申込	25	22	5	0	356	167	29	4	74	67	29	15	45	38	4	0	880
	受検	24	22	5	0	351	159	29	4	73	67	29	15	44	38	4	0	864
	合格	24	21	5	0	322	151	21	3	73	67	28	6	44	38	2	0	805
福島県	申込	239	153	83	55	373	247	85	62	306	191	92	63	349	286	86	75	2,745
	受検	233	146	82	49	369	242	83	60	301	186	89	61	343	280	85	66	2,675
	合格	232	130	77	35	362	238	64	58	298	186	88	61	343	278	76	60	2,586
茨城県	申込	329	117	36	23	675	287	51	34	370	208	48	28	328	155	50	33	2,772
	受検	326	109	34	21	656	274	46	32	364	202	43	26	323	145	44	31	2,676
	合格	303	99	29	13	528	253	42	21	356	199	40	22	300	135	41	28	2,409
栃木県	申込	527	286	139	60	815	458	194	103	560	373	146	79	521	373	151	80	4,865
	受検	510	274	136	53	776	450	190	103	549	326	143	79	503	354	148	78	4,672
	合格	483	263	122	42	669	431	176	86	532	313	140	66	479	343	142	75	4,362
群馬県	申込	380	241	62	28	453	299	71	28	423	294	79	37	355	256	98	54	3,158
	受検	374	230	57	28	442	284	69	28	418	290	77	36	348	253	91	49	3,074
	合格	368	190	38	14	415	260	56	13	413	282	70	24	337	235	71	33	2,819
埼玉県	申込	757	210	61	55	934	289	63	43	804	272	59	44	759	201	59	50	4,660
	受検	741	204	60	47	902	283	63	40	792	263	59	42	741	198	59	46	4,540
	合格	694	174	46	23	849	258	40	35	771	246	45	36	714	186	42	33	4,192
千葉県	申込	211	202	64	25	247	214	48	22	237	209	54	22	222	205	47	23	2,052
	受検	197	178	63	24	232	199	48	19	213	189	53	22	211	182	47	23	1,900
	合格	197	153	52	15	198	156	39	19	203	165	49	22	197	157	44	21	1,687
東京都	申込	438	176	50	27	503	277	69	30	454	235	53	30	439	194	51	30	3,056
	受検	404	164	40	25	474	259	64	28	423	213	44	23	406	183	45	27	2,822
	合格	385	151	34	6	453	252	57	25	418	207	33	18	372	163	35	19	2,628
神奈川県	申込	92	97	60	8	125	95	72	4	101	98	68	4	101	93	71	6	1,095
	受検	86	79	57	7	118	79	69	4	93	85	65	4	96	79	68	6	995
	合格	73	71	48	7	99	73	60	4	82	84	58	4	86	66	58	5	878
山梨県	申込	219	62	11	0	220	74	11	0	219	94	11	0	219	59	11	0	1,210
	受検	218	60	11	0	218	73	11	0	216	93	11	0	215	58	11	0	1,195
	合格	217	56	11	0	210	72	11	0	216	89	11	0	214	58	11	0	1,176
新潟県	申込	128	12	3	2	713	407	58	46	392	250	35	0	317	163	23	22	2,571
	受検	124	12	3	2	696	401	57	45	387	248	35	0	314	160	22	21	2,527
	合格	123	12	3	2	659	381	56	45	384	246	35	0	300	153	21	21	2,441
富山県	申込	90	62	23	4	233	148	74	22	187	151	100	7	101	84	70	11	1,367
	受検	90	62	23	4	230	139	73	21	184	144	100	7	101	84	68	10	1,340
	合格	90	59	23	3	223	132	55	18	182	142	87	5	101	79	60	9	1,268
石川県	申込	35	37	0	0	199	134	2	0	116	68	2	0	193	192	0	0	978
	受検	35	37	0	0	186	127	2	0	106	64	2	0	190	190	0	0	939
	合格	35	32	0	0	161	122	0	0	97	60	0	0	190	190	0	0	887

都道府県	音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	
	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		
福井県	申込	56	18	28	7	139	18	21	15	58	18	21	14	60	21	37	5	536
	受検	56	18	28	7	134	18	21	15	58	18	21	14	60	21	37	5	531
	合格	56	18	25	7	130	18	17	8	58	18	18	14	59	21	30	5	502
長野県	申込	41	36	16	10	96	43	31	10	67	52	41	10	51	35	17	16	572
	受検	37	30	15	9	86	42	31	10	62	48	40	9	48	33	13	15	528
	合格	36	24	14	3	72	37	27	2	58	45	37	6	48	32	13	9	463
静岡県	申込	330	113	38	13	450	181	50	7	332	112	43	19	328	109	41	14	2,180
	受検	324	111	36	13	444	178	47	4	326	112	43	17	321	108	39	11	2,134
	合格	295	95	19	2	368	177	11	1	303	112	26	5	303	105	17	4	1,843
愛知県	申込	604	378	119	55	943	494	224	162	790	471	153	93	615	387	146	104	5,738
	受検	573	368	114	53	905	479	216	149	757	452	148	89	580	372	140	98	5,493
	合格	559	339	85	23	827	430	157	125	721	420	115	70	545	344	100	89	4,949
岐阜県	申込	415	310	171	82	664	436	188	90	420	318	157	84	455	335	165	96	4,386
	受検	405	301	164	81	652	432	179	88	411	314	148	84	442	325	155	95	4,276
	合格	397	283	139	69	615	417	155	74	410	311	139	79	439	301	143	91	4,062
三重県	申込	90	59	5	0	258	168	22	2	87	77	25	0	87	88	34	2	1,004
	受検	83	47	5	0	247	156	20	2	82	69	23	0	81	77	33	2	927
	合格	71	34	1	0	239	146	9	1	79	65	14	0	79	65	27	2	832
滋賀県	申込	112	92	0	0	523	98	29	0	112	92	0	0	112	92	0	0	1,262
	受検	109	89	0	0	518	96	29	0	111	89	0	0	110	86	0	0	1,237
	合格	106	89	0	0	508	91	26	0	105	89	0	0	106	83	0	0	1,203
京都府	申込	77	82	55	55	161	138	69	67	115	96	57	57	88	107	59	57	1,340
	受検	69	72	55	53	148	128	68	65	106	83	56	55	77	96	59	55	1,245
	合格	64	66	51	50	130	108	50	52	92	73	50	51	68	82	51	54	1,092
大阪府	申込	330	256	156	149	389	343	224	190	301	290	145	159	262	234	147	158	3,733
	受検	309	235	145	132	366	318	208	159	278	266	134	135	244	223	136	143	3,431
	合格	289	192	111	84	328	293	146	107	272	229	115	99	239	201	107	104	2,916
兵庫県	申込	396	186	112	51	794	452	75	40	593	289	79	41	390	204	67	47	3,816
	受検	373	179	106	49	761	434	74	39	575	275	77	38	372	196	66	47	3,661
	合格	366	169	88	40	712	386	65	36	571	268	71	33	364	188	60	43	3,460
奈良県	申込	136	124	43	22	142	93	77	21	143	96	69	19	157	107	81	20	1,350
	受検	123	115	40	21	133	88	73	20	133	90	65	18	147	100	77	19	1,262
	合格	123	107	30	14	123	87	48	15	133	89	50	16	146	99	58	16	1,154
和歌山県	申込	193	40	10	6	244	145	22	9	209	87	27	4	213	56	15	9	1,289
	受検	191	40	10	6	238	136	22	9	207	85	27	4	209	55	15	6	1,260
	合格	153	38	10	5	224	126	21	9	175	85	27	4	182	55	13	6	1,133
鳥取県	申込	59	68	51	34	96	92	54	37	93	92	58	34	84	89	57	34	1,032
	受検	57	65	49	29	94	83	51	36	91	90	54	33	80	83	55	33	983
	合格	57	59	37	13	92	80	38	24	91	89	44	19	80	77	47	23	870
島根県	申込	215	104	29	10	368	201	39	4	236	140	42	6	262	180	42	11	1,889
	受検	209	99	28	4	363	192	38	2	232	138	42	2	252	173	42	10	1,826
	合格	205	88	26	4	310	168	31	0	231	127	39	1	247	162	38	8	1,685
岡山県	申込	543	339	188	63	534	317	190	61	502	312	180	60	551	325	186	63	4,414
	受検	530	312	175	57	519	303	182	57	491	298	171	58	538	308	176	63	4,238
	合格	523	247	131	30	490	287	138	37	489	296	147	45	522	295	150	54	3,881
広島県	申込	128	99	43	29	261	193	52	24	178	119	46	23	157	99	46	23	1,520
	受検	125	98	39	27	257	188	48	23	174	118	42	22	154	99	42	22	1,478
	合格	124	96	37	21	245	183	45	20	171	117	40	18	150	95	38	19	1,419
山口県	申込	133	45	40	30	176	93	45	27	141	49	39	24	144	45	43	35	1,109
	受検	128	38	39	30	173	82	44	26	138	48	39	24	138	44	42	33	1,066
	合格	125	37	36	24	165	63	33	20	135	48	35	17	133	44	30	24	969
徳島県	申込	41	54	1	0	421	192	3	0	72	78	2	2	37	49	2	1	955
	受検	38	48	1	0	412	187	3	0	69	77	2	2	35	47	2	1	924
	合格	38	39	1	0	356	182	1	0	68	77	2	1	35	47	2	1	850

都道府県	音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	
	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		
香川県	申込	147	87	44	6	158	94	44	12	145	87	40	15	152	88	47	12	1,178
	受検	140	79	35	6	147	89	44	11	140	83	40	15	144	83	45	12	1,113
	合格	137	66	25	2	136	76	39	9	140	76	38	11	129	74	37	11	1,006
愛媛県	申込	233	133	13	3	318	257	30	26	244	167	25	12	246	169	26	16	1,918
	受検	229	121	12	3	308	243	30	26	240	163	25	11	237	158	25	15	1,846
	合格	221	113	12	3	299	220	29	20	237	154	24	11	233	147	23	14	1,760
高知県	申込	21	21	12	0	270	173	23	3	146	93	20	0	99	21	15	0	917
	受検	21	21	12	0	267	170	22	2	143	93	19	0	99	21	15	0	905
	合格	21	17	11	0	253	160	11	2	136	91	15	0	94	21	12	0	844
福岡県	申込	686	491	294	153	999	664	410	144	739	550	301	128	726	551	308	112	7,256
	受検	664	462	279	145	948	618	395	137	717	526	290	122	693	523	292	107	6,918
	合格	615	421	212	70	890	576	251	108	701	521	234	84	668	483	207	75	6,116
佐賀県	申込	295	172	67	26	368	149	90	42	252	134	90	60	180	162	103	50	2,240
	受検	291	165	65	26	363	143	90	42	249	132	88	60	179	154	102	49	2,198
	合格	262	143	53	18	345	135	76	28	238	130	82	51	166	146	86	45	2,004
長崎県	申込	51	28	17	23	142	88	14	25	96	73	16	23	103	85	44	40	868
	受検	51	27	17	23	139	88	13	25	91	72	16	23	96	83	44	40	848
	合格	50	27	17	18	137	82	13	23	90	72	15	22	95	82	44	40	827
熊本県	申込	47	25	9	3	92	40	9	3	54	27	11	4	79	54	11	3	471
	受検	46	25	9	3	90	39	9	3	53	27	11	4	78	54	11	3	465
	合格	40	25	9	3	81	37	8	3	52	27	11	4	74	54	10	3	441
大分県	申込	193	161	55	58	402	280	66	50	217	162	54	51	231	157	51	50	2,238
	受検	175	146	49	49	382	265	63	48	200	156	49	47	215	150	46	47	2,087
	合格	151	137	42	32	336	261	53	41	173	155	46	37	193	142	43	37	1,879
宮崎県	申込	153	95	29	35	153	98	28	28	151	99	28	28	149	82	30	27	1,213
	受検	147	92	29	31	149	95	28	27	146	96	28	27	144	80	30	25	1,174
	合格	143	90	24	17	144	94	23	25	146	95	24	18	143	80	23	23	1,112
鹿児島県	申込	276	223	74	52	295	247	72	54	286	233	70	52	278	214	70	51	2,547
	受検	268	210	66	50	285	237	70	53	277	226	68	51	268	207	68	50	2,454
	合格	265	182	60	32	277	224	61	47	277	220	60	45	264	199	65	47	2,325
沖縄県	申込	362	99	20	5	564	207	112	65	436	184	107	44	386	154	75	66	2,886
	受検	349	85	15	4	550	198	103	48	427	180	107	39	365	147	73	64	2,754
	合格	340	77	9	0	509	198	70	33	423	180	78	26	353	147	66	55	2,564
全体	申込	10,595	5,968	2,518	1,395	17,883	10,049	3,431	1,770	12,740	7,991	3,016	1,545	11,558	7,255	2,901	1,662	102,277
	受検	10,212	5,612	2,378	1,292	17,282	9,614	3,304	1,656	12,355	7,659	2,906	1,455	11,144	6,949	2,778	1,576	98,172
	合格	9,765	5,041	1,938	814	15,939	8,947	2,536	1,293	12,034	7,417	2,526	1,141	10,724	6,573	2,313	1,302	90,303
	受検率	96.4	94	94.4	92.6	96.6	95.7	96.3	93.6	97	95.8	96.4	94.2	96.4	95.8	95.8	94.8	96.0
	合格率	95.6	89.8	81.5	63	92.2	93.1	76.8	78.1	97.4	96.8	86.9	78.4	96.2	94.6	83.3	82.6	92.0

4 令和5年度 保育技術検定
都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	
北海道	申込	94	38	21	14	255	107	17	17	175	87	21	14	124	56	21	18	1,079
	受検	90	34	20	14	234	93	17	17	161	80	19	14	119	55	20	18	1,005
	合格	78	24	17	12	184	71	17	10	145	76	16	13	109	52	18	17	859
青森県	申込	118	75	64	51	172	169	55	60	125	79	62	55	119	90	57	56	1,407
	受検	114	70	59	51	160	161	55	60	118	76	60	54	112	87	56	56	1,349
	合格	114	63	47	34	155	146	36	41	118	76	41	39	109	86	43	38	1,186
岩手県	申込	252	52	13	13	682	342	43	16	488	396	74	12	271	227	12	12	2,905
	受検	251	52	13	12	670	332	42	15	486	389	72	12	267	220	12	12	2,857
	合格	251	52	13	11	636	326	42	9	486	388	69	11	267	212	12	12	2,797
宮城県	申込	282	117	42	10	469	262	68	22	354	235	63	16	328	233	45	21	2,567
	受検	275	97	39	8	457	246	65	19	347	222	60	14	320	217	42	20	2,448
	合格	271	84	24	4	436	225	39	9	346	213	34	10	318	209	30	15	2,267
秋田県	申込	73	53	15	4	147	117	19	4	79	96	35	1	77	55	24	9	808
	受検	73	48	15	4	146	114	19	4	79	94	35	1	76	50	24	9	791
	合格	73	48	13	3	136	110	14	4	79	94	35	1	76	50	20	8	764
山形県	申込	18	17	8	1	204	126	6	10	61	67	9	10	18	23	9	0	587
	受検	18	17	7	1	201	121	6	9	61	67	9	10	18	22	8	0	575
	合格	18	15	6	1	181	120	5	9	61	66	9	7	17	20	7	0	542
福島県	申込	271	185	79	54	477	302	95	67	328	237	79	70	448	329	89	73	3,183
	受検	265	180	74	52	472	296	90	62	326	235	74	68	441	326	85	62	3,108
	合格	264	167	66	45	447	294	78	51	326	235	73	51	439	326	79	60	3,001
茨城県	申込	312	118	29	8	560	271	38	14	338	170	38	16	305	145	36	15	2,413
	受検	305	106	27	4	533	245	37	14	334	162	37	16	294	139	35	15	2,303
	合格	294	81	23	4	469	222	33	13	321	155	37	12	285	126	34	12	2,121
栃木県	申込	535	274	139	54	1,007	435	150	77	548	392	152	57	577	383	181	97	5,058
	受検	511	269	139	51	967	423	149	75	537	381	152	56	558	365	181	95	4,909
	合格	497	261	124	44	865	397	143	69	531	373	144	53	550	358	169	88	4,666
群馬県	申込	320	212	121	22	420	269	152	12	389	260	122	14	293	235	126	24	2,991
	受検	312	199	113	21	401	259	140	10	381	251	114	13	286	230	117	22	2,869
	合格	310	141	55	9	348	246	58	10	378	247	93	11	283	209	93	20	2,511
埼玉県	申込	625	216	32	48	852	266	39	40	684	243	32	43	623	200	36	43	4,022
	受検	618	207	31	48	831	262	38	40	675	240	32	43	616	199	36	43	3,959
	合格	602	182	26	32	773	251	35	38	672	235	25	38	605	190	31	39	3,774
千葉県	申込	210	175	39	31	267	207	41	27	237	184	34	29	221	175	41	26	1,944
	受検	197	157	36	28	257	191	37	27	215	169	32	27	204	163	36	25	1,801
	合格	196	129	26	15	220	165	25	20	210	145	28	18	197	143	34	24	1,595
東京都	申込	278	127	15	11	353	192	38	11	315	175	15	11	278	124	16	11	1,970
	受検	263	111	15	11	341	173	38	11	298	157	15	11	264	112	16	11	1,847
	合格	254	98	14	8	308	162	36	7	290	144	15	8	251	97	15	8	1,715
神奈川県	申込	78	62	40	11	108	58	39	10	77	54	37	10	77	58	38	10	767
	受検	75	57	40	11	103	50	39	10	75	50	37	10	75	53	38	10	733
	合格	68	45	26	11	82	42	23	10	69	50	30	9	72	50	30	10	627
山梨県	申込	130	50	13	0	144	65	13	0	144	65	13	0	130	50	13	0	830
	受検	129	50	13	0	142	64	13	0	143	65	13	0	128	49	13	0	822
	合格	129	47	12	0	134	55	11	0	143	64	12	0	128	49	12	0	796
新潟県	申込	121	13	1	0	676	404	66	44	365	228	39	0	227	155	28	22	2,389
	受検	119	12	1	0	657	379	66	44	357	222	39	0	225	149	28	22	2,320
	合格	118	12	1	0	579	369	66	44	356	217	39	0	223	143	27	21	2,215
富山県	申込	55	35	25	10	244	157	68	30	183	144	79	16	100	88	58	21	1,313
	受検	55	34	25	10	237	144	68	29	174	124	78	16	96	77	57	21	1,245
	合格	55	34	24	8	227	131	50	22	170	121	73	14	94	74	55	20	1,172
石川県	申込	46	35	4	2	162	90	33	2	68	56	4	2	188	187	4	2	885
	受検	46	31	4	2	155	84	33	2	67	51	4	2	181	172	4	2	840
	合格	46	18	4	1	135	79	18	1	67	50	4	1	181	172	4	2	783

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	
福井県	申込	66	20	15	16	104	22	14	15	66	26	14	15	67	23	14	14	511
	受検	64	17	15	16	100	19	14	15	65	23	14	15	64	19	14	14	488
	合格	63	16	14	7	93	19	13	11	65	23	13	12	64	19	13	12	457
長野県	申込	41	20	16	9	86	42	31	7	54	25	21	11	49	23	18	10	463
	受検	40	20	15	9	84	42	28	7	53	25	21	11	48	22	17	10	452
	合格	40	19	10	8	79	34	22	5	53	25	21	6	48	22	16	10	418
静岡県	申込	307	177	42	16	433	200	54	10	280	167	37	25	303	157	46	14	2,268
	受検	304	171	41	16	425	195	53	8	276	161	37	23	299	153	46	14	2,222
	合格	294	141	24	5	354	188	13	2	270	160	32	9	294	147	31	11	1,975
愛知県	申込	567	276	179	51	899	547	266	102	685	437	214	67	641	367	163	82	5,543
	受検	530	260	169	47	853	526	249	90	641	425	205	54	595	357	157	77	5,235
	合格	507	234	125	27	797	475	138	74	610	388	138	30	565	332	124	62	4,626
岐阜県	申込	355	256	102	73	651	364	115	75	416	258	107	76	369	281	111	76	3,685
	受検	349	236	101	71	628	346	112	74	407	249	107	75	361	272	109	74	3,571
	合格	348	202	90	60	589	326	100	66	403	237	104	66	359	248	103	65	3,366
三重県	申込	76	57	19	10	276	114	29	0	90	84	31	0	96	82	43	3	1,010
	受検	71	40	19	10	261	104	29	0	85	76	31	0	91	72	43	3	935
	合格	63	25	18	6	241	88	26	0	82	69	30	0	78	66	40	3	835
滋賀県	申込	104	47	0	0	114	75	0	0	109	49	0	0	102	47	0	0	647
	受検	101	46	0	0	111	74	0	0	108	49	0	0	102	44	0	0	635
	合格	101	30	0	0	105	69	0	0	108	49	0	0	99	40	0	0	601
京都府	申込	88	71	48	38	194	93	56	45	165	72	50	40	97	67	49	40	1,213
	受検	87	67	47	37	181	83	54	40	162	65	47	37	85	63	48	39	1,142
	合格	85	51	37	33	145	69	43	32	153	58	39	33	79	59	45	37	998
大阪府	申込	281	187	113	126	300	185	165	147	241	200	106	125	203	153	110	112	2,754
	受検	261	176	105	115	275	161	154	132	221	186	95	108	188	146	103	99	2,525
	合格	246	150	77	74	238	149	113	69	214	180	85	75	177	140	84	84	2,155
兵庫県	申込	464	221	100	67	761	440	72	34	627	310	82	36	471	225	82	50	4,042
	受検	453	195	92	65	742	420	70	33	608	302	81	35	448	216	78	49	3,887
	合格	427	155	74	47	660	375	58	25	599	301	62	30	439	194	62	28	3,536
奈良県	申込	137	79	54	14	138	79	101	13	123	80	88	14	124	82	94	14	1,234
	受検	130	77	49	12	133	78	95	11	116	78	83	12	113	81	89	12	1,169
	合格	130	77	37	6	120	77	75	9	116	78	60	8	113	78	72	6	1,062
和歌山県	申込	117	48	9	0	151	114	11	5	120	87	17	6	132	69	11	9	906
	受検	117	48	8	0	150	111	11	5	119	87	17	6	130	69	11	9	898
	合格	117	43	4	0	145	103	11	5	119	87	17	5	125	69	11	7	868
鳥取県	申込	63	60	59	45	80	86	56	40	68	74	53	41	75	81	53	41	975
	受検	62	54	56	41	78	82	54	38	67	70	52	39	72	75	51	39	930
	合格	61	45	46	20	68	73	44	19	66	69	48	21	69	71	48	28	796
島根県	申込	162	103	27	12	264	145	51	13	170	109	46	14	177	120	41	22	1,476
	受検	156	97	25	12	253	128	51	13	167	107	44	14	165	116	40	21	1,409
	合格	151	80	18	8	222	109	43	10	164	102	44	11	158	109	39	20	1,288
岡山県	申込	543	359	155	67	565	324	155	54	544	320	148	57	542	323	148	55	4,359
	受検	525	348	145	62	549	316	150	52	529	314	147	56	527	313	146	54	4,233
	合格	516	281	104	21	506	305	122	27	518	305	134	33	508	300	124	34	3,838
広島県	申込	166	114	57	21	314	226	74	22	242	148	70	22	201	112	57	22	1,868
	受検	158	112	55	20	309	216	74	20	239	146	68	20	197	110	56	20	1,820
	合格	156	101	40	16	298	213	62	18	236	141	62	16	193	103	48	14	1,717
山口県	申込	96	40	19	19	175	95	23	22	129	71	23	21	96	42	18	19	908
	受検	94	37	19	18	172	90	23	22	128	68	23	20	91	42	18	18	883
	合格	89	35	18	13	148	81	20	17	127	67	22	17	89	40	17	17	817
徳島県	申込	64	47	2	2	621	250	2	2	86	50	3	2	63	46	2	3	1,245
	受検	62	47	2	2	614	246	2	2	83	49	3	2	61	46	2	2	1,225
	合格	62	35	2	1	564	234	2	2	83	49	3	1	61	43	1	2	1,145

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	
香川県	申込	108	111	47	12	127	78	52	12	119	72	51	15	113	76	55	14	1,062
	受検	104	99	42	12	120	69	47	12	117	65	48	15	108	65	52	13	988
	合格	103	81	29	4	100	65	42	11	110	61	47	12	98	58	45	11	877
愛媛県	申込	272	121	15	7	362	260	23	9	323	243	26	8	288	188	18	1	2,164
	受検	271	111	14	7	355	248	22	8	322	238	25	7	283	183	18	1	2,113
	合格	265	99	14	7	317	233	21	7	317	234	24	7	272	182	17	1	2,017
高知県	申込	7	11	1	0	243	149	4	2	202	42	9	1	106	19	0	0	796
	受検	7	10	1	0	238	143	4	2	199	41	8	1	105	18	0	0	777
	合格	7	4	1	0	216	135	3	2	197	41	8	1	100	18	0	0	733
福岡県	申込	631	530	259	134	916	644	356	122	711	547	285	117	644	555	276	120	6,847
	受検	613	505	243	122	868	588	338	115	685	534	277	103	609	522	265	109	6,496
	合格	602	437	180	54	786	561	254	84	672	522	240	73	595	499	215	87	5,861
佐賀県	申込	354	165	60	26	431	251	84	55	302	122	77	61	360	151	104	59	2,662
	受検	351	158	56	26	395	242	77	54	295	122	75	56	356	143	102	57	2,565
	合格	346	133	38	14	384	221	59	37	261	119	70	28	351	138	88	49	2,336
長崎県	申込	108	26	16	16	190	77	12	14	145	58	12	14	126	70	24	33	941
	受検	106	26	16	16	187	77	12	14	144	58	12	13	125	70	23	31	930
	合格	106	24	13	16	177	76	10	13	142	58	12	11	124	70	15	28	895
熊本県	申込	61	11	7	5	106	38	8	4	70	18	7	5	133	83	7	5	568
	受検	60	9	6	5	103	38	7	4	68	18	6	5	132	82	6	5	554
	合格	60	9	5	1	94	36	4	1	68	18	5	2	131	82	5	3	524
大分県	申込	221	150	59	48	437	305	72	44	239	162	58	48	248	180	59	47	2,377
	受検	213	137	44	39	420	272	66	44	231	155	53	46	241	172	48	46	2,227
	合格	212	118	34	29	394	260	55	40	231	155	42	38	240	166	38	40	2,092
宮崎県	申込	158	109	27	26	98	35	29	21	160	97	26	26	79	101	27	17	1,036
	受検	153	109	27	25	94	33	29	20	156	96	26	26	77	101	27	17	1,016
	合格	151	100	18	18	69	28	24	15	155	93	22	17	76	98	22	16	922
鹿児島県	申込	272	223	96	52	372	243	83	58	274	241	89	53	271	251	89	57	2,724
	受検	263	214	90	49	354	236	81	56	267	240	87	48	256	246	87	53	2,627
	合格	256	169	79	39	334	232	64	50	264	235	85	42	247	231	80	48	2,455
沖縄県	申込	341	69	17	8	622	212	85	48	423	161	77	43	383	146	50	51	2,736
	受検	335	62	16	7	599	199	83	44	420	154	77	42	366	141	48	48	2,641
	合格	331	54	13	3	552	196	55	30	419	154	66	22	359	141	40	37	2,472
全体	申込	10,048	5,562	2,320	1,264	17,229	9,532	3,063	1,458	12,141	7,498	2,735	1,339	10,963	6,933	2,603	1,450	96,138
	受検	9,756	5,219	2,189	1,189	16,615	9,019	2,941	1,383	11,812	7,236	2,651	1,256	10,575	6,644	2,512	1,377	92,374
	合格	9,533	4,449	1,683	779	15,110	8,441	2,225	1,048	11,590	7,027	2,312	922	10,315	6,329	2,156	1,154	85,073
	受検率	97.1	93.8	94.4	94.1	96.4	94.6	96	94.9	97.3	96.5	96.9	93.8	96.5	95.8	96.5	95	96.1
	合格率	97.7	85.2	76.9	65.5	90.9	93.6	75.7	75.8	98.1	97.1	87.2	73.4	97.5	95.3	85.8	83.8	92.1

5 「三冠王」都道府県別取得者数の推移

県番号	都道府県名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1	北海道	15	35	21	20	22	24	33	26	22	31	20	16	8	16
2	青森県	55	60	43	56	66	29	38	43	21	21	21	27	19	16
3	岩手県	28	20	21	23	19	9	8	7	3	4	4	2	2	
4	宮城県	9	6	13	2	13	9	2	3	3	3	5	1	2	4
5	秋田県	20	26	29	31	14	26	24	26	32	29	28	41	38	35
6	山形県	30	28	25	28	28	29	26	29	18	22	16	15	29	11
7	福島県	30	16	24	11	10	13	13	12	14	11	6	11	5	13
8	茨城県	49	49	66	80	87	70	98	89	72	85	86	57	72	55
9	栃木県	114	118	136	64	61	61	51	48	67	58	46	38	38	13
10	群馬県						1	4	1	4	5	4	4	3	4
11	埼玉県	31	35	30	33	33	36	35	31	29	29	37	36	29	34
12	千葉県	43	34	41	41	37	27	23	25	26	32	20	24	29	24
13	東京都		8	3	3	4	4	3	2	3	3	2	1	1	
14	神奈川県		6	4	9	13	7	6	3	9	2	7	3		
15	山梨県	2	4	3	5	3	2	7	8	10	13	8	7	4	4
16	新潟県	9	5	4	3	3	7								
17	富山県	3	5	6	8	8	13	8	15	11	14	15	18	6	7
18	石川県							1							
19	福井県						1					1		1	
20	長野県	8	2	6	4	11		5	7	2	7			1	
21	静岡県	52	66	58	77	59	49	57	54	69	30	36	46	31	22
22	愛知県	66	46	53	52	37	48	37	42	37	37	5	4	9	8
24	三重県														
27	大阪府	2	2			1	1								
28	兵庫県	66	44	32	22	24	18	27	26	27	23	18	21	32	19
30	和歌山県	3	5	6	4	7	3	1	2	2	1	1		1	3
31	鳥取県	18	18	19	17	18	24	22	18	18	14	15	14	10	10
32	島根県	4	5	5	5	3		3	3	1		1			
33	岡山県	88	71	83	55	60	57	44	59	70	42	53	50	36	39
34	広島県	40	41	69	70	78	85	94	87	102	100	97	97	65	67
35	山口県	20	18	18	10	13	21	18	18	14	16	10	18	8	13
37	香川県	3	6	5	4	7	7	7	4	4	2	2	2	3	1
38	愛媛県	18	15	15	22	26	37	25	27	30	30	26	28	26	19
40	福岡県	12	11	13	17	19	26	29	38	31	37	37	40	40	25
42	長崎県	113	116	154	107	131	142	125	125	102	119	97	107	100	70
43	熊本県	7	5	11	5	7	12	6	10	11	4	9	6	2	4
44	大分県	2	1	3	7	4	7	10	7	1	8	4		8	3
45	宮崎県	22	22	30	15	24	26	25	24	35	29	33	28	17	24
46	鹿児島県	26	25	32	24	28	18	38	26	39	28	49	42	48	32
47	沖縄県	3	5	5	5	7	6	13	4	7	8	6	8	4	2
学校数		107	116	116	113	116	116	112	109	103	105	98	96	92	90
合計人数		1011	979	1086	939	985	955	966	949	946	897	825	812	727	597

6 「三冠王」取得学校名及び取得者数の推移

都道府県	年度 学校名	人数									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
北海道	函館大妻	15	17	20	15	7	19	16	11	7	16
	洞爺	1									
	江別	5	7	13	11	15	12	4	5	1	
	千歳北陽	1									
	小計	22	24	33	26	22	31	20	16	8	16
青森県	柴田学園	32	8	17	18	15	16	11	17	13	9
	千葉学園	9	12	9	15		5	10	10	6	7
	三本木農業	25	9	12	10	6					
	小計	66	29	38	43	21	21	21	27	19	16
岩手県	盛岡農業	5									
	盛岡スコーレ		1	1							
	水沢農業										
	一関修紅										
	千厩	3	2								
	宮古水産	4	3	6	5	3	2	4			
	久慈東	6									
	花北青雲		3	1	2		2		2	2	
	紫波総合										
	水沢農業	1									
小計	19	9	8	7	3	4	4	2	2		
宮城県	加美農業	3	1								
	松山	3	3		1	1	1	1			
	亘理	7	4	2	2	1	1	2	1	2	3
	名取		1			1	1	2			1
	小計	13	9	2	3	3	3	5	1	2	4
秋田県	金足農業	11	10	13	13	15	14	14	15	16	12
	大館		5								
	大曲農業	1	6	6	9	14	11	10	18	17	18
	大館桂桜			4	2	2	2	2	5		4
	増田	2	5	1	2	1	2	2	3	5	1
小計	14	26	24	26	32	29	28	41	38	35	
山形県	榎山(山本学園)	28	29	26	29	18	22	16	15	29	11
	東根工業										
小計	28	29	26	29	18	22	16	15	29	11	
福島県	会津農林					2					
	会津農林(耶麻校舎)										2
	耶麻農業	4	3	3	3		3	2	4	2	
	磐城農業	5	10	10	9	11	8	4	7	3	11
	湯本					1					
	いわき総合	1									
小計	10	13	13	12	14	11	6	11	5	13	
茨城県	水戸第三	31	16	40	28	32	37	29	11	36	24
	石岡第二	24	11	28	28	7	25	27	4	3	4
	取手第二	12	17	11	10	12	7	9	17	15	11
	水海道第二	7	8	5	5	7	9	9	9	3	3
	竜ヶ崎第二	11	18	14	18	14	7	12	16	15	13
	潮来	2									
	小計	87	70	98	89	72	85	86	57	72	55

都道府県	年度 学校名	人数									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
栃木県	宇都宮中央女子	39	20	28	28	39	35	21	17	28	10
	佐野女子										
	宇都宮短大附属										
	作新学院	7	14	2	4	2					
	小山北桜	6	9	5	6	14	4	9	9	5	
	佐野松桜	9	18	16	10	12	19	16	12	5	3
小計	61	61	51	48	67	58	46	38	38	13	
群馬県	常磐		1	3	1	4	5	2	3	3	3
	新田暁			1				2	1	1	1
小計		1	4	1	4	5	4	4	3	4	
埼玉県	鴻巣女子	33	36	35	31	29	29	37	35	29	34
	草加西								1		
小計	33	36	35	31	29	29	37	36	29	34	
千葉県	木更津東	14	8	6	11	14	15	6	13	15	12
	千葉女子	7	9	5	7	9	10	6	7	9	8
	館山総合	16	10	12	7	3	7	8	4	5	4
小計	37	27	23	25	26	32	20	24	29	24	
東京都	忍岡	3	3	3	2	3	3	2	1	1	
	蒲田女子	1	1								
小計	4	4	3	2	3	3	2	1	1		
神奈川県	市立川崎	12	7	6	3	9	2	7	3		
	伊勢原	1									
小計	13	7	6	3	9	2	7	3			
山梨県	笛吹						1		1	2	1
	北杜	2	2	6	5	7	4	5	2	2	3
	白根										
	増穂商業	1									
	甲府城西			1	3	3	8	3	4		
小計	3	2	7	8	10	13	8	7	4	4	
新潟県	西川竹園	3	7								
	新潟青陵										
小計	3	7									
富山県	雄山	8	11	6	8	7	8	8	9	5	6
	桜井		2	1	3	3	5	7	5	1	1
	氷見			1	4	1	1		4		
小計	8	13	8	15	11	14	15	18	6	7	
石川県	鵬学園			1							
	小計			1							
福井県	三国		1								
	坂井							1		1	
小計		1						1		1	
長野県	丸子修学館			1	1						1
	諏訪実業	11		4	6	2	7				
	市立長野										
小計	11		5	7	2	7				1	
静岡県	静岡サレジオ	2	5	5	2		1				
	静岡女子	23	9	13	16	23	5	10	17	10	10
	沼津中央	26	29	30	29	39	20	22	29	21	12
	御殿場	8	6	9	7	7	4	4			
	小計	59	49	57	54	69	30	36	46	31	22
愛知県	成章	17	25	26	30	27	27	2	2	3	3
	至学館	9	11	7	5	5	5			3	2
	豊橋中央	4	4		1	3	3	3	2	3	3
	古知野	5	6	2	2	2	2				
	佐屋	2	2	2	4						
小計	37	48	37	42	37	37	5	4	9	8	

都道府県	学校名	年度									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
大阪府	吹田										
	高槻北	1	1								
小計		1	1								
兵庫県	社	4	7	4	7	4	4	2	3	10	3
	西脇	8	4	9	9	11	3	5	3	6	4
	神戸第一	5	2	4	2		2		4	2	3
	佐用			3	1	5	3	2	3	4	3
	小野工業	7	5	7	7	7	9	9	8	10	6
	松陽						2				
小計		24	18	27	26	27	23	18	21	32	19
和歌山県	神島	4		1		2		1		1	1
	海南下津	3	3		2		1				2
小計		7	3	1	2	2	1	1		1	3
鳥取県	鳥取湖陵	6	7	5	4	5	2	5	3	4	3
	倉吉総合産業	8	6	6	2	5	6	3	2		4
	米子南	4	11	11	12	8	6	7	9	6	3
小計		18	24	22	18	18	14	15	14	10	10
島根県	邇摩	3		3	3	1		1			
小計		3		3	3	1		1			
岡山県	岡山南	14	8	15	14	14	9	9	4	6	4
	興陽	10	5	7	6	9	7	9	8	2	4
	倉敷中央	5	7	5	8	11	4	6	5	3	3
	総社	20	16	9	16	19	14	17	19	20	14
	高梁	8	18	8	15	15	8	12	13	5	14
	久世										
	井原	3	3			2			1		
小計		60	57	44	59	70	42	53	50	36	39
広島県	世羅	8	9	8	4	10	9	9	9	9	11
	沼南	13	9	8	7	7	3	3	4	2	
	庄原実業	4	12	1	3	7	3	3	2		1
	吉田	12	11	13	8	13	11	9	9	1	3
	総合技術	10	11	11	12	11	8	10	10	7	7
	海田	31	33	53	53	54	66	63	63	46	45
小計		78	85	94	87	102	100	97	97	65	67
山口県	熊毛北		2		1						2
	山口農業	3	2	1	3						
	田部	2	10	8	6	7	5	4	2	3	1
	誠英		1	1	1	1			1		
	早鞆	4	2	5	1	3	4	3	11	3	6
	厚狭	4	4	3	6	3	7	3	4	2	4
小計		13	21	18	18	14	16	10	18	8	13
香川県	笠田	7	7	7	4	4	2	2	2	3	1
小計		7	7	7	4	4	2	2	2	3	1
愛媛県	小松	9	11	11	12	10	11	9	14	12	7
	伊予農業	12	16	11	15	19	13	10	6	7	9
	大洲農業	4	5	1			3	2	4	5	2
	北条	1	5	1		1	2	5	4	2	1
小計		26	37	25	27	30	30	26	28	26	19

都道府県	学校名	年度									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福岡県	折尾	12	8	4	10	6	8	9	10	7	11
	東鷹		1	2	2	1	5	5	6	7	1
	福島	2	2		1						
	筑豊	5	15	23	25	24	24	23	24	26	13
小計		19	26	29	38	31	37	37	40	40	25
長崎県	大村	39	39	39	39	33	38	37	37	38	23
	西彼農業	1	2	3	3	1	5	1	2	1	4
	島原農業	6	5	4	3	3	2	4	5	8	3
	島原商業	7	16	17	15	13	13	12	18	22	9
	口加	4	2	3	3	5	6	3	8	6	5
	川棚	27	34	15	10	6	11	7	12	2	4
	北松農業	13	13	6	18	11	8	5	2	4	8
	諫早農業	11	12	26	23	19	21	23	15	13	10
	五島海陽	7	9	8	6	4	7	3	6	6	4
	諫早商業										
	長崎玉成	14	8	4	4	5	6				
大村城南	2	2		1	2	2	2	2			
小計		131	142	125	125	102	119	97	107	100	70
熊本県	松橋	5	7	3	5	10	4	8	5	2	4
	苓明	1	3	2							
	八代農業泉分校										
	天草拓心				4						
	八代農業	1	2			1		1	1		
菊池農業			1	1							
小計		7	12	6	10	11	4	9	6	2	4
大分県	宇佐産業科学	1	3	6	7	1	3	4			2
	別府溝部学園	3	4	4			5				4
	佐伯豊南										2
小計		4	7	10	7	1	8	4			8
宮崎県	飯野	6	10	5	9	7	3	4	9	4	6
	宮崎農業	5	3	8	3	12	7	10	8	3	6
	高城	7	6	4	2	6	3	4	2	3	3
	富島	4	4	5	6	5	7	4	5	2	3
	本庄		3		2	2	6	6	4	2	6
	延岡工業	2		3	2	3	3	5			3
小計		24	26	25	24	35	29	33	28	17	24
鹿児島県	鹿屋女子	11	7	11	10	12	11	12	14	8	7
	薩南工業	1	1	4	2	5	6	20	15	23	10
	垂水	1	3	2	1	5	0	2	3	3	2
	国分中央	14	6	15	8	11	2	5	4	3	7
	奄美	1	1	4	5	6	8	7	1	9	5
	徳之島			2							
	鹿児島女子						1				
山川							3	5	2	1	
小計		28	18	38	26	39	28	49	42	48	32
沖縄県	那覇工業	7	5	9	4	7	8	6	8	4	2
	浦添工業		1	4							
小計		7	6	13	4	7	8	6	8	4	2
合計	学校数	116	116	112	109	103	105	98	96	92	90
	人数	985	955	966	949	946	897	825	812	727	597

7 「四冠王」取得学校名及び取得者数の推移

学 校 名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
千葉学園高等学校	2	4	3	4	2	7	3	4	3	1	3	4	1	2
宮城県松山高等学校					2			1			1			
宮城県亘理高等学校		1	2	1	3	2	1				2	1	1	
宮城県加美農業高等学校					1									
秋田県立大曲農業高等学校		2	3	1		2	1	2			1		1	
福島県立湯本高等学校									1					
福島県立磐城農業高等学校					1		2							
茨城県立石岡第二高等学校	3		2	1	3		1	4	1	2	1		2	1
茨城県立取手第二高等学校												2		
茨城県立水戸第三高等学校	2	2	4	3	3	3	4	6	5	3	5	3		
茨城県立水海道第二高等学校					1	4	1	1	2		2	2	2	
茨城県立竜ヶ崎第二高等学校							1		1	2	1	3	1	
栃木県立宇都宮中央女子高等学校	10	11	14	13	9	4	9	4	12	9	6	5	7	1
宇都宮短期大学付属高等学校	25	43	33	13										
栃木県立小山北桜高等学校			1	1	5	5	4	2	7		5	6	3	
栃木県立佐野女子高等学校	2	1	28											
栃木県立佐野松桜高等学校					2	5	5	1	2	3	2	2	1	3
作新学院高等学校		2			4	5		1						
群馬県立新田暁高等学校							1					1		1
常盤高等学校							2						1	
千葉県立館山総合高等学校	2		1	5										
富山県立氷見高等学校												1		
静岡サレジオ高等学校		2		2	1		2							
静岡女子高等学校			2			1								
沼津中央高等学校					2		4	1		1	1	2	1	1
兵庫県立佐用高等学校											1			
兵庫県立社高等学校													2	1
和歌山県立神島高等学校				1										
鳥取県立鳥取湖陵高等学校						1								
島根県立邇摩高等学校					1									
岡山県立岡山南高等学校									1					
岡山県立井原高等学校					1				1					
岡山県立高梁高等学校						1			2	1	1	1	1	1
広島県立世羅高等学校							4	1	2	3	1	2	3	5
広島県立庄原実業高等学校								1			1	1		1
山口県立田部高等学校						1				1				
愛媛県立北条高等学校												1		
愛媛県立松山聳学校										1				
福岡県立折尾高等学校										1		5	2	
福岡県立東鷹高等学校						1	2	1		2	4	2	2	1
福岡県立筑豊高等学校									2	6	6	11	9	6
長崎県立大村城南高等学校			1	1	1	1		2						
長崎県立川棚高等学校	1	2	2	1										
長崎県立島原商業高等学校						3	2	8	7	8	8	8	12	4
別府溝部学園高等学校													1	
宮崎県立宮崎農業高等学校	1	1		3										
宮崎県立高城高等学校		1	3	2		1			2		1		2	1
宮崎県立富島高等学校			1											
鹿児島県立奄美高等学校										1	1			2
鹿児島県立薩南工業高等学校											4	3	3	2
沖縄県立北部農林高等学校		1												
合 計 人 数	48	73	100	52	42	47	49	41	50	45	58	66	58	33
累 計 人 数	146	219	319	371	413	460	509	550	600	645	703	769	827	860

技術検定に関する教材

教材等一覧

●被服製作・食物調理技術検定関係

- ◇家庭科問題集 基礎編 (3級対応) 600円
- ◇家庭科問題集 被服編 (2・1級対応) 600円
- ◇家庭科問題集 食物編 (2・1級対応) 1,000円
- ◇食物調理技術検定資料集 1,000円
- ◇型紙 400円

- ◇シャツ、ブラウス (洋服2級対応) 300円
- ◇ジーンズ(休閒2級対応)、パンツ(3級対応)セット販売 600円
- ◇ジャケット (洋服1級対応)

*4級認定試験練習用セット等は次のところで取り扱っています。

㈱フロンテック TEL 0120-88-1727 FAX 0120-77-6259

三友教材㈱ TEL 03-5836-7065 FAX 03-5836-4434

◇保育技術検定関係 600円

●DVD

- ◇被服製作技術検定 (4・3級対応) 9,900円
- ◇食物調理技術検定 (4・3級対応) 9,900円
- ◇保育技術検定 (4・3級対応) + 2・1級紹介) 9,900円

申し込み方法

年間全額して随時受け付けています。

方法1

関係書類集に綴じてある「教材申込書」を使い、FAXで申し込む。

→ FAX: 03-3288-1670

方法2

ホームページで「教材申込書」様式をダウンロードし、FAXで申し込む。

→ アドレス: <http://www.kate-ed.or.jp>

公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会

全国高等学校長協会家庭部会が昭和35年から実施していた被服製作技術検定と食物調理技術検定は年々受験者が増加し、段階で充実した活動を推進するため、財団法人の設立が検討された。そして、昭和43年に家庭科教育の発展に寄与することを目的に、技術検定の実施主体として「財団法人全国高等学校家庭科教育振興会」が認可された。さらに、公益法人制度改革の新制度下において、平成23年に「公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会」として内閣府から認可された。

家庭科技術検定は、平成5年度に保育技術検定が加わり、令和2年度には昭和35年の技術検定誕生から60周年となった。

家庭科技術検定60周年記念事業はコロナ禍において延期し、その一環として令和5年4月に家庭科技術検定(実技)DVDを無償配付した。



検定に関する問い合わせは

公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会事務局

住所 〒102-0071 東京都千代田区富士見一丁目5番6号

TEL 03-3261-0617 FAX 03-3288-1670

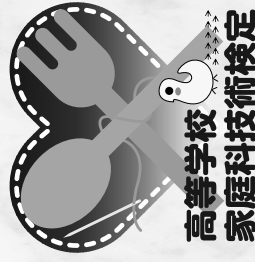
E-mail: katei-ed@kate-ed.or.jp <http://www.kate-ed.or.jp/>

印刷: 大和総合印刷(株) 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-12-11 TEL 03-3263-5156



令和6年度 全国高等学校家庭科 被服製作技術検定 食物調理技術検定 保育技術検定 しおり

主催 公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会
後援 文部科学省



公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会

被服製作技術検定・食物調理技術検定



被服製作技術検定・食物調理技術検定とは

育てる力
被服製作や食物調理に関する知識と技術・学習意欲・思考力・段取り力・創造力、チャレンジ力 等

歴史
昭和35年に、高校生の技術力の低下を憂えて全国の家庭科教育の先駆者が集まり、技術の定着・評価を考えた結果、創設されたものです。
昭和38年2月から「文部省後援」、平成7年度から「文部省認定」として実施してきました。平成14年度から「文部科学省後援」として実施しています。検定が発足して本年度で64年の歴史を刻み、令和5年度末の受験者は延べ2,065万人を超え、自己肯定感を高め

特色・内容
検定4、3級は、日常生活の自立に対応した内容で、検定2、1級は、より高度で専門的な内容で将来の進路に役立つことを目指しています。

受験料
1級 2,000円 3級 1,000円
2級 1,500円 4級 800円

実施回数
年2回

実施会場
各学校
1・2級の会場は理事校の指定した会場

被服製作・食物調理技術検定 Q&A

Q1 技術検定を実施するうえで変更点がありますか？

A1 令和6年度より被服製作4級の内容が変更になりました。食物調理4～1級の内容も令和5年度より一部変更になっています。
指導要領をよく読んでください。

Q2 飛び級の受検は認められますか？

A2 本校定は進徳利の授業などを通して学んだ知識や技術の習得を目指し、1級の基礎から順次、高度な内容についてその受検を決定するものです。したがって、飛び級は認められません。

Q3 はじめて実施するに当たり、どんな準備をすればよいのですか？

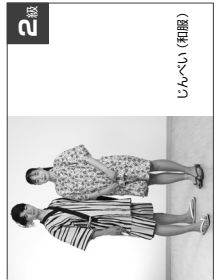
A3 検定代表理事校に連絡して、指導要領、関係書類集、評価規程を取り寄せ、十分に読み、不明点は総務会事務局にお問い合わせください。4級の場合、布・食料以外は学校にある用具で対応できる内容です。

1級



ひよこ着 (和服)

2級



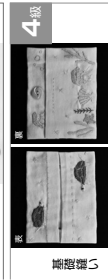
じんべい (和服)

3級



アウターパンツ

4級



基礎縫い

被服製作 技術検定

※2、1級は和服と同様に分けられます。

1級



縫製ジャケット (洋服)

2級



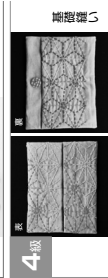
シャツ、ブラウス (洋服)

3級



アウターパンツ

4級



基礎縫い

食物調理技術検定

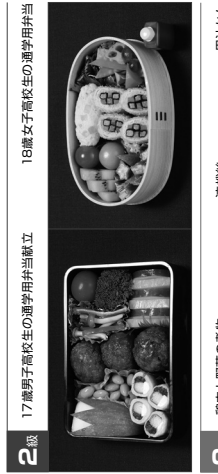
※1級は和服と同様に分けられます。

1級



45歳母の誕生日祝い

2級



17歳男子高校生の進学用弁当

3級



期休と野菜の煮物

4級



切り方の基本姿勢 (平成30年度被服製作・食物調理技術検定研究大会 (愛知大会) 資料より)

種目	級	実技試験		筆記試験	
		内容	検定時間	有無	時間
食物調理	1級	供応・食・行・事・食 調理	30分	有	30分
	2級	日常食 調理	30分	有	30分
	3級	調理手法の基礎 調理	50分	有	30分
	4級	調理の基礎 調理	40分	有	30分
			30分・2分		—

※1、各級とも準備時間・事後片付けは含まれない。

保育技術検定



保育技術検定とは

育てる力
子ども理解・保育に関する知識と技術・学習意欲・思考力・表現力・コミュニケーション力・創造力・豊かな心・チャレンジ力 等

歴史
昭和62年厚生省令改正により高等学校の保育科で学んだ生徒の保育試験受験資格が廃止され、これに代わるものとして平成5年に関係者の努力によって保育技術検定がスタートしました。発足当初から文部科学省の指導をいただき、平成7年度から「文部科学省後援」となりました。全国の教員からの支持を得て、保育科だけでなく、家庭に関する学科・普通科・商業科・総合学科等に受験が拡大し、受験者は令和5年度末で201万人を超え、思いやりの心を育み、自己肯定感を高めています。

特色・内容
検定1～4級は、親や子育てで支援に必要な基礎的な内容で、検定2～4級は、より高度で専門的な内容で将来の進路に役立つことを目指しています。

受検料
1級 2,800円 (種目別 700円)
2級 2,400円 (種目別 600円)
3級 1,600円 (種目別 400円)
4級 1,200円 (種目別 300円)
・各級とも種目別受験ができます。

実施回数
年 2 回

実施会場
各学校
1・2級の実技は理事校の指定した会場

保育技術検定 Q&A

Q1 初めて検定を実施したいと思いますが、検定の流れなどわかりやすく説明されているようなものがありますか？

A1 指導要領、評価規準、関係書類等を参考にしてください。また、4・3歳対応の DVD が販売されています。(令和4年度 家庭科技術検定(家庭科)には無償提供) 生徒や教員の動きが解説されていますので参考にとなります。

Q2 参考にする図書はありますか？
A2 一例として、次のようなものがあります。 ※必読

書名	著者等	出版社
こどもの200年 現代のこども 現代の子育て	小林 美実 編 松野 洋子 監修 松野 美佐江 監修	小学館
進路案内 日本の夢 日本の夢がかなう	山口 真 著	ナツメ社
言語表現 日本語の基礎 3歳からわかること 4歳からのこと	杉本 洋子 監修 三浦 洋子 監修 三浦 洋子 監修	小学館
家庭科 家庭科の基礎 家庭科の発展	全編 松野美佐江 監修 「子どもの家庭科(文)」 赤十智恵子監修(編集)	日本図書センター

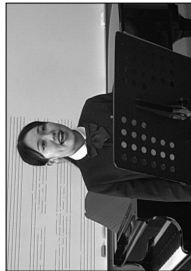
1級

2級

3級

4級

音楽・リズム表現技術



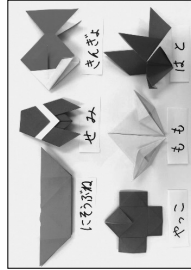
音楽・リズム表現技術3級過去の実技問題例
(制限時間5分)
問題1 ピアノ
バエリルピアノ教則本No.38を弾きなさい。
問題2 歌 唱
「おはながわらった」を2番までうたいなさい。
(無伴奏とし、はじめの音をピアノでとじてからうたう。拍子は打たない。)



造形表現技術



造形表現技術3級過去の実技問題例
(制限時間4分)
問題1
「鳥」の折り紙を5個以上折きなさい。
折った折り紙と描画を用いて、八つ切り画用紙に平面で場面を構成しなさい。
(「鳥」の折り紙は5個以上用いること。)



言語表現技術

言語表現技術1級過去の実技問題例
問題
3～5歳児の中から各自が対象児を選び、その年齢にふさわしい「自然観察」に関する内容のお話を創作しなさい。そのお話を対象児を前にしてつづり、3分間で語りなさい。
(注：対象児の年齢)を知らず、「匿名」を言うことから始める)



言語表現技術4級過去の実技問題例
問題1
実技問題(お話)「からち山」を5歳児に聞かせるつもりで、2分間で読みなさい。
(注：匿名から読み始める。)

家庭看護技術



家庭看護技術3級過去の実技問題例
(制限時間5分)
問題1
保育人形を左上腕に傷がある4か月児に着立て、カパーオールと肌着を着替えさせなさい。



級別	音楽・リズム表現技術		造形表現技術		言語表現技術		家庭看護技術	
	内容	方法・時間	内容	方法・時間	内容	方法・時間	内容	方法・時間
1級	ピアノ演奏と童謡の弾き歌い	個別 5分	壁面構成	一斉 50分	お話の創作と実演	個別 3分	幼児の生活の世話(けがの手当)	個別 5分
2級	ピアノ演奏と童謡の弾き歌い	個別 5分	貼り絵(切り絵)	一斉 50分	絵本の読みきかせ	個別 3分	乳児の生活の世話(清潔、おむつの交換)	個別 5分
3級	ピアノ演奏と歌	個別 5分	折り紙と描画	一斉 40分	紙芝居の実演	個別 3分	乳児の生活の世話(衣類の整理)	個別 5分
4級	歌	個別 5分	折り紙	一斉 30分	電話など短い文章の読みかせ	個別 2分	乳児の世話(たつこ・授乳・検温など)	個別 2分

技術検定の申込

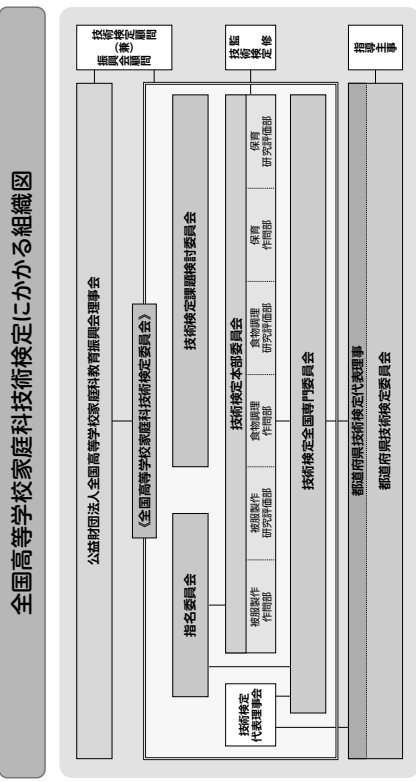
技術検定の組織 I



	申込期間	実技試験期間	筆記試験日	受検者・合格者報告期間
	被服・食物・保育 4～1級	被服・食物・保育 4～1級	被服・食物・保育 3～1級 2・1級	被服・食物・保育 4～1級
4月	15日(月) 申込期間 第59回 第47回			
5月		18日(土) 第59回 第47回 実技試験期間		
6月	31日(金)		21日(金) (3・2級) (2・1級)	
7月			5日(金) (1級)	
8月		31日(土)		8日(月) 第59回 第47回 申込者・受検者報告
9月	2日(月) 申込期間 第60回 第48回			
10月	11日(金)			13日(金)
11月		15日(金) (3・2級) 29日(金) (1級)	22日(金) (2・1級)	25日(月) 第60回 第48回 合格者・受検者報告
12月				
1月		19日(日)		2日(月) 第60回 第48回 三冠王 表彰書
2月				3日(月) 3日(月)
3月				

留意点

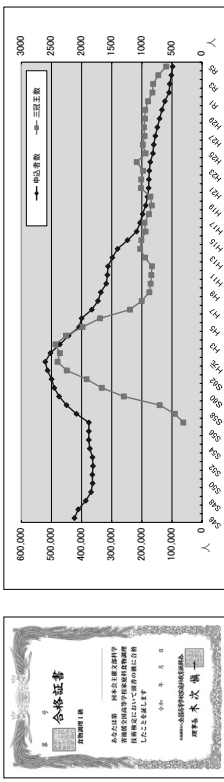
- 筆記試験日は全国統一です。
- 上記の他に各都道府県検定代表理事校が設定する日程等にも十分にご留意ください。
- 実施又は指導に当たっては「指導要項」「評価規準」「関係書類集」等をご参照ください。



技術検定の表彰

技術検定合格者には合格証書が授与されます。また、「三冠王」「四冠王」の取得者にはその努力をたたえて表彰状と記念品が授与されます。

令和4年度に、「三冠王日本一」「四冠王日本一」の団体表彰が創設されました。



「三冠王」は昭和57年度、「四冠王」は平成18年度からの顕彰制度です。「三冠王」とは、被服製作(被服・洋服)、食物調理(総のすべて)に合格した者(をいい、令和5年度は597人が表彰されています。「四冠王」とは、「三冠王」に加えて保育検(4種目)に合格した者(をいい、令和5年度は333人が表彰されています。令和5年度「三冠王日本一」は兵庫県立筑紫高等学校、「四冠王日本一」は兵庫県立海田高等学校で、「三冠王」の生徒は進学を就職に役立っており、「家庭部会」には学校長、氏名が掲載されます。



令和4・5年度

共通教科「家庭」における衣生活に関する指導の充実に向けて
～家庭科技術検定の活用を通して～

公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
全国高等学校長協会家庭部会
技術検定調査研究委員会

〒102-0071 東京都千代田区富士見一丁目5番6号
TEL: 03-3261-0617 FAX: 03-3288-1670
URL: <http://www.katei-ed.or.jp/>
E-mail: all-kocho@katei-ed.or.jp
E-mail: katei-ed@katei-ed.or.jp

発行日 令和6年3月31日
